

1	<b>表象文化論</b> LGE-CCS-110	選択 2単位 1年後期	
	Culture and Representation		
全学科1年全組 非常勤講師 河内 聡子			
<b>授業形態</b>	単独（1人が全回担当）		
<b>授業の達成目標</b>	表象文化論についての基礎知識を習得するとともに、表象を多角的に捉える力を身につける。		
<b>授業の概要</b>	本講義は、社会の中で再現・表現された様々なイメージ（芸術・映画・アニメ・マンガ等）を対象とし、それがどのような文化を背景として生みだされてくるのか、また表現されたイメージからどのような文化状況が見えてくるのかを探るものである。この授業では、表象文化論について概説した上で、いくつかの時代を横断しながら、そこに表れる様々なイメージを解釈し、同時に広く文化・時代状況の検討を行う。		
<b>授業計画（各回の学習内容等）</b>			
	<b>学習内容</b>	<b>授業方法及び学習課題（予習・復習）</b>	<b>時間(時)</b>
第1回	ガイダンス：アニメーションとは何か－他メディアとの比較を通じて考える－	【予習】 シラバス通読の上、準備学習を行う。 【復習】 ガイダンス内容の確認とコメントの記述。	4
第2回	日本アニメの誕生－世界の中のジャパニメーション－	【予習】 古いアニメについて調べる。 【復習】 講義内容について確認し、コメントを記述する。	4
第3回	アニメの技術－セル画・デジタル画－	【予習】 アニメの作り方について調べる。 【復習】 講義内容について確認し、コメントを記述する。	4
第4回	アニメの技術－コンピューター・グラフィック－	【予習】 CGとはどういうものかについて調べる。 【復習】 講義内容について確認し、コメントを記述する。	4
第5回	アニメの技術と表現－セル画とCGとの比較に見る－	【予習】 セル画のアニメとCGのアニメにどのようなものがあるかを確認する。 【復習】 講義内容について確認し、コメントを記述する。	4
第6回	アニメの技術と表現－日本と海外との比較に見る－	【予習】 海外のアニメにどのようなものがあるかを調べる。 【復習】 講義内容について確認し、コメントを記述する。	4
第7回	アニメと社会－文化装置としてのアニメ－	【予習】 アニメの社会的影響について調べる。 【復習】 講義内容について確認し、コメントを記述する。	4
第8回	アニメと社会－産業化・商業化するアニメ－	【予習】 アニメの興行収入について調べる。 【復習】 講義内容について確認し、コメントを記述する。	4
第9回	作品の鑑賞と解説「桃太郎 海の神兵」－国策メディアとしてのアニメ－	【予習】 「国策メディア」に、例えばどのようなものがあるか調べる。 【復習】 講義内容について確認し、コメントを記述する。	4
第10回	作品の鑑賞と解説「桃太郎 海の神兵」－アニメにおける戦争表象－	【予習】 戦争を扱ったアニメにどのような作品があるか調べる。 【復習】 講義内容について確認し、コメントを記述する。	4
第11回	テレビアニメの登場と展開－劇場アニメとの比較による検討－	【予習】 テレビおよびアニメ放送の歴史について調べる。 【復習】 講義内容について確認し、コメントを記述する。	4
第12回	手塚治虫と虫プロダクション－その挑戦と革新－	【予習】 手塚治虫がどのような人物か調べる。 【復習】 講義内容について確認し、コメントを記述する。	4
第13回	宮崎駿・高畑勲とスタジオジブリ－「アニメ監督」の登場－	【予習】 宮崎駿・高畑勲がどのような人物か調べる。 【復習】 講義内容について確認し、コメントを記述する。	4
第14回	作品の鑑賞と解説「AKIRA」－物語内容の分析と検討－	【予習】 「AKIRA」の作品内容について調べる。 【復習】 講義内容について確認し、コメントを記述する。	4
第15回	まとめと試験	【予習】 配付プリント全てについて復習とコメントの総まとめ。 【復習】 試験内容の復習。	4
<b>教科書・参考書等</b>			
毎回プリントを配付し、それに従って講義を進める。参考の書籍やURL等がある場合は講義中に紹介する。			
<b>成績評価方法・基準</b>			
最終テスト(80%)と提出課題(20%)により評価する。課題については、授業時に、全体に対しフィードバックを行う。			

<b>2</b>	<b>現代社会論</b> LGE-CCS-111	選択 2単位 1年後期	
Modern Sociology			
全学科1年全組 非常勤講師 新田 貴之			
<b>授業形態</b>	単独（1人が全回担当）		
<b>授業の達成目標</b>	日本社会が高度経済成長のなかでいかに変容してきたのかについて理解し、現代日本社会の特徴を理解するための視点を養う。		
<b>授業の概要</b>	日本社会は戦後の高度経済成長を通して大きく変貌を遂げてきた。本講義では、私たちが生きている現代日本社会の成り立ちや特徴を理解することを目的に、高度経済成長が私たちの生活にもたらした変化、その意味について解説する。		
<b>授業計画（各回の学習内容等）</b>			
	学習内容	授業方法及び学習課題（予習・復習）	時間(分)
第1回	ガイダンス	予習としてシラバス通読の上、準備学習を行う。配付されたプリントを参考に、社会学の基本的な立場やその視点について復習する。	4
第2回	高度経済成長がもたらしたもの	配付プリントを参考に、高度経済成長期の日本社会に起きた変化について予習、復習を行う。	4
第3回	産業化と家族の変化	配付プリントを参考に、高度経済成長期以降の家族の特徴について予習、復習を行う。	4
第4回	性別とジェンダー	配付プリントを参考に、性別とジェンダーの違い、ジェンダーに関連する社会問題について予習、復習をする。	4
第5回	社会的自己の構造	配付プリントを参考に、人間の自己と社会との関係について予習と復習をする。	4
第6回	親密圏の変容	配付プリントを参考に、高度経済成長期以降の親密圏の変容について予習と復習をする。	4
第7回	感情労働の時代	配付プリントを参考に、感情労働の特徴、感情労働に関連する社会問題について予習と復習をする。	4
第8回	現代日本と非婚化・晩婚化	配付プリントを参考に、現代日本における非婚化・晩婚化の現状、その要因について予習と復習をする。	4
第9回	国際結婚と地域社会	配付プリントを参考に、現代日本における国際結婚に関する特徴について予習と復習をする。	4
第10回	日本で暮らす「ニューカマー」	配付プリントを参考に、現代日本で生活する「ニューカマー」とそうした人びとの来日の背景について予習と復習をする。	4
第11回	メディアと社会（携帯電話・インターネットがもたらしたもの）	配付プリントを参考に、携帯電話やインターネットなどのパーソナルメディアが社会にもたらした変化について予習と復習をする。	4
第12回	コミュニケーションの構造変容	配付プリントを参考に、高度経済成長期以降の社会関係の変化や、情報化の展開のなかで起こったコミュニケーションの構造変容について予習と復習をする。	4
第13回	現代の環境問題	配付プリントを参考に、現代日本における環境問題への取り組みについて予習と復習をする。	4
第14回	ボランティア・NPOをととした社会参加	配付プリントを参考に、現代日本においてボランティアやNPOが果たしている役割について予習と復習をする。	4
第15回	まとめ	第14回までの配付プリントを参考に、現代日本社会の特徴や社会問題について予習と復習をする。	4
<b>教科書・参考書等</b>			
毎回、プリントを配付し、それにしたがって授業を進める。教科書・参考書については授業開始時、もしくは適宜必要に応じて指示する。			
<b>成績評価方法・基準</b>			
課題レポートと期末試験によって総合的に評価する。課題については、授業時に、全体に対しフィードバックを行う。			

<b>3</b>	<b>市民と法</b> LGE-CCS-312	選択 2単位 2年前期	
Introduction to Law			
全学科2年全組 准教授 片山 文雄			
<b>授業形態</b>	単独（1人が全回担当）		
<b>授業の達成目標</b>	法・裁判の現状と考え方に触れ、基礎的な知識を修得すること。法から社会を知ること。		
<b>授業の概要</b>	社会が複雑化するなか、トラブル解決の手段としての法・裁判はますます重要になっている。裁判員制度のように、市民が法・裁判にいつそう深くかかわる機会もふえてきた。本講義では、法・裁判のしくみと法的な考え方について、具体的に、根本から考える。		
<b>授業計画（各回の学習内容等）</b>			
	学習内容	授業方法及び学習課題（予習・復習）	時間(時)
第1回	序	予習としてシラバスを読んでくる。配付資料などを確認して復習する。	4
第2回	法とは何か	法とは何かについて調べて予習する。配付資料などを確認して復習する。	4
第3回	法の種類	法の種類について調べて予習する。配付資料などを確認して復習する。	4
第4回	裁判とは何か	裁判とは何かについて調べて予習する。配付資料などを確認して復習する。	4
第5回	裁判の種類：民事裁判と刑事裁判	民事裁判と刑事裁判について調べて予習する。配付資料などを確認して復習する。	4
第6回	民事裁判 その実体（1）契約法	契約法について調べて予習する。配付資料などを確認して復習する。	4
第7回	民事裁判 その実体（2）物権法、不法行為法	物権法や不法行為法について調べて予習する。配付資料などを確認して復習する。	4
第8回	民事裁判 その手続	民事裁判の手続きについて調べて予習する。配付資料などを確認して復習する。	4
第9回	刑事裁判 その実体（1）犯罪	刑事裁判における犯罪について調べて予習する。配付資料などを確認して復習する。	4
第10回	刑事裁判 その実体（2）刑罰	刑事裁判における刑罰について調べて予習する。配付資料などを確認して復習する。	4
第11回	刑事裁判 その手続（1）捜査	刑事裁判における捜査について調べて予習する。配付資料などを確認して復習する。	4
第12回	刑事裁判 その手続（2）起訴から判決まで	刑事裁判における起訴から判決までの流れについて調べて予習する。配付資料などを確認して復習する。	4
第13回	裁判所・裁判官	裁判所や裁判官について調べて予習する。配付資料などを確認して復習する。	4
第14回	裁判員制度	裁判員制度について調べて予習する。配付資料などを確認して復習する。	4
第15回	まとめと試験	これまでの授業の配付資料などを確認して試験に備えて予習する。試験を復習する。	4
<b>教科書・参考書等</b>			
自作プリントによる。ほか教室でそのつど指示する。			
<b>成績評価方法・基準</b>			
期末試験による。			

<b>4</b>	<b>産業社会と心理学</b> LGE-CCS-315	選択 2単位 2年前期	
Industrial Society and Psychology			
全学科2年全組 教授 小川 和久			
<b>授業形態</b>	単独（1人が全回担当）		
<b>授業の達成目標</b>	幸福で安全な人間社会をつくるため、心理学が果たす役割は多々ある。人間行動の基礎を理解することで、ヒューマンエラーや産業事故を防止し、幸福で安全な社会生活を送るための視点を学ぶ。		
<b>授業の概要</b>	【アクティブラーニングに該当】 この授業では、知覚、認知、注意、態度、適性など、主に認知心理学、産業心理学、交通心理学、社会心理学のトピックスを取りあげながら、産業事故の背景にある人間側の要因を理解していく。また、産業社会の安全を維持するための心理学アプローチについて考察する。さらに、人間行動の基礎を理解するために、簡便な心理実験を複数回実施する。自ら実験材料を作成し実験を実施するなど、能動的な体験学習を通して、人間行動の原理についての発見学習を促していく。またグループ作業による共同でのデータ整理と分析を通して、課題探求の意識を深めていく。		
<b>授業計画（各回の学習内容等）</b>			
	学習内容	授業方法及び学習課題（予習・復習）	時間(分)
第1回	知覚のしくみ①：ものの見え方	予習としてシラバスを読んで授業概要を理解してくる。ノートを整理して復習する。	4
第2回	知覚のしくみ②：錯視の現象	「錯視」について調べて予習する。ノートを整理して復習する。	4
第3回	知覚のしくみ③：知覚と安全	「知覚」について調べて予習する。ノートを整理して復習する。	4
第4回	知覚のしくみ④：奥行知覚	「奥行知覚」について調べて予習する。ノートを整理して復習する。	4
第5回	注意とは①：注意の種類と特徴	「注意」について調べて予習する。ノートを整理して復習する。	4
第6回	注意とは②：注意の範囲	「注意」について調べて予習する。ノートを整理して復習する。	4
第7回	注意とは③：選択的注意・分割的注意	「注意の理論」について調べて予習する。ノートを整理して復習する。	4
第8回	注意とは④：視覚的注意	「視覚的注意」について調べて予習する。ノートを整理して復習する。	4
第9回	動作と反応①：反応時間	「反応時間」について調べて予習する。ノートを整理して復習する。	4
第10回	動作と反応②：反応時間と安全	「反応時間」について調べて予習する。ノートを整理して復習する。	4
第11回	動作と反応③：知覚－運動系の協応	「知覚と運動の協応」について調べて予習する。ノートを整理して復習する。	4
第12回	認知と態度：リスクテイキングの心理	「リスクテイキング」について調べて予習する。ノートを整理して復習する。	4
第13回	ヒューマンエラー①：産業事故	「産業事故」について調べて予習する。ノートを整理して復習する。	4
第14回	ヒューマンエラー②：認知モデル	「ヒューマンエラー」について調べて予習する。ノートを整理して復習する。	4
第15回	まとめと試験	予習として、これまでの関連キーワードを整理してくる。配付資料をもとに、すべての学習内容を復習して試験に備える。	4
<b>教科書・参考書等</b>			
テキスト 自作資料 参考書・参考資料等 自作資料			
<b>成績評価方法・基準</b>			
定期試験の結果（70%）とレポートの内容（30%）にもとづき総合的に評価する。			

<b>5</b>	<b>日本の近代思想</b> LGE-CCS-431	選択 2単位 2年後期	
Modern ideas of Japan			
全学科 2年全組 非常勤講師 吉原 健雄			
<b>授業形態</b>	単独（1人が全回担当）		
<b>授業の達成目標</b>	近代（明治維新～現在）の日本における価値観の変化について考える。国内に昔から形成されていた伝統思想と、海外から移入されてきた外来思想の関わりを理解することを目標とする。		
<b>授業の概要</b>	日本の近代思想は、国内の伝統的な思想と海外からの新しい思想が対抗し対応しあう関係として理解できる。この関係を、哲学者や思想家の著作だけでなく、小説や映画、マンガや音楽も紹介しながら理解していく。		
<b>授業計画（各回の学習内容等）</b>			
	学習内容	授業方法及び学習課題（予習・復習）	時間(時)
第1回	視点と方法	予習としてシラバスを通読の上、準備学習を行う。プリントの空欄に書き込みながら授業内容を復習する。	4
第2回	王政復古と国民教化	プリントを読んで、明治維新直後に目標とされていた「伝統」への回帰について予習する。プリントの空欄に書き込みながら授業内容を復習する。	4
第3回	文明開化と自由民権	プリントを読んで、「人権」への考え方を中心に外来の「文明」の受容について予習する。プリントの空欄に書き込みながら授業内容を復習する。	4
第4回	国民と臣民	プリントを読んで、「国民」と「臣民」の意味の違いについて予習する。プリントの空欄に書き込みながら授業内容を復習する。	4
第5回	戦争と世論	プリントを読んで、日清戦争・日露戦争の時点での多様な論説について予習する。プリントの空欄に書き込みながら授業内容を復習する。	4
第6回	文明と文化	プリントを読んで、「西洋文明」に対する「日本文化」論の立場について予習する。プリントの空欄に書き込みながら授業内容を復習する。	4
第7回	東洋と西洋	プリントを読んで、「西洋文明」に対する「東洋文化」論の立場について予習する。プリントの空欄に書き込みながら授業内容を復習する。	4
第8回	大衆社会と孤独	プリントを読んで、大衆社会における「個人」の意識について予習する。プリントの空欄に書き込みながら授業内容を復習する。	4
第9回	ファシズムと天皇機関説	プリントを読んで、日本の伝統と結びついたファシズムの思想について予習する。プリントの空欄に書き込みながら授業内容を復習する。	4
第10回	マルクス主義と転向	プリントを読んで、外来思想であるマルクス主義の展開について予習する。プリントの空欄に書き込みながら授業内容を復習する。	4
第11回	国体と宗教	プリントを読んで、日本の「国体」に対して神道・仏教・キリスト教の団体・個人がとった対応について予習する。プリントの空欄に書き込みながら授業内容を復習する。	4
第12回	民主主義と経済成長	プリントを読んで、戦後の価値観である民主主義と経済成長について予習する。プリントの空欄に書き込みながら授業内容を復習する。	4
第13回	市民と国民	プリントを読んで、国家に対抗する人権の意識について予習する。プリントの空欄に書き込みながら授業内容を復習する。	4
第14回	グローバリズムとナショナリズム	プリントを読んで、国際的な価値観と国内的な価値観が対立している歴史認識やフェミニズムについて予習する。プリントの空欄に書き込みながら授業内容を復習する。	4
第15回	まとめと試験	これまでの授業内容を復習し、試験の準備をする。授業の総まとめを行う（復習）。	4
<b>教科書・参考書等</b>	教科書は使用しない。毎回プリントを配付する。参考書は適宜紹介する。		
<b>成績評価方法・基準</b>	授業終了時に提出する意見・疑問（30％）と、期末試験（70％）で評価する。		

<b>6</b>	<b>東北文化史</b> AGE-CCS-417	選択 2単位 2年後期	
Cultural history of Tohoku			
全学科2年全組 非常勤講師 吉原 健雄			
<b>授業形態</b>	単独（1人が全回担当）		
<b>授業の達成目標</b>	東北を舞台としたアニメ、漫画、映画、小説、評論を通じて、東北の諸地域がどのように意識され、表現されているかを考える。宮城・山形・青森・岩手の各地域をめぐるイメージや価値観が従来どのように形成されてきたかをあとづけ、現在どのように変化しているかを理解することを目標とする。		
<b>授業の概要</b>	【地域志向科目に該当】 東北地方の各地域は中央の都に対する周縁の地方として位置づけられ、地方・自然・人情・懐古などのイメージで表現されてきた。この授業では、アニメなどのサブカルチャーを含めて様々な表現作品から東北のイメージを探り、東日本大震災を経験した現在において作られたつある価値観を考えていく。参加者には、自分の経験や知識をふまえた、積極的な意見表明を期待する。		
<b>授業計画（各回の学習内容等）</b>			
	学習内容	授業方法及び学習課題（予習・復習）	時間(分)
第1回	視点と方法	予習としてシラバスを通読の上、準備学習を行う。プリントの空欄に書き込みながら授業内容を復習する。	4
第2回	東北の現在1－『おもひでぼろぼろ』を読む	プリントを読んで、山形県の農村を舞台にした漫画・アニメ『おもひでぼろぼろ』について予習する。プリントの空欄に書き込みながら授業内容を復習する。	4
第3回	東北の現在1－『おもひでぼろぼろ』を考える。	プリントを読んで、山形県の農村を舞台にした漫画・アニメ『おもひでぼろぼろ』の価値観について予習する。プリントの空欄に書き込みながら授業内容を復習する。	4
第4回	東北の現在3－『くまみこ』	プリントを読んで、東北地方の山村を舞台にした漫画・アニメ『くまみこ』について予習する。プリントの空欄に書き込みながら授業内容を復習する。	4
第5回	東北の現在4－『奇跡のリンゴ』	プリントを読んで、青森県の農村を舞台にしたドキュメンタリー・映画『奇跡のリンゴ』について予習する。プリントの空欄に書き込みながら授業内容を復習する。	4
第6回	東北の歴史1－『アテルイ』	プリントを読んで、平安時代の岩手県を舞台にしたアニメ『アテルイ』について予習する。プリントの空欄に書き込みながら授業内容を復習する。	4
第7回	東北の歴史2－『八甲田山』	プリントを読んで、明治時代の青森県を舞台にした小説・映画『八甲田山』について予習する。プリントの空欄に書き込みながら授業内容を復習する。	4
第8回	東北の歴史3－『ものいわぬ農民』	プリントを読んで、岩手県の山村を舞台にした評論『ものいわぬ農民』について予習する。プリントの空欄に書き込みながら授業内容を復習する。	4
第9回	震災の記憶1－『あまちゃん』	プリントを読んで、岩手県の漁村を舞台にしたドラマ『あまちゃん』について予習する。プリントの空欄に書き込みながら授業内容を復習する。	4
第10回	震災の記憶2－『そして、星の輝く夜がくる』	プリントを読んで、被災地の小学校を舞台にした小説『そして、星の輝く夜がくる』について予習する。プリントの空欄に書き込みながら授業内容を復習する。	4
第11回	震災の記憶3－『霊性の震災学』	プリントを読んで、宮城県・岩手県を調査した研究『霊性の震災学』について予習する。プリントの空欄に書き込みながら授業内容を復習する。	4
第12回	震災の記憶4－『津波の霊たち』	プリントを読んで、宮城県取材した報告『津波の霊たち』について予習する。プリントの空欄に書き込みながら授業内容を復習する。	4
第13回	震災の記憶5－『はじめての福島学』	プリントを読んで、福島県を調査した報告『はじめての福島学』について予習する。プリントの空欄に書き込みながら授業内容を復習する。	4
第14回	震災の記憶6－『みらいへの手紙』	プリントを読んで、福島県が制作したアニメ『みらいへの手紙』について予習する。プリントの空欄に書き込みながら授業内容を復習する。	4
第15回	まとめと試験	これまでの授業内容を復習し、試験の準備をする（予習）。プリントの総まとめを行う（復習）。	4
<b>教科書・参考書等</b>			
教科書は使用しない。毎回プリントを配付する。参考書は適宜紹介する。			
<b>成績評価方法・基準</b>			
毎回の授業終了時に提出する意見・疑問（30%）と期末試験（70%）で評価する。			

<b>7</b>	<b>日本国憲法</b> AGE-CCS-518 The Constitution of Japan 全学科3年全組 准教授 片山 文雄	選択 2単位 3年前期	
<b>授業形態</b> 単独（1人が全回担当）			
<b>授業の達成目標</b> 日本国憲法の歴史と考え方に触れ、基礎的な知識を修得すること。憲法から社会を知ること。			
<b>授業の概要</b> いま憲法をめぐる議論は極めて重要な政治的論点になっている。憲法の基本と役割を知るとはますます必要である。本講義では、憲法とは何か、その機能は何かについて、具体的に、根本から考える。			
<b>授業計画（各回の学習内容等）</b>			
	学習内容	授業方法及び学習課題（予習・復習）	時間(時)
第1回	序	予習としてシラバスを読んでくる。配付資料などを確認して復習する。	4
第2回	憲法の原理：立憲主義と民主主義	立憲主義と民主主義について調べて予習する。配付資料などを確認して復習する。	4
第3回	日本国憲法成立史	日本国憲法成立の歩みについて調べて予習する。配付資料などを確認して復習する。	4
第4回	国民主権	国民主権について調べて予習する。配付資料などを確認して復習する。	4
第5回	国会	国会について調べて予習する。配付資料などを確認して復習する。	4
第6回	内閣	内閣について調べて予習する。配付資料などを確認して復習する。	4
第7回	裁判所	裁判所について調べて予習する。配付資料などを確認して復習する。	4
第8回	人権の原理	基本的人権の原理について調べて予習する。配付資料などを確認して復習する。	4
第9回	人権保障の方法：選挙と司法審査	人権保障について調べて予習する。配付資料などを確認して復習する。	4
第10回	自由権（1）包括的自由権、精神的自由権	包括的自由権と精神的自由権について調べて予習する。配付資料などを確認して復習する。	4
第11回	自由権（2）精神的自由権、人身の自由	精神的自由権と人身の自由について調べて予習する。配付資料などを確認して復習する。	4
第12回	自由権（3）経済的自由権、平等権	経済的自由権と平等権について調べて予習する。配付資料などを確認して復習する。	4
第13回	社会権、義務	社会権について調べて予習する。配付資料などを確認して復習する。	4
第14回	平和主義	平和主義について調べて予習する。配付資料などを確認して復習する。	4
第15回	まとめと試験	これまでの授業の配付資料などを確認して試験に備えて予習する。試験を復習する。	4
<b>教科書・参考書等</b> 日本国憲法の全文（講談社学術文庫版などを推奨する）、『憲法判例集』（有斐閣新書）、そして毎回配付する自作プリントによる。ほか教室でそのつど指示する。			
<b>成績評価方法・基準</b> 期末試験による。			

<b>8</b>	<b>ヨーロッパ・アジア比較文明論</b> LGE-CCS-632	選択 2単位 3年後期	
Critical Comparison of European and Asian Civilization			
全学科3年全組 教授 野家 伸也			
<b>授業形態</b>	単独（1人が全回担当）		
<b>授業の達成目標</b>	井筒俊彦、鈴木大拙、河合隼雄の諸著作を読み解きながら、東洋、中近東とヨーロッパの思想潮流を概観して一つの構造体として把握する。		
<b>授業の概要</b>	東洋（インド、中国、日本）、中近東（イスラム、ユダヤ教の世界）とヨーロッパの思想伝統相互間の歴史的関連について学ぶ。		
<b>授業計画（各回の学習内容等）</b>			
回数	学習内容	授業方法及び学習課題（予習・復習）	時間(分)
第1回	ユダヤ思想	関連するキーワードについて調べて予習する。配付資料（ユダヤ思想）などを確認して講義内容を復習する。	4
第2回	ギリシア思想	関連するキーワードについて調べて予習する。配付資料（ギリシア思想）などを確認して講義内容を復習する。	4
第3回	イスラム思想	関連するキーワードについて調べて予習する。配付資料（イスラム思想）などを確認して講義内容を復習する。	4
第4回	インド思想	関連するキーワードについて調べて予習する。配付資料（インド思想）などを確認して講義内容を復習する。	4
第5回	インド仏教	関連するキーワードについて調べて予習する。配付資料（インド仏教）などを確認して講義内容を復習する。	4
第6回	東アジアの仏教	関連するキーワードについて調べて予習する。配付資料（東アジアの仏教）などを確認して講義内容を復習する。	4
第7回	中国宗教思想	関連するキーワードについて調べて予習する。配付資料（中国宗教思想）などを確認して講義内容を復習する。	4
第8回	日本古代思想	関連するキーワードについて調べて予習する。配付資料（日本古代思想）などを確認して講義内容を復習する。	4
第9回	ヨーロッパ中世思想	関連するキーワードについて調べて予習する。配付資料（ヨーロッパ中世思想）などを確認して講義内容を復習する。	4
第10回	ヨーロッパ近世思想	関連するキーワードについて調べて予習する。配付資料（ヨーロッパ近世思想）などを確認して講義内容を復習する。	4
第11回	ヨーロッパ近代思想	関連するキーワードについて調べて予習する。配付資料（ヨーロッパ近代思想）などを確認して講義内容を復習する。	4
第12回	日本中世思想	関連するキーワードについて調べて予習する。配付資料（日本中世思想）などを確認して講義内容を復習する。	4
第13回	日本近世思想	関連するキーワードについて調べて予習する。配付資料（日本近世思想）などを確認して講義内容を復習する。	4
第14回	日本近代思想	関連するキーワードについて調べて予習する。配付資料（日本近代思想）などを確認して講義内容を復習する。	4
第15回	まとめ	関連するキーワードについて調べて予習する。全ての配付資料などを確認して講義内容を復習する。	4
<b>教科書・参考書等</b>			
教科書は指定しない。参考書は適宜紹介する。			
<b>成績評価方法・基準</b>			
授業中に提出するレポート、試験を総合して評価する。			



9	<b>情報化社会の経済</b> LGE-CCS-616	選択	2単位	3年後期
	Information Society Economics			
全学科3年全組 非常勤講師 舩谷 謙二				
<b>授業形態</b>		単独（1人が全回担当）		
<b>授業の達成目標</b>		情報化社会における基本的な経済の仕組みを理解し、日本経済の現状を分析する力を養います。		
<b>授業の概要</b>		構造改革、累積する国債、少子・高齢化と年金といった問題が山積している日本経済は、この先、安定的な成長路線に復帰できるのであるか。この講義では、戦後の復興期、高度成長期から平成の「失われた20年」までを振り返りながら、第10回までは日本経済、それ以降は日本企業の全体像を解説し、金融・財政の仕組みにも言及しながら、今日の我々をとりまく経済の諸問題について考察します。		
<b>授業計画（各回の学習内容等）</b>				
	<b>学習内容</b>	<b>授業方法及び学習課題（予習・復習）</b>		<b>時間(分)</b>
第1回	今日の情報化社会と経済（オリエンテーション）	予習としてシラバス通読の上、準備学習を行う。各自が講義でのコメントをノートした配付プリント（今日の情報化社会と経済）読み返し、復習する。		4
第2回	日本と世界の経済の概況	配付プリント（日本と世界の経済の概況）を使い予習する。各自が講義でのコメントをノートした配付プリント（日本と世界の経済の概況）読み返し、復習する。		4
第3回	戦後日本経済の歩み（復興期を中心に）	配付プリント（戦後日本経済の歩み）を使い予習する。各自が講義でのコメントをノートした配付プリント（戦後日本経済の歩み）読み返し、復習する。		4
第4回	高度経済成長の時代	配付プリント（高度経済成長の時代）を使い予習する。各自が講義でのコメントをノートした配付プリント（高度経済成長の時代）読み返し、復習する。		4
第5回	ニクソン・ショックとオイルショック	配付プリント（ニクソン・ショックとオイルショック）を使い予習する。各自が講義でのコメントをノートした配付プリント（ニクソン・ショックとオイルショック）読み返し、復習する。		4
第6回	貨幣と金融システム	配付プリント（貨幣と金融システム）を使い予習する。各自が講義でのコメントをノートした配付プリント（貨幣と金融システム）読み返し、復習する。		4
第7回	バブル経済の発生と崩壊	配付プリント（バブル経済の発生と崩壊）を使い予習する。各自が講義でのコメントをノートした配付プリント（バブル経済の発生と崩壊）読み返し、復習する。		4
第8回	失われた20年	配付プリント（失われた20年）を使い予習する。各自が講義でのコメントをノートした配付プリント（失われた20年）読み返し、復習する。		4
第9回	少子・高齢化と社会保障	配付プリント（少子・高齢化と社会保障）を使い予習する。各自が講義でのコメントをノートした配付プリント（少子・高齢化と社会保障）読み返し、復習する。		4
第10回	世界経済危機と日本経済	配付プリント（世界経済危機と日本経済）を使い予習する。各自が講義でのコメントをノートした配付プリント（世界経済危機と日本経済）読み返し、復習する。		4
第11回	情報化社会の企業経営	配付プリント（情報化社会の企業経営）を使い予習する。各自が講義でのコメントをノートした配付プリント（情報化社会の企業経営）読み返し、復習する。		4
第12回	企業経営と人・モノ・情報	配付プリント（企業経営と人・モノ・情報）を使い予習する。各自が講義でのコメントをノートした配付プリント（企業経営と人・モノ・情報）読み返し、復習する。		4
第13回	企業経営と金融	配付プリント（企業経営と金融）を使い予習する。各自が講義でのコメントをノートした配付プリント（企業経営と金融）読み返し、復習する。		4
第14回	企業経営と企業統治・社会的責任	配付プリント（企業経営と企業統治・社会的責任）を使い予習する。各自が講義でのコメントをノートした配付プリント（企業経営と企業統治・社会的責任）読み返し、復習する。		4
第15回	まとめ	配付プリント（まとめ）を使い予習する。各自が講義でのコメントをノートした配付プリント（まとめ）読み返し、復習する。		4
<b>教科書・参考書等</b>		教科書は使わず、毎回プリントを配付し、それにしたがって講義を進めます。映像資料も使います。参考書がある場合は講義中に紹介します。		
<b>成績評価方法・基準</b>		課題レポート（70%）と小テスト（30%）で総合的に評価する。課題については、授業時に、全体に対しフィードバックを行う。		

<b>10</b>	<b>現代の哲学</b> LGE-CCS-723 Modern Philosophy 全学科4年全組 教授 野家 伸也	選択 2単位 4年前期	
<b>授業形態</b> 単独（1人が全回担当）			
<b>授業の達成目標</b> 国家論・市民社会論を中心テーマとして西洋近代思想史の流れを辿り、現代社会の理解に役立てる。			
<b>授業の概要</b> 17世紀から19世紀にかけての市民革命をめぐる言説を学ぶことで「国家とは何か」「社会とは何か」について問う姿勢を養う。			
<b>授業計画（各回の学習内容等）</b>			
	学習内容	授業方法及び学習課題（予習・復習）	時間(時)
第1回	市民革命の時代	関連するキーワードについて調べて予習する。配付資料（市民革命の時代）などを確認して講義内容を復習する。	4
第2回	ピューリタン革命と名誉革命	関連するキーワードについて調べて予習する。配付資料（ピューリタン革命と名誉革命）などを確認して講義内容を復習する。	4
第3回	啓蒙主義の国家観・社会観（1）－ロック	関連するキーワードについて調べて予習する。配付資料（ロック）などを確認して講義内容を復習する。	4
第4回	啓蒙主義の国家観・社会観（2）－ロックと市民革命	関連するキーワードについて調べて予習する。配付資料（ロックと市民革命）などを確認して講義内容を復習する。	4
第5回	フランス革命	関連するキーワードについて調べて予習する。配付資料（フランス革命）などを確認して講義内容を復習する。	4
第6回	啓蒙主義の国家観・社会観（3）－ルソー	関連するキーワードについて調べて予習する。配付資料（ルソー）などを確認して講義内容を復習する。	4
第7回	啓蒙主義の国家観・社会観（4）－ルソーと市民革命	関連するキーワードについて調べて予習する。配付資料（ルソーと市民革命）などを確認して講義内容を復習する。	4
第8回	ロマン主義の国家観・社会観（1）－バーク	関連するキーワードについて調べて予習する。配付資料（バーク）などを確認して講義内容を復習する。	4
第9回	ロマン主義の国家観・社会観（2）－バークと市民革命	関連するキーワードについて調べて予習する。配付資料（バークと市民革命）などを確認して講義内容を復習する。	4
第10回	ナポレオン戦争	関連するキーワードについて調べて予習する。配付資料（ナポレオン戦争）などを確認して講義内容を復習する。	4
第11回	ヘーゲルの国家観・社会観（1）－ヘーゲル	関連するキーワードについて調べて予習する。配付資料（ヘーゲル）などを確認して講義内容を復習する。	4
第12回	ヘーゲルの国家観・社会観（2）－ヘーゲルと市民革命	関連するキーワードについて調べて予習する。配付資料（ヘーゲルと市民革命）などを確認して講義内容を復習する。	4
第13回	マルクスの国家観・社会観（1）－マルクス	関連するキーワードについて調べて予習する。配付資料（マルクス）などを確認して講義内容を復習する。	4
第14回	マルクスの国家観・社会観（2）－マルクスと市民革命	関連するキーワードについて調べて予習する。配付資料（マルクスと市民革命）などを確認して講義内容を復習する。	4
第15回	まとめと試験	第1－14回の内容を復習し試験に備える。試験を復習する。	4
<b>教科書・参考書等</b> 教科書は使用しない。参考書は適宜紹介する。			
<b>成績評価方法・基準</b> 試験およびレポートを総合して評価する。			

11	<b>現代の倫理</b> LGE-CCS-822	選択 2単位 4年後期	
	Modern Ethics		
教授 野家 伸也			
<b>授業形態</b>	単独（1人が全回担当）		
<b>授業の達成目標</b>	倫理学の基礎をなす基本的な諸概念（幸福、義務、功利など）の意味を理解し、説明できるようになること。具体的な場面における倫理的な価値判断の根拠を示せるようになること。		
<b>授業の概要</b>	倫理学の基礎をなす基本的な諸概念、主要な倫理学説の概要、および現代の倫理的課題を学び、社会における人間のあり方、人間の本質や道徳の意義について問う姿勢を養う。		
<b>授業計画（各回の学習内容等）</b>			
	<b>学習内容</b>	<b>授業方法及び学習課題（予習・復習）</b>	<b>時間(時)</b>
第1回	倫理学の基本概念1－「倫理」について	関連するキーワードについて調べて予習する。配付資料（「倫理」について）などを確認して講義内容を復習する。	4
第2回	倫理学の基本概念2－「人間」について	関連するキーワードについて調べて予習する。配付資料（「人間」について）などを確認して講義内容を復習する。	4
第3回	功利主義の倫理学	関連するキーワードについて調べて予習する。配付資料（功利主義の倫理学）などを確認して講義内容を復習する。	4
第4回	カントの倫理学	関連するキーワードについて調べて予習する。配付資料（カントの倫理学）などを確認して講義内容を復習する。	4
第5回	リベラリズムの倫理学	関連するキーワードについて調べて予習する。配付資料（リベラリズムの倫理学）などを確認して講義内容を復習する。	4
第6回	リバタリアニズムの倫理学	関連するキーワードについて調べて予習する。配付資料（リバタリアニズムの倫理学）などを確認して講義内容を復習する。	4
第7回	コミュニタリアニズムの倫理学	関連するキーワードについて調べて予習する。配付資料（コミュニタリアニズムの倫理学）などを確認して講義内容を復習する。	4
第8回	生命の倫理学1－生命の質	関連するキーワードについて調べて予習する。配付資料（生命の倫理学1－生命の質）などを確認して講義内容を復習する。	4
第9回	生命の倫理学2－自己決定権	関連するキーワードについて調べて予習する。配付資料（生命の倫理学2－自己決定権）などを確認して講義内容を復習する。	4
第10回	環境の倫理学1－自然の生存権	関連するキーワードについて調べて予習する。配付資料（環境の倫理学1－自然の生存権）などを確認して講義内容を復習する。	4
第11回	環境の倫理学2－世代間倫理	関連するキーワードについて調べて予習する。配付資料（環境の倫理学2－世代間倫理）などを確認して講義内容を復習する。	4
第12回	技術の倫理学1－公共性	関連するキーワードについて調べて予習する。配付資料（公共性）などを確認して講義内容を復習する。	4
第13回	技術の倫理学2－社会と技術	関連するキーワードについて調べて予習する。配付資料（社会と技術）などを確認して講義内容を復習する。	4
第14回	企業の倫理学	関連するキーワードについて調べて予習する。配付資料（企業の倫理学）などを確認して講義内容を復習する。	4
第15回	まとめと試験	第1－14回の内容を復習し試験に備える。試験を復習する。	4
<b>教科書・参考書等</b>			
教科書は指定しない。参考書は適宜紹介する。			
<b>成績評価方法・基準</b>			
授業中に提出するレポート、試験を総合して評価する。			

<b>12</b>	<b>コミュニティネットワーク論</b>	LGE-CCS-133	必修 2単位 1年前期
Theory of Human Community and Network			
全学科1年全組 学部常勤全教員 COC非常勤講師			
<b>授業形態</b>	オムニバス（各回の担当教員が異なる場合）		
<b>授業の達成目標</b>	社会におけるコミュニティやネットワークの重要性を認識し、その基礎知識を身につけるとともに、事業企画・ものづくり・まちづくりの具体的課題において、これを参照・活用できるようになる。		
<b>授業の概要</b>	【地域志向科目に該当】 コミュニティは、多様な人々が形成する小さな社会集団の根源的な形態であり、産業・経済・福祉・防災・文化のあらゆる局面において、協働主体となり得るものである。かつては、地縁共同体と同義という印象が強かったが、現在は、外部に開かれた動的な人的ネットワークとも強く連関している。とくに、ICT応用技術が発達した現在こそ、あるべき地域社会とライフデザインをみすえ、コミュニティやネットワークの意味を正しく理解することが不可欠といえる。本講義では、市民主導による価値の発見や評価、合意形成など、コミュニティやネットワークを中心とした事業企画・ものづくり・まちづくりに着目し、その背景や取り組み、手法や体制を多様な実践例から学び、本学部における知識・技術の共通基盤の一助とする。		
<b>授業計画（各回の学習内容等）</b>			
	学習内容	授業方法及び学習課題（予習・復習）	時間(時)
第1回	ガイダンス	コミュニティとネットワークに関する基礎用語を確認し、講義予定について概説する。(予習:コミュニティやネットワークについて持論を考察しておく/復習:講義をもとに参考図書を一読する)	4
第2回	地域環境保全に果たす大学の役割	コミュニティ・ネットワークと環境保全の実践について概説する。(予習:環境問題について考察しておく/復習:講義をもとに参考図書を一読する)	4
第3回	日常の暮らしとコミュニティ:生活文化編1	生活文化編の一つとして、日常の暮らしとコミュニティについて考察する。(予習:日常の暮らしとコミュニティについて持論を考察しておく/復習:講義をもとに参考図書を一読する)	4
第4回	まちの記憶とコミュニティ:生活文化編2	生活文化編の一つとして、まちの記憶とコミュニティについて考察する。(予習:まちの記憶とコミュニティについて持論を考察しておく/復習:講義をもとに参考図書を一読する)	4
第5回	被災地復興とコミュニティ:生活文化編3	生活文化編の一つとして、被災地復興とコミュニティについて考察する。(予習:被災地復興とコミュニティについて持論を考察しておく/復習:講義をもとに参考図書を一読する)	4
第6回	支え合いのコミュニティ:福祉共助編1	福祉共助編の一つとして、人口減少社会における支え合いのコミュニティについて考察する。(予習:支え合いのコミュニティについて持論を考察しておく/復習:講義をもとに参考図書を一読する)	4
第7回	子育て環境とコミュニティ:福祉共助編2	福祉共助編の一つとして、子育て環境とコミュニティについて考察する。(予習:子育て環境とコミュニティについて持論を考察しておく/復習:講義をもとに参考図書を一読する)	4
第8回	障害者福祉とコミュニティ:福祉共助編3	福祉共助編の一つとして、障害者福祉とコミュニティについて考察する。(予習:障害者福祉とコミュニティについて持論を考察しておく/復習:講義をもとに参考図書を一読する)	4
第9回	工芸・プロダクツとネットワーク:産業社会編1	産業社会編の一つとして、工芸・プロダクツとネットワークについて考察する。(予習:工芸・プロダクツについて持論を考察しておく/復習:講義をもとに参考図書を一読する)	4
第10回	地域資源とアートネットワーク:産業社会編2	産業社会編の一つとして、地域資源とアートネットワークについて考察する。(予習:アートとは何か、持論を考察しておく/復習:講義をもとに参考図書を一読する)	4
第11回	マーケティングとネットワーク:産業社会編3	産業社会編の一つとして、マーケティングとネットワークについて考察する。(予習:マーケティングとは何かを考察しておく/復習:講義をもとに参考図書を一読する)	4
第12回	公・共・民のネットワーク:公民連携編1	公民連携編の一つとして、公・共・民のネットワークについて考察する。(予習:公・共・民の役割について考察しておく/復習:講義をもとに参考図書を一読する)	4
第13回	地域の自治と政策:公民連携編2	公民連携編の一つとして、地域の自治と政策について考察する。(予習:地域の自治と政策について考察しておく/復習:講義をもとに参考図書を一読する)	4
第14回	公民連携のまちづくり:公民連携編3	公民連携編の一つとして、公民連携のまちづくりについて考察する。(予習:公民連携について考察しておく/復習:講義をもとに参考図書を一読する)	4
第15回	コミュニティネットワーク総論	これまでの講義を教員間での座談会形式でふりかえり、コミュニティやネットワークについて総合的に考察する。(予習:これまでのノートをふりかえっておく/復習:講義をもとに総合的に考察を行う)	4
<b>教科書・参考書等</b>			
使用しない。参考図書については、各回の講義にて紹介する。			
<b>成績評価方法・基準</b>			
毎回のレポートや講義におけるディスカッションの内容をもとに総合的に評価する。			

13	<b>ライフ・キャリアデザイン論 I</b>	AGE-CCS-326	選択	2単位	2年前期
	Life carrier design theory I				
全学科2年全組 非常勤講師					
<b>授業形態</b>		単独（1人が全回担当）			
<b>授業の達成目標</b>		自分らしく生きるために、自分の夢や目標（将来の働き方、生き方）を具体的にデザイン（考えて、まとめることが）できるようになる。その実現のために Plan Do Check Action のサイクルを回せるようになる。キャリアプランを立案するための様々な知識やノウハウの学び方を学ぶ。将来の職業生活と今の大学生活を連動させて考える事ができるようになる。			
<b>授業の概要</b>		今から自分の人生を描いてみることは、未来から自分を見つめることなので学生時代にやるべき事、やりたい事が見えてくる。学生時代の充実はその進路決める礎になり、社会に出てからのキャリアに反映してくる。そこで本講義では、キャリアデザインとは何か？なぜキャリアデザインが必要なのか？について考えていく。そのための必要な知識とスキルを学ぶことが本講義の重点事項である。			
<b>授業計画（各回の学習内容等）</b>					
	<b>学習内容</b>	<b>授業方法及び学習課題（予習・復習）</b>			<b>時間(分)</b>
第1回	キャリアとキャリアデザイン	キャリアデザインとは何か？なぜキャリアデザインが必要なのか？ 学生にとってのキャリアデザインの意義とは？ 本講義の目的と概要、進め方、約束。			4
第2回	自己実現に向けて 自分にとってのよい仕事、よい職場の基準を明確にする業界、職種、企業のやりがいについて知る	自分にとってのよい仕事、よい職場の基準を明確にする業界、職種、企業のやりがいについて知る有名企業と中小企業のメリットデメリットを考える。			4
第3回	これからの大学生活のキャリアを考える マインドマップによる自分の探索	好きな事、ワクワクする事、大学生活でやってみたいこと、現時点での将来の夢や目標をブレインストーミングして創り上げる			4
第4回	自分探索	自己分析シートを使い、過去の経験の振り返ることで、自分のワクワクとパワーの源を探すとともに、自分の軸を探してみる			4
第5回	自分のコミュニケーションスタイルを知る	エゴグラムにて自分のコミュニケーションの癖を知り、長所を伸ばし損をしている部分を修正する『行動化』を実戦する			4
第6回	いきいきと自分らしく生きていくための能力を身につける	前に踏み出す力、考え抜く力、チームで働く力の3つの力の分析し、3つの力のどれをどのように成長させるか、Plan Do Check Action をまとめる。			4
第7回	経済環境と雇用環境	激変する社会と経済環境と現代人のライフサイクルについて学ぶとともに、正社員神話の崩壊、多様化するキャリアスタイルを知る。			4
第8回	生涯発達とキャリア	生涯発達するという視点で現代人の人生を俯瞰する。			4
第9回	キャリア設計のための収支	生涯収入と生涯支出、働き方と家族構成で差がつく。			4
第10回	現代日本のキャリアパターンを考える現代女性のライフサイクル	現代日本の大学卒のキャリアパターンを概観し、現代日本の各年代、男女のキャリア危機とその克服。			4
第11回	社会で実践されるビジネス思考を学ぶ	問題発見する視点と問題解決技法を学び、論理的思考のフレームワークの構築。			4
第12回	情報の適切な扱い方	情報にだまされない分析と視角を養い、学生生活の情報収集にテーマを持つ。			4
第13回	業界企業研究のスキル	業界、企業をつながりで見つめるながら、企業の成長と終わりを事例研究で学ぶ			4
第14回	仕事を知る やりがいや成長という視点	有名企業より優良企業、企業の魅力とはーどこからがブラック？入社するならどちらを選ぶー2社を対比する			4
第15回	今まで学んだことを使って、大学生活の目標と行動計画を作成する	『人生の夢や目標についてキャリアデザインを描いてみる』			4
<b>教科書・参考書等</b>					
テキストは使用せず、授業時にプリントを配付する。					
<b>成績評価方法・基準</b>					
出席管理を兼ねた振り返りシート (48%)、課題提出 (30%)、講座最終回で作成し提出する将来設計図 (22%)。					

14	<b>ライフ・キャリアデザイン論Ⅱ</b> AGE-CCS-527		選択 2単位 3年前期
	Life carrier design theory II		
全学科3年全組 非常勤講師			
<b>授業形態</b>		単独（1人が全回担当）	
<b>授業の達成目標</b>		キャリアデザイン論Ⅰで学んだ内容をさらに発展させる。具体的には、自分の夢や目標より具体的にデザインできるようになる。さらに、キャリアデザインを何回か描くことで、いきいきと自分らしく生きる事と、社会や組織に必要とされる人財になることの両立を目指す。	
<b>授業の概要</b>		本講義は、キャリアデザインとは？何故キャリアデザインか？について、キャリアデザイン論Ⅰで学んだことをさらに発展させ、より実践的な方法論を展開する。変化の激しい今の社会においては、自らの人生を自分自身で切り開いていく事が重要となってきている。学生時代も就職してからも、将来の働き方、生き方を自分でデザインして、必要によっては修正して、場合によっては再設計、再々設計していくことも必要となる。そのための方法論について学ぶ。	
<b>授業計画（各回の学習内容等）</b>			
	学習内容	授業方法及び学習課題（予習・復習）	時間(時)
第1回	キャリアとキャリアデザイン	キャリアとは？キャリアデザインとは何か？キャリアデザインが必要とされる意味。	4
第2回	適性検査	適性検査の内容の把握。	4
第3回	自己理解	自分の価値観を整理し、自分の興味を整理し発展させる	4
第4回	自分の強みの強化法	社会から求められる力と自分の強みを自覚し、自分の強みを成長させる	4
第5回	激変する日本社会	経済の変化と人口問題から日本人ライフサイクルの将来を考えてみる	4
第6回	将来設計	自分のやりたいことをまとめてみる。	4
第7回	キャリアを俯瞰する	現代日本のキャリアパターンを知り、それぞれのライフサイクルを考える。	4
第8回	生涯年収と支出を知る	生涯収入と生涯支出によって、働き方と家族構成で差がつくことを知る。	4
第9回	業界研究、企業研究の仕方を学ぶ	経済状況による業界の栄枯盛衰を知り、これからの企業のあり方を考える。	4
第10回	企業を対比することで企業研究法を学ぶ	企業比較、どちらの企業に入社する？インターネットを使って企業を調べる。	4
第11回	適性検査のフォローアップ	適性検査の結果に基づき自分自身の適正を知る。	4
第12回	選択肢と就職活動の概要	決断のための選択肢を知り、多様化するキャリアライフコースと働き方就職活動から一生使えるスキルを学ぶ。	4
第13回	ライフ・キャリアデザインを描いてみる	自分の進路を仮決めしてみる	4
第14回	社会から求められる能力を準備する	社会人基礎力とコミュニケーション力の養成。	4
第15回	ビジネス思考の実践	グループディスカッションテーマをロジカル思考のフレームワークを使って解く。	4
<b>教科書・参考書等</b>			
テキストは使用せず、授業時にプリントを配付する。			
<b>成績評価方法・基準</b>			
出席管理を兼ねた振り返りシート（48%）、課題提出（30%）、講座最終回で作成し提出する将来設計図（22%）。			

<b>15</b>	<b>職業指導（工業）</b> EGE-CCS-528	選択 2単位 3年前期・集中 ※「工業」の免許状取得希望者のみ必修	
Vocational Guidance			
CD・SD3年全組 教授 小川 和久 准教授 中島 夏子			
<b>授業形態</b>	オムニバス（各回の担当教員が異なる場合）		
<b>授業の達成目標</b>	工業社会で働くことになる生徒の指導にあたり、教師はまず適正な職業観をもつことが求められる。また教師は、生徒がモノ作りなどの生産の仕事に個人の成長と幸福感を得ることができるように、自己発見や自己理解が重要なことも指導する必要がある。その上で、現代の工業社会で課題となる職業選択、職業適性、能力開発等について基礎を学習し、生徒の主體的な問題発見と問題解決能力を育成するための教育の方法を習得するものとする。		
<b>授業の概要</b>	【アクティブラーニングに該当】 現代社会の工業技術の変化は日進月歩で著しいものがあり、創造的な能力と適性が以前よりも増して強く求められている。一方で、旧き技術を大切にしながら、新たな工業技術の創造に努める工業社会の歴史と適性の概念の変遷を学ぶことも重要であり、職業観の形成、職業技能の習得過程、職業適性の諸理論の理解を通して、モノ作りを支える人たちのキャリア形成の問題に触れる。さらに、工業高校でのキャリア教育の授業計画作成をグループワークで行うことを通して、教育実践の具体例を学んでいく。		
<b>授業計画（各回の学習内容等）</b>			
	学習内容	授業方法及び学習課題（予習・復習）	時間(分)
第1回	工業科における職業指導とは何か（中島）	予習としてシラバスを読んで授業概要を理解してくる。ノート・配付資料などを確認して復習する。	4
第2回	なぜ人は働くのか（小川）	「勤労観・職業観」について調べて予習する。ノート・配付資料などを確認して復習する。	4
第3回	キャリア教育実践① 自己分析と適性（中島）	「キャリアプランと自己分析」について調べて予習する。ノート・配付資料などを確認して復習する。	4
第4回	キャリア教育実践② キャリアプラン（中島）	「キャリアプランと自己分析」について調べて予習する。ノート・配付資料などを確認して復習する。	4
第5回	キャリア教育実践③ 工業科における実践例（中島）	「キャリア教育実践」について調べて予習する。ノート・配付資料などを確認して復習する。	4
第6回	職業選択と適性① 職業興味検査（小川）	「職業興味」について調べて予習する。ノート・配付資料などを確認して復習する。	4
第7回	職業選択と適性② 適性の概念（小川）	「職業適性」について調べて予習する。ノート・配付資料などを確認して復習する。	4
第8回	キャリア発達の諸理論（小川）	「キャリア発達」について調べて予習する。ノート・配付資料などを確認して復習する。	4
第9回	職業技能① 職業技能の習得過程（小川）	「職業技能」について調べて予習する。ノート・配付資料などを確認して復習する。	4
第10回	職業技能② 技能学習の訓練方法とその理論（小川）	「職業技能」について調べて予習する。ノート・配付資料などを確認して復習する。	4
第11回	キャリア教育の授業設計① 目的・目標（中島）	「キャリア教育の授業設計」について調べて予習する。ノート・配付資料などを確認して復習する。	4
第12回	キャリア教育の授業設計② 方法（中島）	「キャリア教育の授業設計」について調べて予習する。ノート・配付資料などを確認して復習する。	4
第13回	工業科におけるキャリア教育の指導案作成① グループ協議と作成（小川）	「キャリア教育の指導案」について調べて予習する。ノート・配付資料などを確認して復習する。	4
第14回	工業科におけるキャリア教育の指導案作成② 報告会（小川）	「キャリア教育の指導案」について調べて予習する。ノート・配付資料などを確認して復習する。	4
第15回	工業科におけるキャリア教育の指導案作成③ 振り返りとまとめ（小川）	「キャリア教育の指導案」について調べて予習する。これまでの授業の配付資料などを確認して復習する。	4
<b>教科書・参考書等</b>			
自作資料			
<b>成績評価方法・基準</b>			
複数回提出を求めるレポートの内容にもとづき総合的に評価する。			

<b>15</b>	<b>職業指導（商業）</b> LGE-CCS-528	選択 2単位 前期・集中 ※「商業」の免許状取得希望者のみ必修	
Vocational Guidance			
MC 3年全組 教授 小川 和久 准教授 中島 夏子			
<b>授業形態</b>	オムニバス（各回の担当教員が異なる場合）		
<b>授業の達成目標</b>	国際化が進む中、流通ビジネス、経営情報などのグローバルな経営戦略の状況が急速に進展している。一方で安全安心を求める消費者のニーズが高まっている。厳しい競争社会と社会要請、そして急速なビジネス環境の変化の中にあっても、職業観をしっかりともち、サービスを提供する仕事を通して、個人の成長と幸福感が得られるような職業指導が教師に求められている。その上で、現代の商業社会で課題となる職業選択、職業適性、能力開発等を学び、働く力の基礎を育成するための教育の方法を習得するものとする。		
<b>授業の概要</b>	【アクティブラーニングに該当】 現代の高校生の多くはアルバイトによる就業体験を通して職業観を形成している。しかし、賃金獲得以外の職業観の形成が未熟であるため、そのことが就職直後の高い離職率の一因となっている。消費者のニーズに応えながら自己成長等の「労働+αの個人の価値」を模索する生き方を伝えなくてはならない。さらに商業高校でのキャリア教育の授業計画作成をグループワークで行うことを通して、教育実践の具体例を学んでいく。		
<b>授業計画（各回の学習内容等）</b>			
	学習内容	授業方法及び学習課題（予習・復習）	時間(分)
第1回	なぜ人は働くのか（小川）	予習としてシラバスを読んで授業概要を理解してくる。配付資料などを確認して復習する。	4
第2回	商業科における職業指導とは何か（中島）	「勤労観・職業観」について調べて予習する。ノート・配付資料などを確認して復習する。	4
第3回	キャリア教育実践① 自己分析と適性（中島）	「キャリアプランと自己分析」について調べて予習する。ノート・配付資料などを確認して復習する。	4
第4回	キャリア教育実践② キャリアプラン（中島）	「キャリアプランと自己分析」について調べて予習する。ノート・配付資料などを確認して復習する。	4
第5回	キャリア教育実践③ 商業科における実践例（中島）	「キャリア教育の実践」について調べて予習する。ノート・配付資料などを確認して復習する。	4
第6回	職業選択と適性① 職業興味検査（小川）	「職業興味」について調べて予習する。ノート・配付資料などを確認して復習する。	4
第7回	職業選択と適性② 適性の概念（小川）	「職業適性」について調べて予習する。ノート・配付資料などを確認して復習する。	4
第8回	キャリア発達の諸理論（小川）	「キャリア発達」について調べて予習する。ノート・配付資料などを確認して復習する。	4
第9回	職業技能① 職業技能の習得過程（小川）	「職業技能」について調べて予習する。ノート・配付資料などを確認して復習する。	4
第10回	職業技能② 技能学習の訓練方法とその理論（小川）	「職業技能」について調べて予習する。ノート・配付資料などを確認して復習する。	4
第11回	キャリア教育の授業設計① 目的・目標（中島）	「キャリア教育の授業設計」について調べて予習する。ノート・配付資料などを確認して復習する。	4
第12回	キャリア教育の授業設計② 方法（中島）	「キャリア教育の授業設計」について調べて予習する。ノート・配付資料などを確認して復習する。	4
第13回	商業科におけるキャリア教育の指導案作成① グループ協議と作成（中島）	「キャリア教育の指導案」について調べて予習する。ノート・配付資料などを確認して復習する。	4
第14回	商業科におけるキャリア教育の指導案作成② 報告会（中島）	「キャリア教育の指導案」について調べて予習する。ノート・配付資料などを確認して復習する。	4
第15回	商業科におけるキャリア教育の指導案作成③ 振り返りとまとめ（中島）	「キャリア教育の指導案」について調べて予習する。これまでの授業の配付資料などを確認して復習する。	4
<b>教科書・参考書等</b>			
自作資料			
<b>成績評価方法・基準</b>			
複数回提出を求めるレポートの内容にもとづき総合的に評価する。			



<b>16</b>	<b>数学的思考法</b> LGE-NT-101	選択 2単位 1年前期	
Mathematical Thinking			
CD 1年1組 非常勤講師 齋藤 章 CD 1年2組 非常勤講師 渋谷 純	SD 1年1組 非常勤講師 齋藤 章 SD 1年2組 非常勤講師 渋谷 純	MC 1年1組 非常勤講師 齋藤 章 MC 1年2組 非常勤講師 高谷 隆夫	
<b>授業形態</b>	単独（1人が全回担当）		
<b>授業の達成目標</b>	基礎が確実であること。応用する力があること。		
<b>授業の概要</b>	数学の基礎固めをしながら、本や新聞やインターネットで集めた話を題材として考える力を養う。		
<b>授業計画（各回の学習内容等）</b>			
	学習内容	授業方法及び学習課題（予習・復習）	時間(分)
第1回	授業の概要説明	シラバスを読み、授業の達成目標と授業の概要を予習する。授業で出題された問題を解き学習内容で不確実な部分を復習する。	4
第2回	多項式	多項式に関する部分を読んで予習する。教科書の問題を解き学習内容で不確実な部分を復習する。	4
第3回	因数分解	因数分解に関する部分を読んで予習する。教科書の問題を解き学習内容で不確実な部分を復習する。	4
第4回	不等式	不等式に関する部分を読んで予習する。教科書の問題を解き学習内容で不確実な部分を復習する。	4
第5回	絶対値と平方根	絶対値と平方根に関する部分を読んで予習する。教科書の問題を解き学習内容で不確実な部分を復習する。	4
第6回	連立方程式	連立方程式に関する部分を読んで予習する。教科書の問題を解き学習内容で不確実な部分を復習する。	4
第7回	高次方程式	高次方程式に関する部分を読んで予習する。教科書の問題を解き学習内容で不確実な部分を復習する。	4
第8回	これまでのまとめ	これまでの授業でやり残した部分を読んで予習する。教科書の問題を解き学習内容で不確実な部分を復習する。	4
第9回	不等式と領域	不等式と領域に関する部分を読んで予習する。教科書の問題を解き学習内容で不確実な部分を復習する。	4
第10回	指数法則	指数法則に関する部分を読んで予習する。教科書の問題を解き学習内容で不確実な部分を復習する。	4
第11回	指数関数	指数関数に関する部分を読んで予習する。教科書の問題を解き学習内容で不確実な部分を復習する。	4
第12回	等差数列	等差数列に関する部分を読んで予習する。教科書の問題を解き学習内容で不確実な部分を復習する。	4
第13回	等比数列	等比数列に関する部分を読んで予習する。教科書の問題を解き学習内容で不確実な部分を復習する。	4
第14回	数学的帰納法	数学的帰納法に関する部分を読んで予習する。教科書の問題を解き学習内容で不確実な部分を復習する。	4
第15回	まとめと試験	これまでの授業でやり残した部分を読んで予習する。教科書の問題を解き学習内容で不確実な部分を復習する。	4
<b>教科書・参考書等</b>			
教科書「大学新入生のためのリメディアル数学 第2版」中野友裕著 森北出版 2,592円（税込）			
<b>成績評価方法・基準</b>			
試験が60点以上の者を合格とする。			

17	<b>ネットワーク・コンピュータ基礎 I</b>		LGE-NT-102	必修	2単位	1年前期
	Information Literacy					
CD・SD 1年全組 非常勤講師 山口 茂 MC 1年全組 非常勤講師 海野 啓明						
<b>授業形態</b>		単独（1人が全回担当）				
<b>授業の達成目標</b>		情報社会におけるデジタルメディアの活用方法について、情報倫理を意識したリテラシーを修得する。				
<b>授業の概要</b>		本講義は、インターネットで利用するための情報の基礎を学び、電子メールの基本操作や Web ページの作成方法について主に学ぶ。そのとき考慮しなければならない重要な情報倫理および情報に関する知的所有権についても同時に学習する。				
<b>授業計画（各回の学習内容等）</b>						
	学習内容	授業方法及び学習課題（予習・復習）			時間(時)	
第1回	本学情報システムの利用法	大学の情報システムの利用法について調べる（予習）。講義で学んだ情報システムを実際に使ってみる（復習）。			4	
第2回	コンピュータ/Windowsの基本操作、コンピュータとネットワークの仕組み（講義順序 ①第1章、第10章）	コンピュータの基本用語、IPアドレス、ドメイン名、インターネットの仕組みについて予習する。コンピュータの基本操作と仕組み、ネットワークの仕組みで不明瞭な部分を復習する。			4	
第3回	情報セキュリティ（講義順序 ② Lesson1、①第11章）	情報セキュリティについて予習する。各機器のセキュリティ対策について復習する。			4	
第4回	個人情報の適切な取り扱い（講義順序 ② Lesson2、①第2章）	個人情報を守る方法、文字入力の方法について予習する。個人情報漏洩問題について復習する。			4	
第5回	ネット社会に潜む危険と対策（② Lesson4 ※①第2章）	ネット社会に潜む危険について予習する。ネットとの適切な付き合い方について復習する。			4	
第6回	Web、SNS、モバイル機器によるコミュニケーション（講義順序 ② Lesson6、Lesson7）	Web、SNS、モバイル機器使用時のマナーについて予習する。Web、SNS、モバイル機器使用時のマナーについて復習する。			4	
第7回	情報と法律（著作権）（講義順序 ①第12章、② Lesson3 M19-27）	知的財産権、著作権について予習する。コピーの問題点、引用の方法について復習する。			4	
第8回	メールによるコミュニケーション（講義順序 ①第3章、② Lesson5）	電子メールの送受信の仕組み、電子メールのマナーについて予習する。メールの使い方の基本について復習する。			4	
第9回	文章作成（Word）の基礎（①第5章）	Wordの基礎的な使用方法について予習する。Wordの基礎的な使用方法の不明瞭な点について復習する。			4	
第10回	Wordを用いたレポート作成の方法（①第5章）	Wordを用いたレポートの作成方法について予習する。Wordでのレポート作成の練習を独自に行う（復習）。			4	
第11回	表計算（Excel）の基礎（①第6章）	Excelの基礎的な使用方法について予習する。Excelの基礎的な使用方法の不明瞭な点について復習する。			4	
第12回	Excelで表を作る（①第6章）	Excelを用いた表作成の方法について予習する。表作成の練習を独自に行う（復習）。			4	
第13回	Excelで表計算を行う（①第6章）	Excelを用いた表計算の方法について予習する。表計算の練習を独自に行う（復習）。			4	
第14回	プレゼンテーション（PowerPoint）の基礎（①第7章）	PowerPointの基礎的な使用方法について予習する。PowerPointの基礎的な使用方法の不明瞭な点について復習する。			4	
第15回	PowerPoint資料の作成方法（①第7章）	PowerPointを用いた資料作成方法について予習する。PowerPointを用いた資料作成の練習を独自に行う（復習）。			4	
<b>教科書・参考書等</b>						
以下の二つを併用する ①『改訂第3版 基礎から分かる情報リテラシー』（技術評論社） ②『情報リテラシー入門編 改訂版』（FOM出版） ※後期の「ネットワーク・コンピュータ基礎Ⅱ」では、②『情報リテラシー入門編 改訂版』（FOM出版）のみを使用する						
<b>成績評価方法・基準</b>						
成績は、小テスト40%、実習課題レポート提出60%で評価する。課題レポートについては、授業時に、全体に対しフィードバックする。						

18	<b>ネットワーク・コンピュータ基礎Ⅱ</b> LGE-NT-103		必修 2単位 1年後期
	Introduction to Computer Operation		
全学科1年全組 非常勤講師 山口 茂			
<b>授業形態</b>		単独（1人が全回担当）	
<b>授業の達成目標</b>		コンピュータを使用してレポート作成、データ整理、プレゼンテーション資料の作成ができるようになること。	
<b>授業の概要</b>		レポート作成、データ整理、プレゼンテーション等に今や欠かせないものとなった MicrosoftOffice の操作方法について学ぶ。Word による文章作成、Excel による表計算とグラフ作成、PowerPoint によるプレゼンテーション資料の作成について、それらソフトの操作方法について習得する。	
<b>授業計画（各回の学習内容等）</b>			
	学習内容	授業方法及び学習課題（予習・復習）	時間(時)
第1回	ガイダンス Word、Excel、Power Point ができること 文字の入力と編集	テキストの内容を確認して予習する。文字入力、ファイルの保存等について復習する。	4
第2回	Word 基本的な文書の作成 図形の入力、表の挿入	文字書式・段落書式の設定、図表の挿入について予習する。実習データをテキストに沿って再度操作して復習する。	4
第3回	Word 文書の印刷、段組、タブ、長文レポートの編集	印刷、段組、タブ、見出し、脚注について予習する。実習データをテキストに沿って再度操作して復習する。	4
第4回	Word 文書の校閲、数式ツール	検索と置換、コメント、変更履歴、数式ツールについて予習する。実習データをテキストに沿って再度操作して復習する。	4
第5回	Word Word の総まとめ	テキストの練習問題を操作して予習する。実習データをテキストに沿って再度操作して復習する。	4
第6回	Excel 表の作成、表の編集	データ入力、数式や関数の入力、罫線の設定について予習する。実習データをテキストに沿って再度操作して復習する。相対参照と絶対参照については必ず理解することとする。	4
第7回	Excel 印刷、グラフ作成、データベースの操作	印刷設定、グラフ作成、データベース機能について予習する。実習データをテキストに沿って再度操作して復習する。	4
第8回	Excel 複数シートの操作、関数	シート間の集計、テキスト記載の7つの関数について予習する。実習データをテキストに沿って再度操作して復習する。	4
第9回	Excel ユーザー定義書式設定、高度なグラフ作成、ピボットテーブル	表示形式、複合グラフ、補助縦棒グラフ付円グラフ、ピボットテーブルについて予習する。実習データをテキストに沿って再度操作して復習する。	4
第10回	Excel データベースの活用、Excel の総まとめ	テーブル、フィルターの複雑条件設定について予習する。テキストの練習問題を再度操作して復習する。	4
第11回	Power Point スライドの作成	プレゼンテーションの作成、図表の挿入について予習する。実習データをテキストに沿って再度操作して復習する。	4
第12回	Power Point スライドの編集	プレゼンテーションの編集、特殊効果の設定について予習する。実習データをテキストに沿って再度操作して復習する。	4
第13回	Power Point の総まとめ	テキストの練習問題を操作して予習する。実習データをテキストに沿って再度操作して復習する。	4
第14回	共通ファイルの貼り付け Excel から Word、Excel または Word から Power Point	データのリンク貼り付け、Power Point で Word や Excel データを利用する方法について予習する。実習データをテキストに沿って再度操作して復習する。	4
第15回	総まとめと試験	Word と Excel の練習問題を操作して予習する。不確実な部分については、実習データをテキストに沿って再度操作して復習する。	4
<b>教科書・参考書等</b>			
教科書 『情報リテラシー 入門編 改訂版』 FOM 出版。 参考書 市販の Microsoft Office に関する書籍、及び HELP を参照のこと。			
<b>成績評価方法・基準</b>			
課題提出（60%）、期末試験（40%）の成績に基づいて評価する。課題については、授業時に、フィードバックを行う。			

<b>19</b>	<b>生活とエコロジー</b> LGE-NT-201	選択 2単位 2年後期	
Life and Ecology			
全学科2年全組 非常勤講師 是常 知美			
<b>授業形態</b>	単独（1人が全回担当）		
<b>授業の達成目標</b>	<p>快適で安全安心な社会を実現するために、地球環境やエコロジーに関する基礎的知識を習得し、身近にある環境問題を軽減できるような意識の向上を図る。さらに、習得した知識と専門知識とのつながりを考え、ライフワークの方向性を考える力を培う。</p>		
<b>授業の概要</b>	<p>産業革命以降の急速な人口増加と経済活動の拡大により、人類は大きな課題に直面している。環境問題を理解するために必要なエコロジーに関する知識を学び、環境問題について理解し、社会的な動きを見ていく。また、自然と共生する社会を築くための基盤となる考え方として、自然から与えられる恵と災害とを認識する。授業を通して、日常生活や地域社会などの身近な場面で、社会の一員として地球環境を維持していくために自らができることを考える。</p>		
<b>授業計画（各回の学習内容等）</b>			
	学習内容	授業方法及び学習課題（予習・復習）	時間(分)
第1回	エコロジーを学ぶ理由(オリエンテーション)	予習としてシラバスを熟読し、この授業で習得したい知識や技能を自身で設定する。ノートや配付資料を復習し理解できなかった点があれば調べる。	4
第2回	地球環境の歴史	地球環境の歴史について調べて予習する。ノートや配付資料を復習し理解できなかった点があれば調べる。	4
第3回	地球環境システム	地球上の物質循環システムについて調べて予習する。ノートや配付資料を復習し理解できなかった点があれば調べる。	4
第4回	生物と地球環境	地球上の物質循環システムに関わる生物について調べて予習する。ノートや配付資料を復習し理解できなかった点があれば調べる。	4
第5回	地球環境問題 公害問題	日本の公害問題について調べて予習する。ノートや配付資料を復習し理解できなかった点があれば調べる。	4
第6回	地球環境問題 地球温暖化	地球温暖化について調べて予習する。ノートや配付資料を復習し理解できなかった点があれば調べる。	4
第7回	地球環境問題 資源問題	資源問題について調べて予習する。ノートや配付資料を復習し理解できなかった点があれば調べる。	4
第8回	地球環境問題 生物多様性	生物多様性について調べて予習する。ノートや配付資料を復習し理解できなかった点があれば調べる。	4
第9回	持続可能な社会	持続可能な社会について調べて予習する。ノートや配付資料を復習し理解できなかった点があれば調べる。	4
第10回	環境をめぐる社会の動き	環境に関わる諸制度について調べて予習する。ノートや配付資料を復習し理解できなかった点があれば調べる。	4
第11回	自然の恵み	生態系サービスについて調べて予習する。ノートや配付資料を復習し理解できなかった点があれば調べる。	4
第12回	自然災害	自然災害について調べて予習する。ノートや配付資料を復習し理解できなかった点があれば調べる。	4
第13回	自然と共生する社会	自然共生社会について調べて予習する。ノートや配付資料を復習し理解できなかった点があれば調べる。	4
第14回	ライフデザインとエコロジー	生活と環境問題について調べて予習する。ノートや配付資料を復習し理解できなかった点があれば調べる。	4
第15回	まとめと試験	予習では第1回目からの授業全体を見直し、復習では各回の内容を統合的にまとめる。	4
<b>教科書・参考書等</b>			
教科書 担当教員の配付資料			
参考書 「eco 検定公式テキスト」 東京商工会議所編著			
<b>成績評価方法・基準</b>			
課題と期末試験で総合的に評価する。			

<b>20</b>	<b>工業概論</b> AGE-NT-301	選択 2単位 3年前期 ※「工業」の免許状取得希望者のみ必修	
Introduction to Industry			
CD・SD 3年全組 非常勤講師 萩野 元彦			
<b>授業形態</b>	単独（1人が全回担当）		
<b>授業の達成目標</b>	現代社会における工業の意義や役割を理解し、「どのようなものを、いかに作るか」を問い直す意識をもって、工業の各分野に関する基礎的な知識と技術・技能を修得することで、将来高等学校の工業教育にかかわる際に必要な資質を養うこと。それを通じて、工業高校の生徒に対して指導者として教育を行うために必要となる、工業教育への自信と力量を備えること。		
<b>授業の概要</b>	本講義は、高等学校教員免許の取得を目指し、教職課程を履修している学生を対象とする講義である。高等学校において生徒に工業系科目の授業を提供するために必要となる、工業教育全体にかかわる機械、電気、情報、建築、化学の各分野のエッセンスを、演習や実習的要素を交えながら、問題演習に重点を置きつつ、幅広く講ずる。技術者としての倫理観や実践的な技術を修得させ、環境およびエネルギーに配慮しつつ、工業技術に関する諸問題を主体的・合理的に解決し、社会の発展を図る創造的な能力と実践的な態度を養う。		
<b>授業計画（各回の学習内容等）</b>			
	学習内容	授業方法及び学習課題（予習・復習）	時間(時)
第1回	人と技術、工具の基礎	教科書の該当箇所を予習する。配付資料などを参考に、工具について復習する。	4
第2回	製図法と測定法の基礎	教科書の該当箇所を予習する。配付資料などを参考に、製図法と測定法について復習する。	4
第3回	材料の性質と加工法の基礎	教科書の該当箇所を予習する。配付資料などを参考に、材料の性質と加工法について復習する。	4
第4回	機械加工の基礎	教科書の該当箇所を予習する。配付資料などを参考に、機械加工について復習する。	4
第5回	機械工作の基礎	教科書の該当箇所を予習する。配付資料などを参考に、機械工作について復習する。	4
第6回	電気回路の基礎	教科書の該当箇所を予習する。配付資料などを参考に、電気回路について復習する。	4
第7回	論理回路の基礎	教科書の該当箇所を予習する。配付資料などを参考に、論理回路について復習する。	4
第8回	コンピュータ制御の基礎	教科書の該当箇所を予習する。配付資料などを参考に、コンピュータ制御について復習する。	4
第9回	制御回路の基礎	教科書の該当箇所を予習する。配付資料などを参考に、制御回路について復習する。	4
第10回	化学工業の基礎	教科書の該当箇所を予習する。配付資料などを参考に、化学工業について復習する。	4
第11回	部材と力の基礎	教科書の該当箇所を予習する。配付資料などを参考に、部材と力について復習する。	4
第12回	測定の基礎	教科書の該当箇所を予習する。配付資料などを参考に、測定について復習する。	4
第13回	住宅の計画基礎	教科書の該当箇所を予習する。配付資料などを参考に、住宅計画について復習する。	4
第14回	デザインの基礎	教科書の該当箇所を予習する。配付資料などを参考に、デザインについて復習する。	4
第15回	まとめと試験	これまでの学習内容の総まとめ。配付資料などの全体を確認して試験に備えて予習する。試験を復習する。	4
<b>教科書・参考書等</b>			
教科書「工業技術基礎」実教出版、山下省蔵ほか 東北工業大学教職課程センター教材プリント			
<b>成績評価方法・基準</b>			
レポートおよび試験により総合的に評価する。			

<b>21</b>	<b>日本語表現 I</b> AGE-LE-110	必修 1単位 1年前期	
Japanese Representation I			
SD 1年全組・MC 1年X組 准教授 高橋秀太郎 CD 1年X組・MC 1年Y組 非常勤講師 加藤 順一 CD 1年Y組 非常勤講師 石川 清志			
<b>授業形態</b>	単独（1人が全回担当）		
<b>授業の達成目標</b>	大学在学中、並びに社会人となってから必要となる表現能力の基礎を身につけることを達成目標とする。		
<b>授業の概要</b>	本講義では以下の3点を中心に学ぶことで、「正しく分かりやすい」日本語表現をするために必要な力を身につけていく。 (1) 文章添削の方法 (2) 文章構成の方法 (3) 敬語		
<b>授業計画（各回の学習内容等）</b>			
	学習内容	授業方法及び学習課題（予習・復習）	時間(時)
第1回	ガイダンス ノートテイキングの基本を学ぶ	【予習】 シラバス通読の上、準備学習を行う。 【復習】 ノートテイキングの基本を復習し、各講義で実践する。	1
第2回	「添削力を身につける」①「語句」の添削	【予習】 課題文の作成。 【復習】 配付プリントを使用して講義内容の復習を行う。	1
第3回	「添削力を身につける」②「語句」・「文」の添削	【予習】 プリント課題。 【復習】 配付プリントを使用して講義内容の復習を行う。	1
第4回	「添削力を身につける」③「文」の添削	【予習】 プリント・テキスト解題 【復習】 配付プリント、テキストを使用して講義内容の復習を行う。	1
第5回	「添削力を身につける」④「文」「文章」の添削	【予習】 テキスト課題（漢字） 【復習】 テキストを使用して講義内容の復習を行う。	1
第6回	「文章構成力を身につける」Ⅰ-①「分析と考察」の基本を学ぶ。表・グラフを作成する	【予習】 テキスト課題（漢字） 【復習】 テキストを使用して講義内容の復習を行う。	1
第7回	「文章構成力を身につける」Ⅰ-② 説明文の書き方を学ぶ	【予習】 テキスト・プリント課題 【復習】 プリントを使用して講義内容の復習を行う。	1
第8回	「文章構成力を身につける」Ⅰ-③「分析と考察」の書き方を学ぶ	【予習】 テキスト課題（四字熟語） 【復習】 テキストを使用して講義内容の復習を行う。	1
第9回	「文章構成力を身につける」Ⅰ-④分析・考察テスト	【予習】 テキストを使用してテスト勉強を行う。 【復習】 テスト内容を振り返る。	1
第10回	添削課題返却と説明 「文章構成力を身につける」Ⅱ?①「自己PR文」の基本を学ぶ	【予習】 テキスト課題 スケジュール帳の見直し。 【復習】 返却課題の見直し、書き直し。	1
第11回	テスト返却と説明 「文章構成力を身につける」Ⅱ-②「自己PR文」メモ作成	【予習】 テキスト課題（慣用表現） 【復習】 返却課題の見直し、書き直し。	1
第12回	「文章構成力を身につける」Ⅱ-③「自己PR文」の作成、提出	【予習】 自己PR文下書き作成。 【復習】 ここまでの大学生活と将来の目標を比較し、今後のあり方を検討する。	1
第13回	課題返却と説明 「敬語を学ぶ」① 敬語の基礎を学ぶ	【予習】 テキスト課題（ことわざ） 【復習】 テキストを使用して講義内容の復習を行う。	1
第14回	「敬語を学ぶ」② 敬語の間違いをを見つけ、直す練習をする	【予習】 テキスト課題（故事成語） 【復習】 テキストを使用して講義内容の復習を行う。	1
第15回	「敬語を学ぶ」③ 会話文をつくる 最終テストとまとめ	【予習】 テスト勉強。 【復習】 テキストを使用して講義内容、テストの復習を行う。	1
<b>教科書・参考書等</b>			
『大学生のための日本語表現実践ノート 改訂版』 風間書房			
<b>成績評価方法・基準</b>			
「提出課題（2つ）」と「テスト（2回）」の4つにより評価する。（4つの課題はすべて25点満点） 課題については、返却時に全体に対しフィードバックを行う。			

<b>22</b>	<b>日本語表現Ⅱ</b> AGE-LE-211	必修 1単位 1年後期	
Japanese Representation II			
CD1年2組・SD1年全組・MC1年2組 准教授 高橋秀太郎 CD1年1組・MC1年1組 非常勤講師 加藤 順一			
<b>授業形態</b>	単独（1人が全回担当）		
<b>授業の達成目標</b>	新聞レベルの文章を正確に読み取り、まとめる力を身につける。		
<b>授業の概要</b>	本講義では、様々な分野について書かれた新聞記事を材料にして、語彙力、読解力、文章表現力（添削力）を高める。具体的には、以下の実践練習を行う。 (1) 新聞頻出語彙の意味確認 (2) 記事の読解練習 (3) 記事の要旨作成また、自身の大学生活を説明する文章や、就職活動で必ず必要となる「自己紹介書」を作成する。前期・後期を通して学んできた「正しく分かりやすい文章の書く力」がどこまで身についているかを確認する。		
<b>授業計画（各回の学習内容等）</b>			
回数	学習内容	授業方法及び学習課題（予習・復習）	時間(時)
第1回	ガイダンス／課題文の説明・メモ作り	【予習】 シラバス通読。夏休み課題の整理 【復習】 ガイダンス内容の再確認	1
第2回	課題文の作成・提出	【予習】 課題文下書き作成。 【復習】 後期予定表の作成。	1
第3回	語彙力を身につける①外来語・漢語 文章を読み、まとめる力を身につける①ガイダンス・「社会分野」	【予習】 テキスト課題（社会分野） 【復習】 講義内容（社会分野）の復習。	1
第4回	語彙力を身につける②日本語・中国語文章を読み、まとめる力を身につける②「社会分野」	【予習】 テキスト課題（社会分野） 【復習】 講義内容（社会分野）の復習	1
第5回	文章を読み、まとめる力を身につける③「科学技術分野」	【予習】 テキスト課題（科学技術分野） 【復習】 講義内容（科学技術分野）の復習	1
第6回	文章を読み、まとめる力を身につける④「医療・生活分野」	【予習】 テキスト課題（医療・生活分野） 【復習】 講義内容（医療・生活分野）の復習。	1
第7回	文章を読み、まとめる力を身につける⑤「文化分野」	【予習】 テキスト課題（文化分野） 【復習】 講義内容（文化分野）の復習	1
第8回	文章を読み、まとめる力を身につける⑥「天声人語」	【予習】 テキスト課題（天声人語） 【復習】 講義内容（天声人語）の復習	1
第9回	文章を読み、まとめる力を身につける⑦「社説」	【予習】 テキスト課題（社説） 【復習】 講義内容（社説）の復習	1
第10回	文章を読み、まとめる力を身につける⑧「情報整理」	【予習】 テキスト課題（情報整理） 【復習】 講義内容（情報整理）の復習。	1
第11回	「語彙・読解・要旨作成」テスト	【予習】 これまでの学習内容を復習し、テストに備える。 【復習】 テスト問題を踏まえ、教科書の内容を復習する。	1
第12回	「自己紹介書を書く」①書き方の説明	【予習】 自身の大学生活での活動について、大まかに振り返っておく。 【復習】 書き方の説明を受けて、自己紹介書で取り上げる内容について検討する。	1
第13回	「自己紹介書を書く」②構成を考える	【予習】 自己紹介書の文章構成を自分なりに検討しておく。 【復習】 授業内での検討を踏まえ、文章構成を決定する。	1
第14回	「自己紹介書を書く」③ペンで清書し、提出する	【予習】 自己紹介書の下書きをあらかじめ完成させておく。 【復習】 自己紹介書の内容を振り返り、大学生活の今後の目標を考える。	1
第15回	まとめ、講評	【予習】 返却テストの見直し。 【復習】 返却された自己紹介書と講評を基に、自分の日本語表現力の現状について確認し、改善に努める。	1
<b>教科書・参考書等</b>			
(未定)			
<b>成績評価方法・基準</b>			
小テスト（20%）、テスト（50%）、提出物（30%）の点数により総合的に評価する。課題等については、授業時に、全体に対しフィードバックを行う。			

<b>23</b>	<b>プレゼンテーション</b> LGE-LE-321	必修 選択	1単位 1単位	2年前期 (SD・MC) 2年前期 (CD)
	Presentation			
全学科2年全組 非常勤講師 伊藤 光弘				
<b>授業形態</b>		単独 (1人が全回担当)		
<b>授業の達成目標</b>		<p>[1] コミュニケーション、プレゼンテーションに必要な思考能力を実践的に培う。                  [2] 自分の持つコミュニケーション能力を高める。                  [3] 今までより以上にプレゼンテーション能力を高める。</p>		
<b>授業の概要</b>		【アクティブラーニングに該当】		
人間のコミュニケーション機能は本来自然に備わっているはずなのに、対人関係においてコミュニケーションを苦手とする人間は学生にも社会人にも非常に多い。本講義では多くの現代日本人が抱える、コミュニケーションへの苦手意識克服に理論的かつ適切な解を与えつつも、思考訓練と表現のツールである「図解」を用いて、将来ばかりか人生に必要とされるコミュニケーション、プレゼンテーション能力をグループワークも取り入れながら訓練、開発していく。この授業は実務経験のある非常勤講師が担当し、実践的な授業構成とする。				
<b>授業計画 (各回の学習内容等)</b>				
	<b>学習内容</b>	<b>授業方法及び学習課題 (予習・復習)</b>		<b>時間(時)</b>
第1回	オリエンテーション「なぜ苦手なのか」(講義15回の全体概要解説、受講生の現状自己認識)	シラバス通読の上、準備学習を行う(予習)。オリエンテーション内容の復習をする(復習)。		1
第2回	自分本位に図解しよう(図解コミュニケーション理論概要と実践)	講義内で触れた図解秒法に従って次週までに図解を描く(予習)。テキストを熟読する(復習)。		1
第3回	自分を誰かに説明してみよう(図解コミュニケーション実技、理論解説)	描いてきた図解をブラッシュアップし、次回の実技に備える(予習)、アドバイス&メッセージシートを良く読んで、自分の良い所悪いところを知る(復習)。		1
第4回	自分の歴史を発掘しよう(図解による自己分析、理論解説)	自己紹介の図解を次週までに作ってくる(予習)、テキストの反復(復習)		1
第5回	自分プレゼンテーション(図解プレゼンテーション実技、相互評価)	任意の社会課題の図解を作成する(予習)アドバイス&メッセージシートをよく読んでくる(復習)		1
第6回	社会の仕組みを理解しよう(課題図解)	研究した社会課題に対し、解決策を考案し図解してくる(予習)、アドバイス&メッセージシートの内容をよく読んで、問題点を解決する(復習)。		1
第7回	社会の仕組みを図解しよう(図解修正および、理論解説)	社会課題に対する解決策を短い時間でプレゼンする準備をしてくる(予習)、事前準備に抜かりがないか確認しておく(復習)		1
第8回	社会の仕組みをいじってみよう(自分の企画を形にする)	社会課題に対する解決策を短い時間でプレゼンする準備をしてくる(予習)、事前準備に抜かりがないか確認しておく(復習)。		1
第9回	社会の仕組みを変えてみよう(課題図解および、発表)	社会課題に対する解決策を短い時間でプレゼンする準備をしてくる(予習)、事前準備に抜かりがないか確認しておく(復習)。		1
第10回	社会の仕組みを見せ合おう(グループプレゼンテーション、相互評価)	チームの役割分担を決め、連絡する(予習)、チームプレゼン課題をよく把握しておく(復習)。		1
第11回	チームで企画を作ってみよう(課題発表、チーム構築、チームワーク解説)	具体的なチームワークを次の講義までに数回実施する(予習)、問題点の洗い出し(復習)。		1
第12回	チームで企画を練りあげてみよう(チームディスカッション、および発表実技)	具体的なチームワークを次の講義までに数回実施する(予習)、問題点の洗い出し(復習)。		1
第13回	チームの企画を検証してみよう(チームプレゼンテーション事前準備)	具体的なチームワークを次の講義までに数回実施する(予習)、問題点の洗い出し(復習)。		1
第14回	チームの企画を表現しよう(チームプレゼンテーション大会)	表現する対象者を事前に研究しておく(予習)、対象者からの講評で事前の対策を自己評価する(復習)		1
第15回	講義総括、まとめ(プレゼンテーション大会結果発表、講評、講義の総まとめ)	これまでの講義内容全てについて、配付プリント、ノート等で確認する(予習)。講義総括を振り返る(復習)。		1
<b>教科書・参考書等</b>				
特に指定はないが、講義の進行上また、受講生の理解度、進度により必要と判断できる資料、書籍などは随時講義内にて紹介する。(購入の有無、参照するしないは受講生の任意による。必須とはしない)				
<b>成績評価方法・基準</b>				
授業終了時に提出するアンケート (50%)、プレゼンテーション大会の審査結果 (20%) 試験又はレポート (30%) の合計による。				



24	<b>ビジネスマナー</b> LGE-LE-620	必修 選択	1単位 1単位	3年前期 (SD・MC) 3年前期 (CD)
	Business Manners			
全学科3年全組 非常勤講師 浅野 純子				
<b>授業形態</b>		単独 (1人が全回担当)		
<b>授業の達成目標</b>		人間力を磨き、社会で活躍するための基礎を学ぶ事により、信頼される人物として人や社会に愛され、自信をもって人生を生きる力を身につける。		
<b>授業の概要</b>		自分自身を見つめ、社会性をもつ人間としての基本を学びます。また、仕事への取り組み方やより良い人間関係など、社会人として生きる上で大切な事を学習します。この授業は実務経験のある非常勤講師が担当し、実践的な授業構成とする。		
<b>授業計画 (各回の学習内容等)</b>				
	学習内容	授業方法及び学習課題 (予習・復習)	時間(時)	
第1回	人生成功の極意・パフォーマンス力を磨く「目力・姿勢・歩き方・笑顔・挨拶訓練・名刺交換」	挨拶・立ち居振る舞いの際に大切なポイントを考え実践し予習をする。 目力・笑顔・歩き方など学んだことを復習し体得する。		
第2回	ファーストイメージUP「就職活動や社会人としての身だしなみ・洋服のマナー・カラーの知識」	自分らしいイメージとは何かを考え予習をする。 自分のイメージアップに必要な事と持ち物リストを作成し復習をする。		
第3回	社会人としての心構え・自分を見つめる「プロとして求められる資質・目標設定・自己を知る」	10年間の目標を考え、シートに記入できるように予習をする。 心構えとプロ意識・成功するための7つの習慣を読み返し習慣化できるように意識をする。		
第4回	基本マナー・人間力・時間管理・仕事の整理法「できる仕事術・ビジネス文書・報告連絡相談」	日頃の行動の所要時間を書き出し分析をする。 時間管理の見直しと、日頃から報連相を習慣にできるように実践をする。		
第5回	言葉遣いのマナー「ビジネス敬語・正しい言葉遣い・クッション言葉」電話対応のマナー	自分の話し方や言葉遣いのクセを書き出し予習をする。敬語・正しい言葉遣い・ビジネス会話・クッション言葉を日頃の会話で使用し習得をする。		
第6回	コミュニケーション能力「発声法・聴く力・話す力・自己紹介・敬語での話し方を習得する」	何を考え、何を伝えている事が多いか分析をする。 日頃から笑顔でハキハキと話す。自分の意見を明確に分かりやすく話せるように心掛ける。		
第7回	面接での挨拶と対話法・面接の受け方・履歴書の書き方・履歴書を作成する	履歴書を作成できるように準備をする。 書類審査で通る履歴書を完成させる。		
第8回	面接実践①「面接必勝法と個別アドバイス」	就職での面接質問例に答えられるようにしっかりと準備をする。 面接でのポイントとアドバイスを復習する。		
第9回	面接実践②「面接必勝法と個別アドバイス」	就職での面接質問例に答えられるようにしっかりと準備をする。 他の学生の面接から得られる良い点を考え復習する。		
第10回	期末試験の説明・ビジネスマナーのポイント・価値観・自己分析と会社選びの優先順位	自分にとって大切なことは何かを考える。 ビジネスマナーのポイントをしっかりと覚える。		
第11回	ビジネス文書の実践「お礼状・添え状・手紙・はがき・社内文書と社外文書・メール」	ビジネス文書について予習をする。 履歴書を送る際に必要な添え状と、その後のお礼状の下書きを書いて練習をする。		
第12回	接客と訪問のマナー「来客対応・案内・席次・お茶の出し方・紹介・訪問」	これまで経験した好印象の接客対応を書き出し予習をする。 接客対応での案内やお茶の出し方、訪問などを実践し習得をする。		
第13回	期末試験	ビジネスマナーのポイントをしっかりと覚えて予習をする。 試験解答を確認し復習をする。		
第14回	冠婚葬祭のマナー・魅力的なパーソナリティ・より良い人間関係を築くために	人間関係をより良くするために実践していることを書き出し予習をする。 冠婚葬祭について、魅力的なパーソナリティについて復習をする。		
第15回	答案用紙の採点返却と解説・食事のマナー・知って得する社会人としての豆知識	学んだビジネスマナーを実践し習得をする。 自分の特性と能力を考えて進む道を決める。		
<b>教科書・参考書等</b>				
役立つビジネスマナー 浅野 純子				
<b>成績評価方法・基準</b>				
ビジネスマナーの試験問題 70%・面接実践 30%				

<b>25</b>	<b>英語 I A</b> AGE-LE-130	必修 1単位 1年前期
English I A		
CD 1年全組 設楽 宏二      SD 1年X組 八幡 尚子      MC 1年X組 八幡 尚子 SD 1年Y組 徳永 慎也      MC 1年Y組 徳永 慎也		
<b>授業形態</b>	クラス分け (クラス分けで担当する)	
<b>授業の達成目標</b>	<p>1. 品詞、文の種類、文型、時制などの基礎的な英文法を理解できる。</p> <p>2. 基礎的英文法の理解に基づいて、speaking、listening、writing、reading の四分野において、日常的場面でのコミュニケーションを行うことができる。</p>	
<b>授業の概要</b>	speaking、listening、writing、reading の四分野に関わる総合的英語学習を行うが、特に、英文法の基本的事項に関する理解に基づいて情報の送受信を行うための基礎を学ぶ。取り上げる文法項目は、品詞、文の種類、五文型、時制である。	
<b>授業計画 (各回の学習内容等)</b>		
	学習内容	授業方法及び学習課題 (予習・復習) <span style="float: right;">時間(時)</span>
第1回	ガイダンス (授業内容、計画、教材、学習方法、成績評価法など)	品詞の種類と用法について、未知の英単語を辞書を使って予習し、英文を音読し、発音、アクセントを確認する。 1
第2回	品詞の種類と用法：解説	品詞の種類と用法に関してテキストや講義ノート等を用いて不確実な部分を復習する。演習問題について、未知の英単語を辞書を使って予習し、英文を音読し、発音、アクセントを確認する。 1
第3回	品詞の種類と用法：演習問題	品詞の種類と用法に関してテキストや講義ノート等を用いて不確実な部分を復習する。英文の基本構成と文の種類ユニットについて、未知の英単語を辞書を使って予習し、英文を音読し、発音、アクセントを確認する。 1
第4回	英文の基本構成と文の種類：解説	英文の基本構成と文の種類に関してテキストや講義ノート等を用いて不確実な部分を復習する。演習問題について、未知の英単語を辞書を使って予習し、英文を音読し、発音、アクセントを確認する。 1
第5回	英文の基本構成と文の種類：演習問題	英文の基本構成と文の種類に関してテキストや講義ノート等を用いて不確実な部分を復習する。文型 (第1-3) のユニットについて、未知の英単語を辞書を使って予習し、英文を音読し、発音、アクセントを確認する。 1
第6回	文型 (第1-3文型)：解説	文型 (第1-3文型) に関してテキストや講義ノート等を用いて不確実な部分を復習する。演習問題について、未知の英単語を辞書を使って予習し、英文を音読し、発音、アクセントを確認する。 1
第7回	文型 (第1-3文型)：演習問題	文型 (第1-3) に関してテキストや講義ノート等を用いて不確実な部分を復習する。文型 (第4-5)、その他の文型のユニットについて、未知の英単語を辞書を使って予習し、英文を音読し、発音、アクセントを確認する。 1
第8回	文型 (第4-5文型、その他の文型)：解説	文型 (第4-5文型) に関してテキストや講義ノート等を用いて不確実な部分を復習する。演習問題について、未知の英単語を辞書を使って予習し、英文を音読し、発音、アクセントを確認する。 1
第9回	文型 (第4-5文型、その他の文型)：演習問題	文型 (第4-5文型、その他の文型) に関してテキストや講義ノート等を用いて不確実な部分を復習する。時制 (現在、過去、未来) のユニットについて、未知の英単語を辞書を使って予習し、英文を音読し、発音、アクセントを確認する。 1
第10回	時制 (現在、過去、未来時制の諸用法)：解説	時制 (現在、過去、未来) に関してテキストや講義ノート等を用いて不確実な部分を復習する。演習問題について、未知の英単語を辞書を使って予習し、英文を音読し、発音、アクセントを確認する。 1
第11回	時制 (現在、過去、未来時制の諸用法)：演習問題	時制 (現在、過去、未来) に関してテキストや講義ノート等を用いて不確実な部分を復習する。時制 (進行形、完了形) のユニットについて、未知の英単語を辞書を使って予習し、英文を音読し、発音、アクセントを確認する。 1
第12回	時制 (進行形、完了形の諸用法)：解説	時制 (進行形、完了形) に関してテキストや講義ノート等を用いて不確実な部分を復習する。演習問題について、未知の英単語を辞書を使って予習し、英文を音読し、発音、アクセントを確認する。 1
第13回	時制 (進行形、完了形の諸用法)：演習問題	前期の学習内容に関してテキストや講義ノート等を用いて不確実な部分を復習する。 1
第14回	まとめと試験	これまでの学習を復習し試験に備える。解答例により試験を復習する。 1
第15回	前期学習内容の確認	試験でできなかった問題を再度解き理解を深める。 1
<b>教科書・参考書等</b>		
教科書、参考書については授業開始時、もしくは適宜必要に応じて指示する。		
<b>成績評価方法・基準</b>		
成績は定期試験によって評価する。		

26	英語 I B	AGE-LE-231	必修	1 単位	1 年後期
English I B					
CD 1 年全組 設楽 宏二      SD 1 年全組 八幡 尚子      MC 1 年 X 組 八幡 尚子 MC 1 年 Y 組 クック					
<b>授業形態</b>		クラス分け（クラス分けで担当する）			
<b>授業の達成目標</b>		<p>1. 主語と動詞の一致、助動詞、前置詞、接続詞、比較などのより複雑な英文の理解に必要な文法項目を理解できる。</p> <p>2. 上の文法項目の理解に基づいて、speaking、listening、writing、reading の四分野において、日常的場面でのコミュニケーションを行うことができる。</p>			
<b>授業の概要</b>		speaking、listening、writing、reading の四分野に関わる総合的英語学習を行うが、特に、英文法の基本的事項に関する理解に基づいて、長文読解のための基礎を学ぶ。取り上げる文法項目は、主語と動詞の一致、助動詞、前置詞、接続詞、比較である。			
<b>授業計画（各回の学習内容等）</b>					
	学習内容	授業方法及び学習課題（予習・復習）			時間(時)
第1回	ガイダンス（授業内容、計画、教材、学習方法、成績評価法など）	英文の形式と特徴について、未知の英単語を辞書を使って予習し、英文を音読み、発音、アクセントを確認する。			1
第2回	英文の形式と特徴：解説	英文の形式と特徴に関してテキストや講義ノート等を用いて不確実な部分を復習する。演習問題について、未知の英単語を辞書を使って予習し、英文を音読み、発音、アクセントを確認する。			1
第3回	英文の形式と特徴：演習問題	英文の形式と特徴に関してテキストや講義ノート等を用いて不確実な部分を復習する。主語と動詞の一致のユニットについて、未知の英単語を辞書を使って予習し、英文を音読み、発音、アクセントを確認する。			1
第4回	主語と動詞の一致：解説	主語と動詞の一致に関してテキストや講義ノート等を用いて不確実な部分を復習する。演習問題について、未知の英単語を辞書を使って予習し、英文を音読み、発音、アクセントを確認する。			1
第5回	主語と動詞の一致：演習問題	主語と動詞の一致の諸用法に関してテキストや講義ノート等を用いて不確実な部分を復習する。前置詞の諸用法のユニットについて、未知の英単語を辞書を使って予習し、英文を音読み、発音、アクセントを確認する。			1
第6回	前置詞の諸用法：解説	前置詞の諸用法に関してテキストや講義ノート等を用いて不確実な部分を復習する。演習問題について、未知の英単語を辞書を使って予習し、英文を音読み、発音、アクセントを確認する。			1
第7回	前置詞の諸用法：演習問題	前置詞の諸用法に関してテキストや講義ノート等を用いて不確実な部分を復習する。接続詞の諸用法のユニットについて、未知の英単語を辞書を使って予習し、英文を音読み、発音、アクセントを確認する。			1
第8回	接続詞の諸用法：解説	接続詞の諸用法に関してテキストや講義ノート等を用いて不確実な部分を復習する。演習問題について、未知の英単語を辞書を使って予習し、英文を音読み、発音、アクセントを確認する。			1
第9回	接続詞の諸用法：演習問題	接続詞の諸用法に関してテキストや講義ノート等を用いて不確実な部分を復習する。比較の表現のユニットについて、未知の英単語を辞書を使って予習し、英文を音読み、発音、アクセントを確認する。			1
第10回	比較の表現：解説	比較の表現に関してテキストや講義ノート等を用いて不確実な部分を復習する。演習問題について、未知の英単語を辞書を使って予習し、英文を音読み、発音、アクセントを確認する。			1
第11回	比較の表現：演習問題	比較の表現に関してテキストや講義ノート等を用いて不確実な部分を復習する。助動詞の諸用法のユニットについて、未知の英単語を辞書を使って予習し、英文を音読み、発音、アクセントを確認する。			1
第12回	助動詞の諸用法：解説	助動詞の諸用法に関してテキストや講義ノート等を用いて不確実な部分を復習する。演習問題について、未知の英単語を辞書を使って予習し、英文を音読み、発音、アクセントを確認する。			1
第13回	助動詞の諸用法：演習問題	後期の学習内容に関してテキストや講義ノート等を用いて不確実な部分を復習する。			1
第14回	まとめと試験	これまでの学習を復習し試験に備える。解答例により試験を復習する。			1
第15回	後期学習内容の確認	試験でできなかった問題を再度解き理解を深める。			1
<b>教科書・参考書等</b>					
前期と同じ。					
<b>成績評価方法・基準</b>					
成績は定期試験によって評価する。					

27	<b>英語ⅡA</b> AGE-LE-332	必修	1単位	2年前期
	English II A			
CD 2年X組 徳永 慎也 CD 2年Y組 青木 愛美		SD 2年X組 柴田 尚子 SD 2年Y組 星 かおり	MC 2年全組 漆原 幸子	
<b>授業形態</b>		クラス分け (クラス分けで担当する)		
<b>授業の達成目標</b>		<p>1. 品詞、文型、時制、受動態、関係詞などの基礎的な英文法を理解できる。</p> <p>2. 英語圏での日常生活、およびビジネスの現場で用いられる TOEIC レベルの英文メール、手紙、広告などの、基本的、実践的内容の英文を理解できる。</p>		
<b>授業の概要</b>		speaking、listening、writing、reading の四分野に関わる総合的英語学習を行うが、特に、英文法の基本的事項に関する理解に基づき、TOEIC の適語補充問題レベルの英文に対応するための基礎を学ぶ。取り上げる文法項目は、品詞、文型、時制、受動態、関係詞である。		
<b>授業計画 (各回の学習内容等)</b>				
	<b>学習内容</b>	<b>授業方法及び学習課題 (予習・復習)</b>		<b>時間(時)</b>
第1回	ガイダンス (授業内容、計画、教材、学習方法、成績評価法など)	TOEIC の出題形式と特徴について問題集やインターネットなどを用いて予習しておく。		1
第2回	TOEIC の出題形式と特徴：解説	TOEIC の出題形式と特徴についてテキストや講義ノート等を用いて予習し次の模擬試験演習に備える。		1
第3回	TOEIC の出題形式と特徴：模擬試験演習	模擬試験演習の問題を再度解いて TOEIC の出題形式と特徴を復習する。文型・品詞のユニットについて、未知の英単語を辞書を使って予習し、英文を音読し、発音、アクセントを確認する。		1
第4回	文型の理解と品詞の判別：解説	文型・品詞に関してテキストや講義ノート等を用いて不確実な部分を復習する。演習問題について、未知の英単語を辞書を使って予習し、英文を音読し、発音、アクセントを確認する。		1
第5回	文型の理解と品詞の判別：演習問題	文型・品詞に関してテキストや講義ノート等を用いて不確実な部分を復習する。可算名詞と不可算名詞のユニットについて、未知の英単語を辞書を使って予習し、英文を音読し、発音、アクセントを確認する。		1
第6回	可算名詞と不可算名詞：解説	可算名詞と不可算名詞に関してテキストや講義ノート等を用いて不確実な部分を復習する。演習問題について、未知の英単語を辞書を使って予習し、英文を音読し、発音、アクセントを確認する。		1
第7回	可算名詞と不可算名詞：演習問題	可算名詞と不可算名詞に関してテキストや講義ノート等を用いて不確実な部分を復習する。動詞の変化と時制のユニットについて、未知の英単語を辞書を使って予習し、英文を音読し、発音、アクセントを確認する。		1
第8回	動詞の変化と時制：解説	動詞の変化と時制に関してテキストや講義ノート等を用いて不確実な部分を復習する。演習問題について、未知の英単語を辞書を使って予習し、英文を音読し、発音、アクセントを確認する。		1
第9回	動詞の変化と時制：演習問題	動詞の変化と時制に関してテキストや講義ノート等を用いて不確実な部分を復習する。受動態の諸用法のユニットについて、未知の英単語を辞書を使って予習し、英文を音読し、発音、アクセントを確認する。		1
第10回	受動態の諸用法：解説	受動態の諸用法に関してテキストや講義ノート等を用いて不確実な部分を復習する。演習問題について、未知の英単語を辞書を使って予習し、英文を音読し、発音、アクセントを確認する。		1
第11回	受動態の諸用法：演習問題	受動態の諸用法に関してテキストや講義ノート等を用いて不確実な部分を復習する。関係詞の諸用法のユニットについて、未知の英単語を辞書を使って予習し、英文を音読し、発音、アクセントを確認する。		1
第12回	関係詞の諸用法：解説	関係詞の諸用法に関してテキストや講義ノート等を用いて不確実な部分を復習する。演習問題について、未知の英単語を辞書を使って予習し、英文を音読し、発音、アクセントを確認する。		1
第13回	関係詞の諸用法：演習問題	前期の学習内容に関してテキストや講義ノート等を用いて不確実な部分を復習する。		1
第14回	まとめと試験	これまでの学習を復習し試験に備える。解答例により試験を復習する。		1
第15回	前期学習内容の確認	試験でできなかった問題を再度解き理解を深める。		1
<b>教科書・参考書等</b>				
教科書、参考書については授業開始時、もしくは適宜必要に応じて指示する。				
<b>成績評価方法・基準</b>				
成績は定期試験によって評価する。				

<b>28</b>	<b>英語ⅡB</b>	AGE-LE-433	必修	1単位	2年後期
English II B					
CD 2年X組 柴田 尚子		SD 2年X組 徳永 慎也		MC 2年全組 漆原 幸子	
CD 2年Y組 星 かおり		SD 2年Y組 青木 愛美			
<b>授業形態</b>		クラス分け (クラス分けで担当する)			
<b>授業の達成目標</b>		<p>1. 分詞、不定詞、動名詞、仮定法などのより高度な英文法に関する知識を持つ。</p> <p>2. 英語圏での日常生活、およびビジネスの現場において用いられる TOEIC レベルの社内通知、表、アンケートなどを含む様々なフォームの英文を理解できる。</p>			
<b>授業の概要</b>		<p>speaking、listening、writing、reading の四分野に関わる総合的英語学習を行うが、特に、英文法の基本的事項に関する理解に基づいて、TOEIC レベルの長文に対応するための基礎を学ぶ。取り上げる文法項目は、分詞、不定詞、動名詞、仮定法である。</p>			
<b>授業計画 (各回の学習内容等)</b>					
	学習内容	授業方法及び学習課題 (予習・復習)			時間(時)
第1回	ガイダンス (授業内容、計画、教材、学習方法、成績評価法など)	TOEIC の長文問題の形式と特徴について問題集、インターネットなどを用いて予習しておく。			1
第2回	TOEIC の長文問題の形式と特徴：解説	TOEIC の長文問題の形式と特徴についてテキストや講義ノート等を用いて予習し次回の模擬試験演習に備える。			1
第3回	TOEIC の長文問題の形式と特徴：模擬試験演習	模擬試験演習の問題を再度解いて TOEIC の長文問題の形式と特徴を復習する。現在分詞の諸用法のユニットについて、未知の英単語を辞書を使って予習し、英文を音読し、発音、アクセントを確認する。			1
第4回	現在分詞の諸用法：解説	現在分詞の諸用法に関してテキストや講義ノート等を用いて不確実な部分を復習する。演習問題について、未知の英単語を辞書を使って予習し、英文を音読し、発音、アクセントを確認する。			1
第5回	現在分詞の諸用法：演習問題	現在分詞の諸用法に関してテキストや講義ノート等を用いて不確実な部分を復習する。過去分詞の諸用法のユニットについて、未知の英単語を辞書を使って予習し、英文を音読し、発音、アクセントを確認する。			1
第6回	過去分詞の諸用法：解説	過去分詞の諸用法に関してテキストや講義ノート等を用いて不確実な部分を復習する。演習問題について、未知の英単語を辞書を使って予習し、英文を音読し、発音、アクセントを確認する。			1
第7回	過去分詞の諸用法：演習問題	過去分詞の諸用法に関してテキストや講義ノート等を用いて不確実な部分を復習する。to 不定詞の諸用法のユニットについて、未知の英単語を辞書を使って予習し、英文を音読し、発音、アクセントを確認する。			1
第8回	to 不定詞の諸用法：解説	to 不定詞の諸用法に関してテキストや講義ノート等を用いて不確実な部分を復習する。演習問題について、未知の英単語を辞書を使って予習し、英文を音読し、発音、アクセントを確認する。			1
第9回	to 不定詞の諸用法：演習問題	to 不定詞の諸用法に関してテキストや講義ノート等を用いて不確実な部分を復習する。動名詞の諸用法のユニットについて、未知の英単語を辞書を使って予習し、英文を音読し、発音、アクセントを確認する。			1
第10回	動名詞の諸用法：解説	動名詞の諸用法に関してテキストや講義ノート等を用いて不確実な部分を復習する。演習問題について、未知の英単語を辞書を使って予習し、英文を音読し、発音、アクセントを確認する。			1
第11回	動名詞の諸用法：演習問題	動名詞の諸用法に関してテキストや講義ノート等を用いて不確実な部分を復習する。仮定法の表現のユニットについて、未知の英単語を辞書を使って予習し、英文を音読し、発音、アクセントを確認する。			1
第12回	仮定法の表現：解説	仮定法の表現に関してテキストや講義ノート等を用いて不確実な部分を復習する。演習問題について、未知の英単語を辞書を使って予習し、英文を音読し、発音、アクセントを確認する。			1
第13回	仮定法の表現：演習問題	後期の学習内容に関してテキストや講義ノート等を用いて不確実な部分を復習する。			1
第14回	まとめと試験	これまでの学習を復習し試験に備える。解答例により試験を復習する。			1
第15回	後期学習内容の確認	試験でできなかった問題を再度解き理解を深める。			1
<b>教科書・参考書等</b>					
前期と同じ。					
<b>成績評価方法・基準</b>					
成績は定期試験によって評価する。					

<b>29</b>	<b>英会話A</b> AGE-LE-140	選択 1単位 1年前期	
English Conversation A			
CD 1年全組 准 教授 サイモン・クック SD・MC 1年全組 非常勤講師 ドミニク・ジョーンズ			
<b>授 業 形 態</b>	単独 (1人が全回担当)		
<b>授業の達成目標</b>	The objective of this course is to provide students with a variety of opportunities to express themselves in English. Focus will be placed upon speaking & listening.		
<b>授 業 の 概 要</b>	The course covers a variety of topics which will give students the opportunities to learn & share information about themes relevant to students' daily lives. In addition to the course textbook, the course is supplemented by a variety of interactive activities such as vocabulary & transcription exercises. These activities will help students to gain confidence in using the four skills of speaking, listening, reading & writing in English more spontaneously & creatively.		
<b>授業計画 (各回の学習内容等)</b>			
回	学習内容	授業方法及び学習課題 (予習・復習)	時間(時)
第1回	Course introduction & orientation. Stage 1-1 of textbook.	Course guidance & conversation warm-up exercises・The importance of speaking English & creating a collaborative environment.	1
第2回	Stage 1-2 of textbook. Vocabulary test. Learning conversation skills - general interaction.	Vocabulary test & listening activity based on the topic・Collaborative dictogloss & group discussion activities.	1
第3回	Stage 1-3 of textbook. Vocabulary test. Transcription activity.	Vocabulary test & listening activity based on the topic・Collaborative dictogloss & group discussion activities. Transcription & discussion of group dynamics.	1
第4回	Stage 1-4 of textbook. Vocabulary test. Learning conversation skills - keeping the conversation going.	Vocabulary test & listening activity based on the topic・Collaborative dictogloss & group discussion activities. Practice of taught conversation skills.	1
第5回	Stage 1-5 of textbook. Vocabulary test. Transcription activity.	Vocabulary test & listening activity based on the topic・Collaborative dictogloss & group discussion activities. Transcription & discussion of group dynamics.	1
第6回	Stage 2-1 of textbook. Vocabulary test. Learning conversation skills - asking questions.	Vocabulary test & listening activity based on the topic・Collaborative dictogloss & group discussion activities. Practice of taught conversation skills.	1
第7回	Stage 2-2 of textbook. Vocabulary test. Transcription activity.	Vocabulary test & listening activity based on the topic・Collaborative dictogloss & group discussion activities. Transcription & discussion of group dynamics.	1
第8回	Stage 2-3 of textbook. Vocabulary test. Learning conversation skills - giving feedback.	Vocabulary test & listening activity based on the topic・Collaborative dictogloss & group discussion activities. Practice of taught conversation skills.	1
第9回	Stage 2-4 of textbook. Transcription activity.	Vocabulary test & listening activity based on the topic・Collaborative dictogloss & group discussion activities. Transcription & discussion of group dynamics.	1
第10回	Stage 2-5 of textbook. Vocabulary test. Learning conversation skills - changing the topic.	Vocabulary test & listening activity based on the topic・Collaborative dictogloss & group discussion activities. Practice of taught conversation skills.	1
第11回	Stage 3-1 of textbook. Vocabulary test. Transcription activity.	Vocabulary test & listening activity based on the topic・Collaborative dictogloss & group discussion activities. Transcription & discussion of group dynamics.	1
第12回	Stage 3-2 of textbook. Vocabulary test. Learning conversation skills - gestures & other non-verbal communication.	Vocabulary test & listening activity based on the topic・Collaborative dictogloss & group discussion activities. Practice of taught conversation skills.	1
第13回	Stage 3-3 of textbook. Vocabulary test. Speaking test	Vocabulary test & listening activity based on the topic・Collaborative dictogloss & group discussion activities. Transcription & discussion of group dynamics.	1
第14回	End of semester test	End of semester test	1
第15回	End of semester review & re-test	End of semester review & re-test	1
<b>教科書・参考書等</b>			
開拓社 無敵リスニング〈中級〉 リース、エイドリアン、クック サイモン			
<b>成績評価方法・基準</b>			
Students will be evaluated through both continual assessment and an end of semester test.			

<b>30</b>	<b>英会話 B</b> AGE-LE-241	選択 1単位 1年後期	
English Conversation B			
全学科1年全組 准教授 サイモン・クック			
<b>授業形態</b>	単独（1人が全回担当）		
<b>授業の達成目標</b>	The objective of this course is to provide students with a variety of opportunities to express themselves in English. Focus will be placed upon speaking & listening.		
<b>授業の概要</b>	In addition to the course textbook, the course is supplemented by a variety of interactive activities such as vocabulary & transcription exercises. These activities will help students to gain confidence in using the four skills of speaking, listening, reading & writing in English more spontaneously & creatively. Students will also learn presenting skills, vital for learning to express themselves & their ideas to a wider audience in English.		
<b>授業計画（各回の学習内容等）</b>			
回数	学習内容	授業方法及び学習課題（予習・復習）	時間(時)
第1回	Course introduction & orientation. Stage 4-1 of textbook.	Course guidance & conversation warm-up exercises・The importance of speaking English & creating a collaborative environment.	1
第2回	Stage 4-2 of textbook. Vocabulary test. Presentation skills #1	Vocabulary test & listening activity based on the topic・Collaborative dictogloss & group discussion activities. Begin thinking about presentation topics.	1
第3回	Stage 4-3 of textbook. Vocabulary test. Transcription activity.	Vocabulary test & listening activity based on the topic・Collaborative dictogloss & group discussion activities. Transcription & discussion of group dynamics.	1
第4回	Stage 4-4 of textbook. Vocabulary test. TED talks #1.	Vocabulary test & listening activity based on the topic・Collaborative dictogloss & group discussion activities. Reflection & discussion of viewed presentation.	1
第5回	Stage 4-5 of textbook. Vocabulary test. Transcription activity. Presentation skills #2.	Vocabulary test & listening activity based on the topic・Collaborative dictogloss & group discussion activities. Transcription & discussion of group dynamics. Presentation practice.	1
第6回	Stage 5-1 of textbook. Vocabulary test. TED talks #2.	Vocabulary test & listening activity based on the topic・Collaborative dictogloss & group discussion activities. Reflection & discussion of viewed presentation.	1
第7回	Stage 5-2 of textbook. Vocabulary test. Transcription activity.	Vocabulary test & listening activity based on the topic・Collaborative dictogloss & group discussion activities. Transcription & discussion of group dynamics.	1
第8回	Stage 5-3 of textbook. Vocabulary test. TED talks #3.	Vocabulary test & listening activity based on the topic・Collaborative dictogloss & group discussion activities. Reflection & discussion of viewed presentation.	1
第9回	Stage 5-4 of textbook. Transcription activity. Presentation skills #3.	Vocabulary test & listening activity based on the topic・Collaborative dictogloss & group discussion activities. Transcription & discussion of group dynamics. Presentation practice.	1
第10回	Stage 5-5 of textbook. Vocabulary test. TED talks #4.	Vocabulary test & listening activity based on the topic・Collaborative dictogloss & group discussion activities. Reflection & discussion of viewed presentation.	1
第11回	Stage 6-1 of textbook. Vocabulary test. Transcription activity. Presentation skills #4.	Vocabulary test & listening activity based on the topic・Collaborative dictogloss & group discussion activities. Transcription & discussion of group dynamics. Presentation practice.	1
第12回	Stage 6-2 of textbook. Vocabulary test. TED talks #5.	Vocabulary test & listening activity based on the topic・Collaborative dictogloss & group discussion activities. Reflection & discussion of viewed presentation.	1
第13回	Stage 3-3 of textbook. Vocabulary test. Speaking test. Final Presentations.	Vocabulary test & listening activity based on the topic・Collaborative dictogloss & group discussion activities. Transcription & discussion of group dynamics.	1
第14回	End of semester test.	End of semester test.	1
第15回	End of semester review & re-test.	End of semester review & re-test.	1
<b>教科書・参考書等</b>			
前期と同じ。			
<b>成績評価方法・基準</b>			
Students will be evaluated through both continual assessment and an end of semester test.			

31	<b>資格英語A</b> AGE-LE-150	選択 1単位 2年前期	
	Cultural history of Tohoku		
全学科2年全組 准教授 鈴木 淳			
<b>授業形態</b>	単独（1人が全回担当）		
<b>授業の達成目標</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>品詞、文の種類、文型、時制、主語と動詞の一致などの英文法の基礎的事項が理解できる。</li> <li>英語の音韻体系の基礎的事項が理解できる。</li> <li>TOEIC テストへの基礎的対応力を有する。</li> </ol>		
<b>授業の概要</b>	<p>TOEIC 対策用のテキストや参考書などを用いて、TOEIC テストへの基本的な知識と対応能力を身につける。取り上げる文法項目は品詞、文型、時制、準動詞、主語と動詞の一致などの基礎的事項や重要イディオムなどであり、400 点を目標とした授業を行う。</p>		
<b>授業計画（各回の学習内容等）</b>			
	学習内容	授業方法及び学習課題（予習・復習）	時間(時)
第1回	ガイダンス（授業内容、計画、教材、学習方法、成績評価法など）	TOEIC の出題形式と特徴について問題集やインターネットなどを用いて調べておく。品詞のユニットについて、未知の英単語を辞書を使って予習し、英文を音読し、発音、アクセントを確認する。	1
第2回	TOEIC 対策演習（品詞）解説	品詞に関してテキストや講義ノート等を用いて不確実な部分を復習する。演習問題について、未知の英単語を辞書を使って予習し、英文を音読し、発音、アクセントを確認する。	1
第3回	TOEIC 対策演習（品詞）演習	品詞に関してテキストや講義ノート等を用いて不確実な部分を復習する。時制のユニットについて、未知の英単語を辞書を使って予習し、英文を音読し、発音、アクセントを確認する。	1
第4回	TOEIC 対策演習（時制）解説	時制に関してテキストや講義ノート等を用いて不確実な部分を復習する。演習問題について、未知の英単語を辞書を使って予習し、英文を音読し、発音、アクセントを確認する。	1
第5回	TOEIC 対策演習（時制）演習	時制に関してテキストや講義ノート等を用いて不確実な部分を復習する。動詞の形のユニットについて、未知の英単語を辞書を使って予習し、英文を音読し、発音、アクセントを確認する。	1
第6回	TOEIC 対策演習（動詞の形）解説	動詞の形に関してテキストや講義ノート等を用いて不確実な部分を復習する。演習問題について、未知の英単語を辞書を使って予習し、英文を音読し、発音、アクセントを確認する。	1
第7回	TOEIC 対策演習（動詞の形）演習	動詞の形に関してテキストや講義ノート等を用いて不確実な部分を復習する。主語と動詞の一致のユニットについて、未知の英単語を辞書を使って予習し、英文を音読し、発音、アクセントを確認する。	1
第8回	TOEIC 対策演習（主語と動詞の一致）解説	主語と動詞の一致に関してテキストや講義ノート等を用いて不確実な部分を復習する。演習問題について、未知の英単語を辞書を使って予習し、英文を音読し、発音、アクセントを確認する。	1
第9回	TOEIC 対策演習（主語と動詞の一致）演習	主語と動詞の一致に関してテキストや講義ノート等を用いて不確実な部分を復習する。文型のユニットについて、未知の英単語を辞書を使って予習し、英文を音読し、発音、アクセントを確認する。	1
第10回	TOEIC 対策演習（文型）解説	文型に関してテキストや講義ノート等を用いて不確実な部分を復習する。演習問題について、未知の英単語を辞書を使って予習し、英文を音読し、発音、アクセントを確認する。	1
第11回	TOEIC 対策演習（文型）演習	文型に関してテキストや講義ノート等を用いて不確実な部分を復習する。前置詞のユニットについて、未知の英単語を辞書を使って予習し、英文を音読し、発音、アクセントを確認する。	1
第12回	TOEIC 対策演習（前置詞）解説	前置詞に関してテキストや講義ノート等を用いて不確実な部分を復習する。演習問題について、未知の英単語を辞書を使って予習し、英文を音読し、発音、アクセントを確認する。	1
第13回	TOEIC 対策演習（前置詞）演習	前期の学習内容に関してテキストや講義ノート等を用いて不確実な部分を復習する。	1
第14回	まとめと試験	これまでの学習を復習し試験に備える。解答例により試験を復習する。	1
第15回	前期学習内容の確認	試験でできなかった問題を再度解き理解を深める。	1
<b>教科書・参考書等</b>			
教科書、参考書については授業開始時、もしくは適宜必要に応じて指示する。			
<b>成績評価方法・基準</b>			
成績は定期試験によって評価する。ただし、受講者は、授業期間内に行われる「TOEIC IP テスト」を必ず受験すること。未受験の場合には、単位は認められない。			



32	<b>資格英語 B</b> AGE-LE-251	選択 1単位 2年後期	
	English for Specific Purposes B		
全学科2年全組 准教授 鈴木 淳			
<b>授業形態</b>	単独（1人が全回担当）		
<b>授業の達成目標</b>	1. 受動態、準動詞、関係詞、仮定法などより複雑な構造の英文が理解できる。 2. TOEIC リーディング・セクションの長文問題への対応力を有する。		
<b>授業の概要</b>	TOEIC 対策用のテキストや参考書などを用いた演習を通して、より複雑な構造の英文を理解する。取り扱う文法事項は、受動態や不定詞、動名詞、分詞、関係詞、仮定法などである。また、重要イディオムや語彙問題の演習を通して、よりスコアに結び付く実践的な力をつける。450～500点を目標とした授業内容である。		
<b>授業計画（各回の学習内容等）</b>			
	<b>学習内容</b>	<b>授業方法及び学習課題（予習・復習）</b>	<b>時間(時)</b>
第1回	ガイダンス（授業内容、計画、教材、学習方法、成績評価法など）	TOEICの出題形式と特徴について問題集やインターネットなどを用いて調べておく。受動態のユニットについて、未知の英単語を辞書を使って予習し、英文を音読し、発音、アクセントを確認する。	1
第2回	TOEIC 対策演習（受動態）演習・解説	受動態に関してテキストや講義ノート等を用いて不確実な部分を復習する。不定詞のユニットについて、未知の英単語を辞書を使って予習し、英文を音読し、発音、アクセントを確認する。	1
第3回	TOEIC 対策演習（不定詞）解説	不定詞に関してテキストや講義ノート等を用いて不確実な部分を復習する。演習問題について、未知の英単語を辞書を使って予習し、英文を音読し、発音、アクセントを確認する。	1
第4回	TOEIC 対策演習（不定詞）演習	不定詞に関してテキストや講義ノート等を用いて不確実な部分を復習する。動名詞のユニットについて、未知の英単語を辞書を使って予習し、英文を音読し、発音、アクセントを確認する。	1
第5回	TOEIC 対策演習（動名詞）解説	動名詞に関してテキストや講義ノート等を用いて不確実な部分を復習する。演習問題について、未知の英単語を辞書を使って予習し、英文を音読し、発音、アクセントを確認する。	1
第6回	TOEIC 対策演習（動名詞）演習	動名詞に関してテキストや講義ノート等を用いて不確実な部分を復習する。分詞のユニットについて、未知の英単語を辞書を使って予習し、英文を音読し、発音、アクセントを確認する。	1
第7回	TOEIC 対策演習（分詞）解説	分詞に関してテキストや講義ノート等を用いて不確実な部分を復習する。演習問題について、未知の英単語を辞書を使って予習し、英文を音読し、発音、アクセントを確認する。	1
第8回	TOEIC 対策演習（分詞）演習	分詞に関してテキストや講義ノート等を用いて不確実な部分を復習する。関係詞のユニットについて、未知の英単語を辞書を使って予習し、英文を音読し、発音、アクセントを確認する。	1
第9回	TOEIC 対策演習（関係詞）解説	関係詞に関してテキストや講義ノート等を用いて不確実な部分を復習する。演習問題について、未知の英単語を辞書を使って予習し、英文を音読し、発音、アクセントを確認する。	1
第10回	TOEIC 対策演習（関係詞）演習	関係詞に関してテキストや講義ノート等を用いて不確実な部分を復習する。比較のユニットについて、未知の英単語を辞書を使って予習し、英文を音読し、発音、アクセントを確認する。	1
第11回	TOEIC 対策演習（比較）解説	比較に関してテキストや講義ノート等を用いて不確実な部分を復習する。演習問題について、未知の英単語を辞書を使って予習し、英文を音読し、発音、アクセントを確認する。	1
第12回	TOEIC 対策演習（比較）演習	比較に関してテキストや講義ノート等を用いて不確実な部分を復習する。仮定法のユニットについて、未知の英単語を辞書を使って予習し、英文を音読し、発音、アクセントを確認する。	1
第13回	TOEIC 対策演習（仮定法）演習・解説	後期の学習内容に関してテキストや講義ノート等を用いて不確実な部分を復習する。	1
第14回	まとめと試験	これまでの学習を復習し試験に備える。解答例により試験を復習する。	1
第15回	後期学習内容の確認	試験でできなかった問題を再度解き理解を深める。	1
<b>教科書・参考書等</b>			
前期と同じ。			
<b>成績評価方法・基準</b>			
成績は定期試験によって評価する。ただし、受講者は、授業期間内に行われる「TOEIC IP テスト」を必ず受験すること。未受験の場合には、単位は認められない。			

33	<b>フランス語A</b> AGE-LE-160	選択 1単位 1年前期	
	French A		
全学科1年全組 非常勤講師 牧 彩花			
<b>授業形態</b>	単独（1人が全回担当）		
<b>授業の達成目標</b>	フランス語の初頭文法と会話表現の習得により、読解力・コミュニケーション力の基礎を養うことを目指します。		
<b>授業の概要</b>	教科書にしたがって、文法項目と会話表現をゲームや様々な活動を通して身につけていきます。また、映像ソフトや音楽なども併用し、受講者のフランス語とフランス文化についての理解を高めていきます。		
<b>授業計画（各回の学習内容等）</b>			
	学習内容	授業方法及び学習課題（予習・復習）	時間(時)
第1回	オリエンテーション	音源 track2-7 までを聞いて、フランス語のアルファベとその発音を予習する。フランス語圏についての基礎知識を復習する。	1
第2回	フランス語の文字と発音	音源 track8-16 を聞いて、フランス語の文字の読み方を予習しておく。文字と発音の関係が理解できるように復習する。	1
第3回	名詞の性と数、不定冠詞	p.13 の Vocabulaire を埋めて予習しておく。名詞の性と数について理解し、適切な不定冠詞を選ぶことができるように復習する。	1
第4回	定冠詞、部分冠詞	不定冠詞、定冠詞、部分冠詞の意味や形、用法の違いを予習しておく。名詞の性と数、場面に応じて必要な冠詞を用いることができるように復習する。	1
第5回	主語になる代名詞、動詞 _tre と avoir の直接法現在	p.17 の Vocabulaire を埋めておく。音源 track25 を聞いて主語代名詞を予習しておく。主語代名詞を覚え、それに応じた動詞 (_tre と avoir) の活用を復習する。	1
第6回	動詞 _tre と avoir の用法、提示の表現	音源 track28 を聞いて提示の表現について予習する。動詞 _tre と avoir、提示の表現を用いた文が分かる・話せるように復習する。	1
第7回	否定形、形容詞の一致	p.21 の Vocabulaire を埋めておく。音源 track31、32 を聞いて否定形の形と形容詞の性・数変化を予習しておく。これまでに学習した表現の否定形が言えるように、また形容詞を適切な形に変化させられるように復習する。	1
第8回	形容詞、C'est ～と形容詞の表現	名詞の後ろに置く形容詞と前に置く形容詞について予習しておく。形容詞を用いた文を分かる・話せるように復習する。	1
第9回	文字と発音、第 1-3 課のまとめ	フランス語のスペルが読めるかどうか、第 1-3 課までの Exercices が解けるかどうか確認し、予習しておく。これまでに学習した名詞、動詞、形容詞を用いた基本的な表現が分かる・話せるように復習する。	1
第10回	#NAME?	p.25 の Vocabulaire を埋めておく。音源 track37 を聞いて - er 動詞 chanter、aimer の直接法現在の活用を予習する。- er 動詞の活用の規則性を理解し、- er 動詞を用いた文が分かる・話せるように復習する。	1
第11回	疑問形、疑問文に対する答え	音源 track38、39 を聞いて、3 通りの疑問文と疑問文に対する答えを予習する。疑問文で質問したり、疑問文に対して応答したりできるように復習する。	1
第12回	指示形容詞、疑問形容詞	p.29 の Vocabulaire を埋めておく。音源 track44、45 を聞いて指示形容詞・疑問形容詞の性・数変化を予習しておく。指示形容詞・疑問形容詞を必要に応じて変化させ、用いることができるように復習する。	1
第13回	所有形容詞	音源 track46 を聞いて所有形容詞の人称・性・数による変化を予習しておく。所有形容詞を必要に応じて選択・変化させ、用いることができるように復習する。	1
第14回	第 4-5 課目のまとめ	第 4-5 課の Exercices が解けるかどうか予習しておく。次回が期末試験となるので、前期学習内容全体の最終チェックを行い復習しておく。	1
第15回	まとめとテスト	予習として、これまで前期に学習した範囲を振り返り、確認しておく。試験内容を参考に前期の学習範囲を復習する。	1
<b>教科書・参考書等</b>			
井上美穂、Florence Yoko SUDRE 『書く・読む・聞く・話す フランス語1』初版（第三書房） 辞書については強制するものではないが、オリエンテーションで1冊目として購入するに相応しい仏和辞典について指示を行う。			
<b>成績評価方法・基準</b>			
期末試験 60%、課題提出 40%。課題については、授業時に、全体に対しフィードバックを行う。			

<b>34</b>	<b>ドイツ語A</b> AGE-LE-170	選択 1単位 1年前期	
German A			
全学科1年全組 非常勤講師 佐藤 駿			
<b>授業形態</b>	単独（1人が全回担当）		
<b>授業の達成目標</b>	ドイツ語の基礎の習得。ドイツ語の発音と語形変化に慣れることを目標とする。		
<b>授業の概要</b>	ドイツ語の理解に最も重要な動詞の現在人称変化と冠詞類、人称代名詞の格変化を中心に発音、訳読、作文の演習を行なう。		
<b>授業計画（各回の学習内容等）</b>			
回数	学習内容	授業方法及び学習課題（予習・復習）	時間(時)
第1回	ガイダンス	予習として授業要綱をよく読んで準備しておく。ガイダンス内容を確認し復習する。	1
第2回	アルファベットと母音の発音	英語との相違に注意して予習する。正確に発音できるように復習する。	1
第3回	子音の発音と数詞	英語との違いに注意して予習する。正しく発音できるまで繰り返し復習する。	1
第4回	動詞の基本的な現在人称変化	動詞の語尾変化に注意して予習する。完全に覚えるまで繰り返し復習する。	1
第5回	平叙文と疑問文	動詞の位置に注意して予習する。すらすら言えるようになるまで復習する。	1
第6回	sein と haben の現在人称変化（不規則変化）	動詞の変化に注意して予習する。不規則変化を完全に覚えるように復習する。	1
第7回	名詞の文法上の性と定冠詞の格変化	英語と大きく異なる点に注意して予習する。定冠詞の格変化を何度も書き、発音して、覚えるまで復習する。	1
第8回	不定冠詞の格変化	不定冠詞の語尾変化に注意して予習する。不定冠詞の格変化をすらすら言えるように復習する。	1
第9回	所有冠詞（不定冠詞類）	語尾に注意して予習する。所有冠詞の意味、語尾変化を繰り返し書いて復習する。	1
第10回	定冠詞類	定冠詞との語尾の相違に注意して予習する。定冠詞類の意味、語尾変化を何度も発音しながら復習する。	1
第11回	主な不規則変化動詞	主に幹母音が変化する点に注意して予習する。不規則変化を正しく覚えるように復習する。	1
第12回	名詞の複数形	主に5パターンあることに注意して予習する。辞書の表記に慣れるように復習する。	1
第13回	前置詞	格支配に注意して予習する。前置詞を使った表現を作って復習する。	1
第14回	人称代名詞の格変化	発音に注意して予習する。動詞や前置詞と組み合わせた表現を作って復習する。	1
第15回	まとめ	予習としてこれまでの学習で理解不十分な箇所を確認する。理解不十分な箇所を重点的に復習する。	1
<b>教科書・参考書等</b>			
新倉真矢子（他）「ゲナウ！ グラマティック ノイ」第三書房、2018年（2,200円＋税） ※独和辞典としては「新アポロン独和辞典」（同学社）「エクセル独和辞典」（郁文堂）「新キャンパス独和辞典」（三修社）「初級者に優しい独和辞典」（朝日出版社）などを推薦する。			
<b>成績評価方法・基準</b>			
100点満点で60点以上を合格とする。			

<b>35</b>	<b>韓国語A</b> AGE-LE-180	選択 1単位 1年前期	
Korean A			
全学科1年全組 非常勤講師 呉 正培			
<b>授業形態</b>	単独（1人が全回担当）		
<b>授業の達成目標</b>	韓国語の読み書きができることをめざす。		
<b>授業の概要</b>	ハングル文字と発音を始め、ハングルの仕組みの理解のために基本文法、句型などを教えて簡単な読み書きができることをめざす。韓国語学習の入り口として韓国語に対する全体像を身につけてもらうことで、韓国語への興味を持たせることを目的とする。韓国の映画や歌などの視聴覚教材を使い、韓国の風俗、文化に関する知識を深める。		
<b>授業計画（各回の学習内容等）</b>			
	学習内容	授業方法及び学習課題（予習・復習）	時間(時)
第1回	イントロダクション	予習（朝鮮半島の言語は何かについて予め調べておく） 復習（講義内容を配付プリント、ノート等で確認する）	1
第2回	基本母音（単母音）と子音の原理	予習（合成母音 11 文字をおぼえる） 復習（基本母音 10 文字と子音 12 文字の復習）	1
第3回	子音の激音と濃音、合成母音（二重母音）	予習（子音・母音を組み合わせる読み練習） 復習（前回の基本単語をおぼえる）	1
第4回	1文字終声→連音化、流音化、有声音化	予習（2文字終声の読み練習） 復習（3文字終声を組み合わせる読み練習）	1
第5回	2文字終声→激音、濃音、鼻音化	予習（日本語の文章をハングル文字で起き直す練習） 復習（4文字終声を組み合わせる読み練習）	1
第6回	日本語のハングル文字表記	予習（自己の名前を韓国語で書く練習） 復習（4文字終声の単語をおぼえる）	1
第7回	「です」形の肯定型と疑問型	予習（自己紹介を韓国語で作る） 復習（「名詞+です」文を作る）	1
第8回	漢語数詞の練習	予習（1 - 12 まで韓国語で練習） 復習（自己紹介を韓国語で発表する練習）	1
第9回	固有語数詞の練習、時間の言い方	予習（曜日の言い方の予習） 復習（買い物、値段の言い方を練習）	1
第10回	名詞の否定形の練習	予習（基本語彙をおぼえる） 復習（固有語数詞の練習、時間の言い方）	1
第11回	指示代名詞と所有の表現	予習（「です」形のかしこまった表現の練習） 復習（固有語数詞の練習、時間の言い方）	1
第12回	「ます」形の肯定型と疑問型	予習（「ます」形のかしこまった表現の練習） 復習（「です」形のかしこまった表現の練習）	1
第13回	「ます」形の否定形	予習（「です」形の打ち解けた表現の練習） 復習（「です」形のかしこまった表現の練習）	1
第14回	総合表現の練習	予習（「ます」形の打ち解けた表現の練習） 復習（「です」形の打ち解けた表現の練習）	1
第15回	まとめと試験	予習（これまでの講義内容全てについて、配付プリント、ノート等で確認する。） 復習（講義内容、配付資料等の整理、確認をする。）	1
<b>教科書・参考書等</b>			
「パルン韓国語 初級」（朝日出版社）著者：鄭世桓ほか			
<b>成績評価方法・基準</b>			
筆記試験 50%、課題（復習・予習） 30%、授業態度 20%。 課題については、授業時に、全体に対しフィードバックを行う。			

36	<b>中国語A</b> AGE-LE-190	選択 1単位 1年前期	
	Chinese A		
全学科1年全組 非常勤講師 徐 麗			
<b>授業形態</b>	単独（1人が全回担当）		
<b>授業の達成目標</b>	初めて中国語を学習する学生を対象とする。中国語の発音・文法に慣れ、基礎的な知識を習得することを目標とする。		
<b>授業の概要</b>	中国語の簡体字や発音を始め、中国語の理解のために必要な文法等を学習し、基礎的な知識を習得することを目指す。		
<b>授業計画（各回の学習内容等）</b>			
	学習内容	授業方法及び学習課題（予習・復習）	時間(時)
第1回	ガイダンス	授業内容をよく読んで予習しておく。ガイダンス内容を確認、映像などにて印象付けをする。	1
第2回	単母音・声調	中国語の単母音・声調を予習する。四声・単母音を正確に発音し、分けられるように復習する。	1
第3回	単母音・声調・複母音	単母音と声調を復習する。複母音を予習復習する。	1
第4回	単母音・声調・複母音・子音	単母音・声調・複母音を復習する。子音を予習復習する。	1
第5回	単母音・声調・複母音・子音・鼻音	単母音・声調・複母音・子音を復習する。鼻音を予習復習する。	1
第6回	第三の声調	単母音・声調・複母音・子音・鼻音を復習する。第三の声調を予習復習する。	1
第7回	単母音・声調・複母音・子音・鼻音・第三の声調	短い言葉で単母音・声調・複母音・子音・鼻音・7第三の声調を予習復習する。	1
第8回	単母音・声調・複母音・子音・鼻音・第三の声調	短い言葉で単母音・声調・複母音・子音・鼻音・7第三の声調を予習復習する。	1
第9回	第一課 开学的第一天	挨拶会話・自己紹介を予習復習する。人証代名詞・動詞	1
第10回	第二課 中华民族园	少数民族の紹介から指示代名詞・形容詞・述語文・副詞・助詞を予習復習する。	1
第11回	第三課 傣族新年	お祭りを背景に数詞述語文・動詞述語文・語気助詞・疑問詞疑問文を予習復習する。	1
第12回	第四課 旅行	世界遺産での旅行を背景に反復疑問文・動詞“在・有”助動詞“想”を予習復習する。	1
第13回	第五課 新家	コラムで文化紹介及び家族ホモンを背景に動詞“歡迎”前置詞“在”省略疑問文“呢”・時刻を予習復習する。	1
第14回	第六課 兵马俑	博物館見学を背景に助動詞“可以”進行の表し方・連動文・動詞の重ね方を予習復習する。	1
第15回	まとめと試験	これまでの講義すべてについて、教科書・ノート等で確認する。講義内容、配付資料等で整理、確認を行い復習する。前期末試験をする。	1
<b>教科書・参考書等</b>			
教科書「入門 ビジュアル中国」衛裕群・王院京 著 朝日出版社			
<b>成績評価方法・基準</b>			
すべての練習問題の記入（平常10点）及び期末試験（90点）を総合して判断する。			

37	<b>フランス語 B</b> AGE-LE-261	選択	1単位	1年後期
	French B			
全学科1年全組 非常勤講師 牧 彩花				
<b>授業形態</b>		単独（1人が全回担当）		
<b>授業の達成目標</b>		フランス語の初頭文法をマスターし、さらに会話表現を磨きながら前期で養った読解力・表現力のスキルアップを目指します。		
<b>授業の概要</b>		授業の進め方は前期と変わりません。教科書に基づいて授業を進めていきます。また、受講者のフランス語とフランス文化についての理解をさらに深めるため、前期に引き続き映像・音楽教材を併用しながら文化理解の時間も適宜盛り込んでいきます。		
<b>授業計画（各回の学習内容等）</b>				
	学習内容	授業方法及び学習課題（予習・復習）		時間(時)
第1回	オリエンテーション	予習として、前期に学習した内容を音源を聞く、Exercicesを解いてみるなどして確認しておく。オリエンテーションを踏まえて、前期の内容の復習をする。		1
第2回	動詞 aller と venir の直接法現在、近い未来と近い過去	p.33の Vocabulaireを埋めておく。音源 track50、51を聞いて aller と venir の活用と近い未来・過去の表現を予習しておく。動詞 aller と venir の活用と近い未来・過去の表現を覚え、適切に用いることができるように復習する。		1
第3回	前置詞（、de）と定冠詞（le、les）の縮約	音源 track52を聞いて、_と de の縮約の形を予習しておく。 _と de が縮約する場合・しない場合で適切なかたちを用いることができるように復習する。		1
第4回	finir と partir の直接法現在、疑問代名詞 qui と que	p.37の Vocabulaireを埋めておく。音源 track55-56を聞いて、finir と partir の活用を予習しておく。finir 型と partir 型の活用を覚え適切に用いることができるように、また qui と que の区別ができるように復習する。		1
第5回	疑問代名詞、疑問副詞	音源 track57、58を聞いて疑問代名詞・疑問副詞を予習しておく。 尋ねるものの種類と文法的性質（主語か目的語か etc.）に応じて、疑問詞と構文を選択できるように復習しておく。		1
第6回	voir、dire、entendre の直接法現在、形容詞・副詞の比較級	p.41の Vocabulaireを埋めておく。音源 track60、61を聞いて、voir、dire、entendre の活用とフランス語の比較級について予習しておく。voir、dire、entendre の活用と、フランス語の比較級のかたちを覚えられるように復習する。		1
第7回	形容詞・副詞の最上級、特殊な比較級・最上級	音源 track62、63を聞いて、最上級と特殊な形について予習しておく。 フランス語の比較級・最上級の文が分かる・話せるように復習する。		1
第8回	第6-8課のまとめ	予習として、第6-8課までの Exercices が解けるかどうか確認しておく。 多くの動詞を区別して活用させ、疑問詞と疑問文の構文の使い分け、比較級・最上級の文の理解ができるかどうか復習しておく。		1
第9回	faire、prendre の直接法現在、命令法	p.45の Vocabulaireを埋めておく。音源 track65、66を聞いて、faire、prendre の活用と命令方について予習しておく。faire と prendre の活用を覚え、文の中で用いることができるように、また命令法の文が分かる・話せるように復習しておく。		1
第10回	非人称構文	音源 track67を聞いて、非人称構文について予習しておく。 様々な非人称構文の表現が分かる・話せるように復習する。		1
第11回	動詞と目的語、目的語になる人称代名詞	p.49の Vocabulaireを埋めておく。p.47「動詞と目的語」を読んでおく。 音源 track69を聞いて、目的語になる人称代名詞について予習しておく。直接目的語と間接目的語を区別でき、適切な目的語人称代名詞が選択できるように復習しておく。		1
第12回	強勢形	音源 track69を聞いて、強勢形について予習しておく。 目的語になる人称代名詞を用いる文が分かる・話せるように、また強勢形の用法を覚えられるように復習する。		1
第13回	動詞のまとめ、過去分詞	p.53の Vocabulaireを埋めておく。音源 track72を聞いて、過去分詞について予習しておく。 様々な動詞についての理解を深め、過去分詞に変化させられるように復習する。		1
第14回	直接法複合過去	音源 track73を聞いて、直接法複合過去のかたちについて予習する。 基本的な複合過去の用法を用いた文が分かる・話せるように復習する。		1
第15回	まとめとテスト	予習として、これまでどれくらいのフランス語力が身についたか確認しておく。 試験の内容に基づき、後期の学習範囲を復習する。		1
<b>教科書・参考書等</b>				
井上美穂、Florence Yoko SUDRE『書く・読む・聞く・話す フランス語1』初版（第三書房） 辞書については購入を強制するものではない。				
<b>成績評価方法・基準</b>				
期末試験 60%、課題提出 40%。課題については、授業時に、全体に対しフィードバックを行う。				

<b>38</b>	<b>ドイツ語B</b> AGE-LE-271	選択 1単位 1年後期	
German B			
全学科1年全組 非常勤講師 嶋崎 順子			
<b>授業形態</b>	単独（1人が全回担当）		
<b>授業の達成目標</b>	前期に習得したことを基礎にして、さらなる読解力、作文力の向上を目指す。		
<b>授業の概要</b>	ドイツ語Aで習得したことを基にして、発音、訳読、作文の演習を継続する。		
<b>授業計画（各回の学習内容等）</b>			
	<b>学習内容</b>	<b>授業方法及び学習課題（予習・復習）</b>	<b>時間(時)</b>
第1回	ガイダンス	予習としてドイツ語Aの学習範囲で理解不十分な箇所を確認する。ドイツ語Aの学習内容を復習する。	1
第2回	分離動詞	英語にはないタイプの動詞であることに注意して予習する。分離動詞を使って正確に表現できるように復習する。	1
第3回	話法の助動詞	英語の can や will 等との相違に注意して予習する。不規則変化や枠構造を理解するまで繰り返し書いて復習する。	1
第4回	命令形	英語とは違い3パターンあることに注意して予習する。命令文を作って復習する。	1
第5回	並列接続詞	語順に注意して予習する。主な並列接続詞を暗記するように復習する。	1
第6回	動詞の三基本形	過去基本形と過去分詞の語形に注意して予習する。規則変化、分離動詞の三基本形を正確に覚えるように復習する。	1
第7回	過去形	過去人称変化に注意して予習する。過去時称の文を作って復習する。	1
第8回	現在完了形	枠構造に注意して予習する。現在完了時称の文をすらすら言えるように復習する。	1
第9回	副文（従属接続詞）	動詞の位置に注意して予習する。従属接続詞を使った文を作って復習する。	1
第10回	比較級、最上級	形容詞の語形に注意して予習する。特に最上級を使った表現を何度も書いて復習する。	1
第11回	再帰代名詞と再帰動詞	人称変化に注意して予習する。再帰動詞を用いた文を作って復習する。	1
第12回	形容詞の格変化	英語にはない文法事項であることに注意して予習する。冠詞+形容詞+名詞の表現を作り、何度も発音して復習する。	1
第13回	非人称表現	英語との相違に注意して予習する。教科書の例文を暗記し、非人称表現に慣れるように復習する。	1
第14回	zu 不定句	英語と大きく異なる点に注意して予習する。zu 不定句の語順を確かめながら教科書の練習問題を解いて復習する。	1
第15回	まとめ	予習としてこれまでの学習で理解不十分な箇所を確認する。理解不十分な箇所を重点的に復習する。	1
<b>教科書・参考書等</b>			
ドイツ語Aのものを継続して用いる。 新倉真矢子（他）「ゲナウ！ グラマティック ノイ」第三書房、2018年（2,200円+税）			
<b>成績評価方法・基準</b>			
100点満点で60点以上を合格とする。			

39	<b>韓国語 B</b> AGE-LE-281	選択 1 単位 1 年後期	
	Korean B		
全学科 1 年全組 非常勤講師 呉 正培			
<b>授 業 形 態</b>	単独 (1 人が全回担当)		
<b>授業の達成目標</b>	韓国の全般的な知識を深めて、日常生活に必要な表現など、簡単な生活会話を学ぶ。		
<b>授 業 の 概 要</b>	韓国文化の紹介など、韓国の総合的な資料を使用し、読解力と表現力を高める。		
<b>授業計画 (各回の学習内容等)</b>			
	学習内容	授業方法及び学習課題 (予習・復習)	時間(時)
第1回	用言活用に関して (存在詞・指定詞の現在形)	予習 (基本必修単語の暗記) 復習 (韓国語 A の内容の復習)	1
第2回	用言活用に関して (動詞の現在形)	予習 (用言の丁寧な言い方の練習) 復習 (「-します」のかしこまった形の練習)	1
第3回	用言活用に関して (形容詞の現在形)	予習 (「-します」の打ち解けた形の練習) 復習 (「-します」のかしこまった形の練習)	1
第4回	名詞文の過去表現	予習 (過去形を使って日記を書く) 復習 (「-します」の打ち解けた形の練習)	1
第5回	否定名詞文の過去表現	予習 (基本必修単語の暗記) 復習 (「-します」の打ち解けた形の練習)	1
第6回	韓国映画鑑賞	予習 (韓国映画について基本的な情報について調べる) 復習 (鑑賞内容をノート等にまとめる)	1
第7回	韓国映画鑑賞討論	予習 (鑑賞内容をまとめ、何を発言するか考える) 復習 (討論内容をノート等にまとめる)	1
第8回	不規則用言	予習 (本必修単語の暗記) 復習 (用言の「です・ます」形の総合練習)	1
第9回	用言の過去表現 (存在詞・指定詞の過去形)	予習 (基本必修単語の暗記) 復習 (助詞のまとめ)	1
第10回	用言の過去表現 (動詞の過去形)	予習 (基本必修単語の暗記) 復習 (用言の過去表現の練習)	1
第11回	用言の過去表現 (形容詞の過去形)	予習 (基本必修単語の暗記) 復習 (用言の過去表現の練習)	1
第12回	能力の有無を表す表現	予習 (基本必修単語の暗記) 復習 (用言の過去表現の練習)	1
第13回	移動の目的と勧誘・提案などを表す表現	予習 (基本必修単語の暗記) 復習 (不規則用言の復習)	1
第14回	意志・計画・予定などを表す表現	予習 (基本必修単語の暗記) 復習 (不規則用言の復習)	1
第15回	まとめと試験	予習 (これまでの講義内容全てについて、配付プリント、ノート等で確認する。) 復習 (講義内容、配付資料等の整理、確認を行う。)	1
<b>教科書・参考書等</b>			
「パルン韓国語 初級」(朝日出版社) 著者：鄭世桓ほか			
<b>成績評価方法・基準</b>			
筆記試験 50%、課題 (復習・予習) 30%、授業態度 20%。 課題については、授業時に、全体に対しフィードバックを行う。			



40	<b>中国語 B</b> AGE-LE-291	選択 1 単位 1 年後期	
	Chinese B		
全学科 1 年全組 非常勤講師 徐 麗			
<b>授 業 形 態</b>	単独 (1 人が全回担当)		
<b>授業の達成目標</b>	前期に習得したことを基礎として、中国語の発音・文法の向上を目指す。		
<b>授 業 の 概 要</b>	中国語 A と同じテキストを使用し、その続きを学んでいく。単語や文法についての学習を進め、中国語及び中国について理解を深める。		
<b>授業計画 (各回の学習内容等)</b>			
	学習内容	授業方法及び学習課題 (予習・復習)	時間(時)
第 1 回	第七課 西安	西安の町を訪ねる事を背景に主述述語文・量詞・助詞“了”・時間の量とその位置を予習復習する	1
第 2 回	第八課 上海世界博覧会	第 7 課の復習及び第 8 課の方向動詞と方向補語・前置詞“人”“” 比較表現“比”と“没有”を予習復習する。	1
第 3 回	コラム	若者のマイホーム事情・兵馬俑・西安・上海などの映像にて文化紹介・聴力練習する。	1
第 4 回	第九課 国名	第 8 課の復習及び第 9 課の結果述語・選択疑問文述是“・前置詞“腐”・副詞“狂”の予習復習する。	1
第 5 回	第十課 苏州园林	第 9 課の復習及び第 10 課の動詞“喜次”経験を表す“”数量補語・動詞“了”を予習復習する。	1
第 6 回	第十一課 天壇	第 10 課の復習及び第 11 課の様態補語・方位詞・前置詞“用”・二重目的語・を予習復習する。	1
第 7 回	第十二課 少林寺	第 11 課の復習及び第 12 課助動詞“会”前置詞“对”・助詞“了”・動詞“初”を予習復習する。	1
第 8 回	コラム	漢字ですべて表記する中国・蘇州の伝統庭園・世界遺産「天壇」・少林寺をテーマに映像にて文化紹介・聴力練習する。	1
第 9 回	第十三課 清明节	第 12 課の復習及び第 13 課の・・・就・・・助動詞“要”・前置詞“”副詞“別”を予習復習する。	1
第 10 回	第十四課 在茶馆喝茶	第 13 課の復習及び第 14 課の“把”・先・・・、然后(再)・「一点」・一边・・・一边を予習復習する。	1
第 11 回	第十五課 京剧	第 14 課の復習及び第 15 課の疑問詞“焦久”助詞“的”・・・一伴・使「役文を予習復習する	1
第 12 回	第十六課 798 艺术区	第 15 課の復習及び第 16 課の存現文・可能補語・助動詞“能”・受身文を予習復習する。	1
第 13 回	コラム	清明節・中国のお茶・京剧・798 芸術区などの映像紹介・聴力練習する。	1
第 14 回	総復習	すべての単語をピンイン入力にて復習する。映像などにて言葉の繰り返し練習する。	1
第 15 回	まとめと試験	後半の講義すべてについて、教科書・ノート等で確認する。講義内容、配付資料等で整理、確認を行い復習する。後期期末試験をする。	1
<b>教科書・参考書等</b>			
教科書「入門 ビジュアル中国」衛裕群・王院京 著 朝日出版社			
<b>成績評価方法・基準</b>			
すべての練習問題の記入(平常 10 点)及び期末試験(90 点)を総合して判断する。			

<b>41</b>	<b>健康・運動科学実習 I (ソフトテニス)</b>	AGE-MPH-110	選択	1単位	1年前期
Practice of Health, Exercise and Physical Sciences I (Soft Tennis)					
CD・MC 1年全組 非常勤講師 高橋 晃					
<b>授業形態</b>		単独 (1人が全回担当)			
<b>授業の達成目標</b>		ソフトテニスの基本技術から扱い、はじめて実践する場合もソフトテニスの種目特性を十分に理解し、実践できるように授業をすすめています。ソフトテニスの実技実習を通じて健康の維持増進のための手段として身体活動を捉え、身体リテラシーを向上させることを目的としています。ソフトテニスの理論や技術を習得していくと同時に、学生間のコミュニケーションの促進を図り、ソフトテニスをきっかけとしてスポーツに親しむ態度を育成します。			
<b>授業の概要</b>		ダブルスによるゲームを中心に進めて行く。そのなかで、経験の有無や、技術レベルに関わらず、コンビネーションの重要性を理解しながらゲームを楽しめるように進めて行く。			
<b>授業計画 (各回の学習内容等)</b>					
	学習内容	授業方法及び学習課題 (予習・復習)			時間(時)
第1回	ガイダンス (授業の進め方等) 健康科学講義: ライフスタイルと健康 (運動、栄養、休養)	予習 (選択する種目等についてシラバスで確認する) 復習 (履修登録や実施場所等の授業全体のルールについて確認する)			1
第2回	基礎練習 (主にラケット操作に慣れる)	予習 (ラケット操作技術のポイントについて調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)			1
第3回	基礎練習 (主にサービスエリア内でのボレー練習)	予習 (ボレー技術のポイントについて調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)			1
第4回	基礎練習 (主にサービスエリア内でのストローク練習)	予習 (サービスエリア内でのストローク技術のポイントについて調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)			1
第5回	応用練習 (ベースラインでのストローク)	予習 (ベースラインでのストローク技術のポイントについて調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)			1
第6回	応用練習 (ストローク&ボレー)	予習 (ストローク・ボレーでのラリー技術のポイントについて調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)			1
第7回	応用練習 (サーブ サーブ&ボレー)	予習 (サーブやサーブ&ボレーの技術のポイントについて調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)			1
第8回	実践練習 (試合形式での練習)	予習 (第3回~第7回の振り返りとルールの確認をしておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)			1
第9回	ダブルスの試合 (試合の進め方の理解)	予習 (ダブルスの試合におけるゲームの進行について調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)			1
第10回	ダブルスの試合 (審判のやり方の理解)	予習 (ダブルスの試合における審判技術のポイントについて調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)			1
第11回	ダブルスの試合 (戦術の立て方の理解)	予習 (ダブルスの試合における戦術について調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)			1
第12回	ダブルスの試合 (自主的な試合の運営)	予習 (ダブルスの試合におけるゲームの進行について確認しておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)			1
第13回	体力測定 (屋内種目)	予習 (体力測定項目について確認しておく) 復習 (自身の測定値と全国平均の比較をして課題を整理する)			1
第14回	体力測定 (屋外種目)	予習 (体力測定項目について確認しておく) 復習 (自身の測定値と全国平均の比較をして課題を整理する)			1
第15回	まとめとレポートの書き方健康科学講義: ライフステージにおける健康課題 (青年期以降の対策)	予習 (授業の振り返りのための技術のポイントについて確認しておく) 復習 (授業全体を通して課題達成に対する総合的な自己評価と振り返りを行う)			1
<b>教科書・参考書等</b>					
適時授業時に資料を配付する。					
<b>成績評価方法・基準</b>					
毎回の授業中の課題達成度や役割の遂行状況、ダブルスの成績および課題レポート等で総合評価する。					

<b>41</b>	<b>健康・運動科学実習 I (ソフトテニス)</b>	AGE-MPH-110	選択	1単位	1年前期
Practice of Health, Exercise and Physical Sciences I (Soft Tennis)					
SD 1年全組 非常勤講師 池田 晃一					
<b>授業形態</b>		単独 (1人が全回担当)			
<b>授業の達成目標</b>		ソフトテニスの基本技術から扱い、はじめて実践する場合もソフトテニスの種目特性を十分に理解し、実践できるように授業をすすめています。ソフトテニスの実技実習を通じて健康の維持増進のための手段として身体活動を捉え、身体リテラシーを向上させることを目的としています。ソフトテニスの理論や技術を習得していくと同時に、学生間のコミュニケーションの促進を図り、ソフトテニスをきっかけとしてスポーツに親しむ態度を育成します。			
<b>授業の概要</b>		ダブルスによるゲームを中心に進めて行く。そのなかで、経験の有無や、技術レベルに関わらず、コンビネーションの重要性を理解しながらゲームを楽しめるように進めて行く。			
<b>授業計画 (各回の学習内容等)</b>					
	学習内容	授業方法及び学習課題 (予習・復習)			時間(時)
第1回	ガイダンス (授業の進め方等) 健康科学講義: ライフスタイルと健康 (運動、栄養、休養)	予習 (選択する種目等についてシラバスで確認する) 復習 (履修登録や実施場所等の授業全体のルールについて確認する)			1
第2回	基礎練習 (主にラケット操作に慣れる)	予習 (ラケット操作技術のポイントについて調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)			1
第3回	基礎練習 (主にサービスエリア内でのボレー練習)	予習 (ボレー技術のポイントについて調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)			1
第4回	基礎練習 (主にサービスエリア内でのストローク練習)	予習 (サービスエリア内でのストローク技術のポイントについて調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)			1
第5回	応用練習 (ベースラインでのストローク)	予習 (ベースラインでのストローク技術のポイントについて調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)			1
第6回	応用練習 (ストローク&ボレー)	予習 (ストローク・ボレーでのラリー技術のポイントについて調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)			1
第7回	応用練習 (サーブ サーブ&ボレー)	予習 (サーブやサーブ&ボレーの技術のポイントについて調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)			1
第8回	実践練習 (試合形式での練習)	予習 (第3回~第7回の振り返りとルールの確認をしておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)			1
第9回	ダブルスの試合 (試合の進め方の理解)	予習 (ダブルスの試合におけるゲームの進行について調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)			1
第10回	ダブルスの試合 (審判のやり方の理解)	予習 (ダブルスの試合における審判技術のポイントについて調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)			1
第11回	ダブルスの試合 (戦術の立て方の理解)	予習 (ダブルスの試合における戦術について調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)			1
第12回	ダブルスの試合 (自主的な試合の運営)	予習 (ダブルスの試合におけるゲームの進行について確認しておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)			1
第13回	体力測定 (屋内種目)	予習 (体力測定項目について確認しておく) 復習 (自身の測定値と全国平均の比較をして課題を整理する)			1
第14回	体力測定 (屋外種目)	予習 (体力測定項目について確認しておく) 復習 (自身の測定値と全国平均の比較をして課題を整理する)			1
第15回	まとめとレポートの書き方健康科学講義: ライフステージにおける健康課題 (青年期以降の対策)	予習 (授業の振り返りのための技術のポイントについて確認しておく) 復習 (授業全体を通して課題達成に対する総合的な自己評価と振り返りを行う)			1
<b>教科書・参考書等</b>					
適時授業時に資料を配付する。					
<b>成績評価方法・基準</b>					
毎回の授業中の課題達成度や役割の遂行状況、ダブルスの成績および課題レポート等で総合評価する。					

<b>41</b>	<b>健康・運動科学実習 I (バドミントン)</b> AGE-MPH-110		選択 1単位 1年前期
Practice of Health, Exercise and Physical Sciences I (Badminton)			
全学科1年全組 非常勤講師 伊藤 常久			
<b>授業形態</b>		単独 (1人が全回担当)	
<b>授業の達成目標</b>		生涯スポーツとしてバドミントンの楽しみ方や運営方法等を理解するため、運動の特性、基本技術およびゲームの進め方について学習し、さらには対人コミュニケーション能力を養う。	
<b>授業の概要</b>			
運動を行う際に必要な心身の準備について解説するとともに、バドミントンの基本技術やルールを習得し、受講者全体のレベルに応じた特設ルールを設定することでできるだけ個々の運動量を確保出来るよう授業を進めていく。なお各回の授業はリーグ戦によるゲームを中心に、その試合数、勝敗を集計し総合的に評価する。			
<b>授業計画 (各回の学習内容等)</b>			
	学習内容	授業方法及び学習課題 (予習・復習)	時間(時)
第1回	ガイダンス (授業内容と進め方の理解) 健康科学講義: ライフスタイルと健康 (運動、栄養、休養)	予習 (選択する種目等についてシラバスで確認する) 復習 (履修登録や実施場所等の授業全体のルールについて確認する)	1
第2回	(ダブルス) 基本動作の理解 (ショット、レシーブ、フォーメーション)	予習 (ダブルスにおける基本動作について調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1
第3回	(ダブルス) リーグ戦準備 (ショット、レシーブ、フォーメーション)	予習 (ダブルスによるリーグ戦のポイントについて調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1
第4回	(ダブルス) リーグ戦1 (様々なショット・レシーブの活用)	予習 (ダブルスにおける様々なショットの活用について調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1
第5回	(ダブルス) リーグ戦2 (フォーメーション・戦略の活用)	予習 (ダブルスにおけるフォーメーションについて調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1
第6回	(シングルス) 基本動作の理解 (ショット、レシーブ)	予習 (シングルスにおける基本動作について調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1
第7回	(シングルス) リーグ戦1 (個人戦)	予習 (シングルの試合におけるポイントについて調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1
第8回	(シングルス) リーグ戦2 (団体戦)	予習 (団体戦における戦略のポイントについて調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1
第9回	(ダブルス) パートナー・特設ルールの設定	予習 (団体戦における戦略のポイントについて調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1
第10回	レベル別リーグ戦1 (パートナーとの戦術・戦略の理解)	予習 (パートナーとの戦術・戦略のポイントについて調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1
第11回	レベル別リーグ戦2 (個人戦)	予習 (自身の技術や戦術の課題について振り返っておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1
第12回	レベル別リーグ戦3 (団体戦)	予習 (自身の技術や戦術の課題について振り返っておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1
第13回	体力測定 (屋内種目)	予習 (体力測定項目について確認しておく) 復習 (自身の測定値と全国平均の比較をして課題を整理する)	1
第14回	体力測定 (屋外種目)	予習 (体力測定項目について確認しておく) 復習 (自身の測定値と全国平均の比較をして課題を整理する)	1
第15回	まとめとレポートの書き方 健康科学講義: ライフステージにおける健康課題 (青年期以降の対策)	予習 (授業の振り返りのための技術のポイントについて確認しておく) 復習 (授業全体を通して課題達成に対する総合的な自己評価と振り返りを行う)	1
<b>教科書・参考書等</b>			
適時授業時に資料を配付する。			
<b>成績評価方法・基準</b>			
毎回の授業中に提示する課題の達成度、リーグ戦での成績および課題レポートを総合的に評価する。			

41	<b>健康・運動科学実習 I (バレーボール)</b>	AGE-MPH-110	選択	1単位	1年前期
	Practice of Health, Exercise and Physical Sciences I (Volley Ball)				
CD・MC 1年全組 非常勤講師 犬塚 剛					
<b>授業形態</b>		単独 (1人が全回担当)			
<b>授業の達成目標</b>		生涯スポーツや健康づくりの一つとしてバレーボールを実践し、本種目の競技特性、チームスポーツの楽しさ、ゲーム運営の方法等を理解・体得する。			
<b>授業の概要</b>		バレーボールは、走・跳・打の基本的な運動要素および敏捷性、巧緻性、判断力などが要求されるスポーツである。バレーボールに必要な身体能力・スキルを身につけるとともに、ゲームを通じて攻防におけるチームワークの大切さを身につける。			
<b>授業計画 (各回の学習内容等)</b>					
	<b>学習内容</b>	<b>授業方法及び学習課題 (予習・復習)</b>			<b>時間(時)</b>
第1回	ガイダンス (授業の進め方等の説明) 健康科学講義:ライフスタイルと健康 (運動、栄養、休養)	予習 (選択する種目等についてシラバスで確認する) 復習 (履修登録や実施場所等の授業全体のルールについて確認する)			1
第2回	ゲーム (技能水準の確認)	予習 (ルールと基本動作について調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)			1
第3回	個人技能の学習と練習法 (パス・サーブ・レシーブの基礎) ゲーム	予習 (パス・サーブ・レシーブの基本動作やポイントについて調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)			1
第4回	個人技能の学習と練習法 (パス・サーブ・レシーブの応用) ゲーム	予習 (パス・サーブ・レシーブにおける自身の課題について確認しておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)			1
第5回	個人技能の学習と練習法 (スパイクやブロックの基礎) ゲーム	予習 (スパイクやブロックの基本動作やポイントについて調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)			1
第6回	個人技能の学習と練習法 (スパイクやブロックの応用) ゲーム	予習 (スパイクやブロックにおける自身の課題について確認しておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)			1
第7回	集団技能の学習と練習法 (フェイントやコンビネーションの基礎) ゲーム	予習 (フェイントやコンビネーションにおけるポイントについて調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)			1
第8回	集団技能の学習と練習法 (フェイントやコンビネーションの応用) ゲーム	予習 (フェイントやコンビネーションにおける自身の課題について確認しておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)			1
第9回	集団技能の学習と練習法 (セーフティとサイン攻撃) ゲーム	予習 (サイン攻撃の種類などについて調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)			1
第10回	リーグ戦 (1) (基本ルールとローカルルールの確認)	予習 (基本ルールとローカルルールの違いについて調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)			1
第11回	リーグ戦 (2) (審判法の確認)	予習 (基本ルールとローカルルールの違いについて調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)			1
第12回	リーグ戦 (3) (試合運営を洗練させる)	予習 (自身の技術や戦術の課題について振り返っておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)			1
第13回	体力測定 (屋内種目)	予習 (体力測定項目について確認しておく) 復習 (自身の測定値と全国平均の比較をして課題を整理する)			1
第14回	体力測定 (屋外種目)	予習 (体力測定項目について確認しておく) 復習 (自身の測定値と全国平均の比較をして課題を整理する)			1
第15回	まとめ健康科学講義:ライフステージにおける健康課題 (青年期以降の対策)	予習 (授業の振り返りのための技術のポイントについて確認しておく) 復習 (授業全体を通して課題達成に対する総合的な自己評価と振り返りを行う)			1
<b>教科書・参考書等</b>					
必要に応じてルール、練習方法等に関する資料を授業中に配付する。					
<b>成績評価方法・基準</b>					
毎回の授業運営上の協力や役割遂行状況およびリーグ戦での戦績等を総合的に評価する。					

41	<b>健康・運動科学実習 I (バレーボール)</b> AGE-MPH-110		選択	1単位	1年前期
	Practice of Health, Exercise and Physical Sciences I (Volley Ball)				
SD 1 年全組 非常勤講師 高野 淳司					
<b>授業形態</b>		単独 (1人が全回担当)			
<b>授業の達成目標</b>		生涯スポーツや健康づくりの一つとしてバレーボールを実践し、本種目の競技特性、チームスポーツの楽しさ、ゲーム運営の方法等を理解・体得する。			
<b>授業の概要</b>		バレーボールの基礎練習を取り入れながら、リーグ戦によるゲームを中心に行う。経験の有無や技術レベルにかかわらず全員がゲームを楽しめるよう、リーグ戦ごとに経験の有無、個人得点、チーム得点等を集計し、均等なチームづくりをしながら進めていく。			
<b>授業計画 (各回の学習内容等)</b>					
	<b>学習内容</b>	<b>授業方法及び学習課題 (予習・復習)</b>			<b>時間(時)</b>
第1回	授業の進め方、評価について (ガイダンス) 健康科学講義:ライフスタイルと健康 (運動、栄養、休養)	予習 (選択する種目等についてシラバスで確認する) 復習 (履修登録や実施場所等の授業全体のルールについて確認する)			1
第2回	バレーボールを行うための準備運動、基礎トレーニング	予習 (基本動作と基礎トレーニングについて調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)			1
第3回	バレーボールのルールの理解 (試合形式での説明)	予習 (ルールについて調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)			1
第4回	レシーブ、トス、スパイク等ーリーグ戦	予習 (レシーブ、トス、スパイクの基本動作やポイントについて調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)			1
第5回	サーブ、ブロック等ーリーグ戦	予習 (サーブ、ブロックの基本動作やポイントについて調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)			1
第6回	<チーム替え>サーブカット等ーリーグ戦	予習 (サーブカットのポイントについて調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)			1
第7回	シート、スリーメン等ーリーグ戦	予習 (シートレシーブやスリーメンによる練習のポイントについて調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)			1
第8回	<チーム替え> 2段トスーリーグ戦	予習 (2段トスへの対応のポイントについて調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)			1
第9回	コンビネーション練習ーリーグ戦	予習 (試合中のコンビネーションについて調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)			1
第10回	<チーム替え>チャレンジリーグ	予習 (第3回~第9回で学んだ技術のポイントについて調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)			1
第11回	トーナメント戦 (1) 審判やルールへの理解を深める	予習 (ルールを復習し、審判をする上でのポイントについて調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)			1
第12回	<チーム替え>トーナメント戦 (2) 戦術の理解を深める	予習 (試合におけるさまざまな戦術について調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)			1
第13回	体力測定 (屋内種目)	予習 (体力測定項目について確認しておく) 復習 (自身の測定値と全国平均の比較をして課題を整理する)			1
第14回	体力測定 (屋外種目)	予習 (体力測定項目について確認しておく) 復習 (自身の測定値と全国平均の比較をして課題を整理する)			1
第15回	総括とレポートの書き方 健康科学講義:ライフステージにおける健康課題 (青年期以降の対策)	予習 (授業の振り返りのための技術のポイントについて確認しておく) 復習 (授業全体を通して課題達成に対する総合的な自己評価と振り返りを行う)			1
<b>教科書・参考書等</b>					
適宜、資料を配付する。					
<b>成績評価方法・基準</b>					
授業中に提示する課題の達成度、実技の技能および課題レポートを総合的に評価する。					

41	<b>健康・運動科学実習Ⅰ（マルチスポーツ）</b> AGE-MPH-110		選択	1単位	1年前期
	Practice of Health, Exercise and Physical Sciences I (Multi Sports)				
CD・MC 1年全組 非常勤講師 伊勢 只義					
<b>授業形態</b>		単独（1人が全回担当）			
<b>授業の達成目標</b>		生涯にわたり継続的にスポーツを楽しむための資質や能力を身につけることを目的に各種の基本的なトレーニングを実践する。それぞれのトレーニングがもたらす効果を理解し、各人の目的に応じてトレーニング方法を選択できる能力を養う。			
<b>授業の概要</b>		様々なトレーニングに関する目的や方法を学び、実践していく中でその効果についての理解を深める。また、スポーツテストおよび体力測定などの活動を通し、スポーツ科学を応用したトレーニング方法の考え方を学習する。			
<b>授業計画（各回の学習内容等）</b>					
	<b>学習内容</b>	<b>授業方法及び学習課題（予習・復習）</b>			<b>時間(時)</b>
第1回	ガイダンス（授業内容、受講方法、評価方法についての説明）	予習（選択する種目等についてシラバスで確認する） 復習（履修登録や実施場所等の授業全体のルールについて確認する）			1
第2回	トレーニングの基本	予習（様々なトレーニング手法について調べておく） 復習（授業で説明された技術を確認し練習しておく）			1
第3回	ウォーミングアップ、ストレッチング	予習（ウォーミングアップやストレッチの具体例について調べておく） 復習（授業で説明された技術を確認し練習しておく）			1
第4回	ウエイトトレーニング(マシントレーニング)	予習（マシントレーニングの種類と留意点について調べておく） 復習（授業で説明された技術について確認しておく）			1
第5回	ウエイトトレーニング（フリーウェイトトレーニング）	予習（「フリーウェイトトレーニング」について調べておく） 復習（授業で説明された技術について確認しておく）			1
第6回	ウエイトトレーニング（自重トレーニング）	予習（「自重トレーニング」について調べておく） 復習（授業で説明された技術について確認しておく）			1
第7回	各人に応じたウエイトトレーニングメニューの作成	予習（自身のトレーニングメニューについて検討しておく） 復習（授業で説明された技術について確認しておく）			1
第8回	サーキットトレーニング	予習（「サーキットトレーニング」について調べておく） 復習（授業で説明された技術について確認しておく）			1
第9回	プライオメトリックトレーニング	予習（「プライオメトリックトレーニング」について調べておく） 復習（授業で説明された技術について確認しておく）			1
第10回	エンデュランストレーニング	予習（「エンデュランストレーニング」について調べておく） 復習（授業で説明された技術について確認しておく）			1
第11回	コーディネーショントレーニング	予習（「コーディネーショントレーニング」について調べておく） 復習（授業で説明された技術について確認しておく）			1
第12回	メンタルトレーニングの理論と実際	予習（「メンタルトレーニング」について調べておく） 復習（授業で説明された技術について確認しておく）			1
第13回	体力測定（屋内種目）	予習（体力測定項目について確認しておく） 復習（自身の測定値と全国平均の比較をして課題を整理する）			1
第14回	体力測定（屋外種目）	予習（体力測定項目について確認しておく） 復習（自身の測定値と全国平均の比較をして課題を整理する）			1
第15回	総括とレポートの書き方	予習（授業の振り返りのための技術のポイントについて確認しておく） 復習（授業全体を通して課題達成に対する総合的な自己評価と振り返りを行う）			1
<b>教科書・参考書等</b>					
適宜、資料を配付する。					
<b>成績評価方法・基準</b>					
毎回の授業における課題達成度やレポートおよび実技の技能を総合的に評価する。詳細は第1回目の授業で告知する。					

41	<b>健康・運動科学実習Ⅰ（マルチスポーツ）</b> AGE-MPH-110		選択	1単位	1年前期
	Practice of Health, Exercise and Physical Sciences I (Multi Sports)				
SD1年全組 非常勤講師 金野 麻衣					
<b>授業形態</b>		単独（1人が全回担当）			
<b>授業の達成目標</b>		生涯にわたり継続的にスポーツを楽しむための資質や能力を身につけることを目的に各種の基本的なトレーニングを実践する。それぞれのトレーニングがもたらす効果を理解し、各人の目的に応じてトレーニング方法を選択できる能力を養う。			
<b>授業の概要</b>		様々なトレーニングに関する目的や方法を学び、実践していく中でその効果についての理解を深める。また、スポーツテストおよび体力測定などの活動を通し、スポーツ科学を応用したトレーニング方法の考え方を学習する。			
<b>授業計画（各回の学習内容等）</b>					
	学習内容	授業方法及び学習課題（予習・復習）			時間(時)
第1回	ガイダンス（授業内容、受講方法、評価方法についての説明）	予習（選択する種目等についてシラバスで確認する） 復習（履修登録や実施場所等の授業全体のルールについて確認する）			1
第2回	トレーニングの基本	予習（様々なトレーニング手法について調べておく） 復習（授業で説明された技術を確認し練習しておく）			1
第3回	ウォーミングアップ、ストレッチング	予習（ウォーミングアップやストレッチの具体例について調べておく） 復習（授業で説明された技術を確認し練習しておく）			1
第4回	ウエイトトレーニング(マシントレーニング)	予習（マシントレーニングの種類と留意点について調べておく） 復習（授業で説明された技術について確認しておく）			1
第5回	ウエイトトレーニング（フリーウェイトトレーニング）	予習（「フリーウェイトトレーニング」について調べておく） 復習（授業で説明された技術について確認しておく）			1
第6回	ウエイトトレーニング（自重トレーニング）	予習（「自重トレーニング」について調べておく） 復習（授業で説明された技術について確認しておく）			1
第7回	各人に応じたウエイトトレーニングメニューの作成	予習（自身のトレーニングメニューについて検討しておく） 復習（授業で説明された技術について確認しておく）			1
第8回	サーキットトレーニング	予習（「サーキットトレーニング」について調べておく） 復習（授業で説明された技術について確認しておく）			1
第9回	プライオメトリックトレーニング	予習（「プライオメトリックトレーニング」について調べておく） 復習（授業で説明された技術について確認しておく）			1
第10回	エンデュランストレーニング	予習（「エンデュランストレーニング」について調べておく） 復習（授業で説明された技術について確認しておく）			1
第11回	コーディネーショントレーニング	予習（「コーディネーショントレーニング」について調べておく） 復習（授業で説明された技術について確認しておく）			1
第12回	メンタルトレーニングの理論と実際	予習（「メンタルトレーニング」について調べておく） 復習（授業で説明された技術について確認しておく）			1
第13回	体力測定（屋内種目）	予習（体力測定項目について確認しておく） 復習（自身の測定値と全国平均の比較をして課題を整理する）			1
第14回	体力測定（屋外種目）	予習（体力測定項目について確認しておく） 復習（自身の測定値と全国平均の比較をして課題を整理する）			1
第15回	総括とレポートの書き方	予習（授業の振り返りのための技術のポイントについて確認しておく） 復習（授業全体を通して課題達成に対する総合的な自己評価と振り返りを行う）			1
<b>教科書・参考書等</b>					
適宜、資料を配付する。					
<b>成績評価方法・基準</b>					
毎回の授業における課題達成度やレポートおよび実技の技能を総合的に評価する。詳細は第1回目の授業で告知する。					



41	<b>健康・運動科学実習 I (サッカー)</b>	AGE-MPH-110	選択	1単位	1年前期
	Practice of Health, Exercise and Physical Sciences I (Soccer)				
CD・MC 1年全組 非常勤講師 黒澤 尚					
<b>授業形態</b>		単独 (1人が全回担当)			
<b>授業の達成目標</b>		<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ゲームの中で充実感や楽しさを味わえるようになること。</li> <li>2. 基本戦術を理解すること。</li> <li>3. 集団の中での自分の行動や役割を客観的に見つめることができるようになること。</li> <li>4. QOLの向上に資するスポーツへの取り組み方の要点を把握すること。</li> </ol>			
<b>授業の概要</b>		<p>本授業では、フットサルの要素である技術・戦術・体力・精神力・ルールを教材に、ゲーム形式で授業を展開する。同時に、スポーツの生活化、QOL (生活の質) の向上に資するスポーツへの取り組み方の学習、また生涯にわたってスポーツを正しく実践していく態度の養成を目指す。</p>			
<b>授業計画 (各回の学習内容等)</b>					
	学習内容	授業方法及び学習課題 (予習・復習)			時間(時)
第1回	オリエンテーション授業概要の説明 健康科学講義:ライフスタイルと健康 (運動、栄養、休養)	予習 (選択する種目等についてシラバスで確認する) 復習 (履修登録や実施場所等の授業全体のルールについて確認する)			1
第2回	チーム編成と試しのゲーム	予習 (ルールと基本的な技術について調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)			1
第3回	主に足を使ったボール遊び+ミニゲーム	予習 (ボールコントロールのポイントについて調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)			1
第4回	ボールコントロールの練習+ミニゲーム	予習 (ボールコントロールにおける自身の課題について確認しておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)			1
第5回	種々のシュート練習+ミニゲーム	予習 (シュート技術のポイントについて調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)			1
第6回	基本戦術の理解 (攻撃) +ミニゲーム	予習 (攻撃における基本的な戦術について調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)			1
第7回	基本戦術の理解 (守備) とリーグ戦準備 (チーム分け)	予習 (守備における基本的な考え方について調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)			1
第8回	チーム内練習とリーグ戦第1節 (目標:試合の流れを把握すること)	予習 (一般的な試合の流れについて調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)			1
第9回	チーム内練習とリーグ戦第2節 (目標:自主的な試合運営を行うこと)	予習 (チーム内で前回の課題を確認し共有しておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)			1
第10回	チーム内練習とリーグ戦第3節 (目標:チーム毎に戦術をたてて実践すること)	予習 (チーム内で戦術について検討しておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)			1
第11回	リーグ戦第4節 (目標:チーム課題への取り組みとその評価)	予習 (チーム内で前回の課題を確認し共有しておく) 復習 (授業で説明された課題や成果を確認し練習しておく)			1
第12回	順位決定戦とチームミーティング	予習 (チームの課題や成果を確認し共有しておく) 復習 (授業で説明された課題や成果を確認しておく)			1
第13回	体力測定 (屋内種目)	予習 (体力測定項目について確認しておく) 復習 (自身の測定値と全国平均の比較をして課題を整理する)			1
第14回	体力測定 (屋外種目)	予習 (体力測定項目について確認しておく) 復習 (自身の測定値と全国平均の比較をして課題を整理する)			1
第15回	総括とレポートの書き方健康科学講義:ライフステージにおける健康課題 (青年期以降の対策)	予習 (授業の振り返りのための技術のポイントについて確認しておく) 復習 (授業全体を通して課題達成に対する総合的な自己評価と振り返りを行う)			1
<b>教科書・参考書等</b>					
適宜、資料を配付する。					
<b>成績評価方法・基準</b>					
毎回の授業中の課題達成度や役割の遂行状況、技術の習得状況、ミニゲームやリーグ戦の成績等により総合的に評価する。					

<b>41</b>	<b>健康・運動科学実習 I (サッカー)</b> AGE-MPH-110	選択 1単位 1年前期	
Practice of Health, Exercise and Physical Sciences I (Soccer)			
SD 1年全組 非常勤講師 松原 悟			
<b>授業形態</b>	単独 (1人が全回担当)		
<b>授業の達成目標</b>	技術・戦術・ルールの理解と実践。体力の向上や協調性を主体としたコミュニケーション能力を磨くことを学ぶ。		
<b>授業の概要</b>	フットサルの要素である技術・戦術・体力・精神力・ルールを教材に、ゲーム形式で授業を展開する。スポーツを通じて、コミュニケーションを図りながら、スポーツ・健康への理解度を高める。		
<b>授業計画 (各回の学習内容等)</b>			
	<b>学習内容</b>	<b>授業方法及び学習課題 (予習・復習)</b>	<b>時間(時)</b>
第1回	ガイダンス (授業概要・成績評価の説明) 健康科学講義:ライフスタイルと健康 (運動、栄養、休養)	予習 (選択する種目等についてシラバスで確認する) 復習 (履修登録や実施場所等の授業全体のルールについて確認する)	1
第2回	基本技術の習得 (キック、トラップの習得) フットサルのゲーム (受講者の理解)	予習 (技術のポイントについて調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1
第3回	応用技術の習得 (動きながらの技術の習得) 経験者、未経験者に分けたゲーム	予習 (技術のポイントについて調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1
第4回	基本戦術の理解 (攻撃)	予習 (攻撃の基本戦術のポイントについて調べておく) 復習 (攻撃の基本戦術を確認し練習しておく)	1
第5回	基本戦術の理解 (守備)	予習 (守備の基本戦術のポイントについて調べておく) 復習 (攻撃の基本戦術を確認し練習しておく)	1
第6回	ゲーム (コミュニケーションを図る)	予習 (コミュニケーションを図る上での伝達方法のポイントについて調べておく) 復習 (コミュニケーション技術のポイントについて自身の課題を整理する)	1
第7回	リーグ戦 (1) (ポジションと役割の確認)	予習 (ポジションと役割のポイントについて調べておく) 復習 (ポジショニングとその役割の違い等についてポイントを整理する)	1
第8回	リーグ戦 (2) (戦術を立ててゲームを進める)	予習 (リーグ戦を進める上で、対戦相手を研究し作戦をたてる) 復習 (ゲーム後に検証を行う)	1
第9回	リーグ戦 (3) (組織力の向上を目指す)	予習 (組織力を向上させるためのポイントについて調べておく) 復習 (組織力を向上させるためのトレーニングを考える)	1
第10回	トーナメント (自チーム、相手チームの戦力分析に基づく試合運営)	予習 (自チーム、他チームのゲーム分析を行う) 復習 (ゲーム分析を活かす戦術を調べる)	1
第11回	トーナメント (審判法の確認と実施)	予習 (審判技術のポイントについて調べておく) 復習 (授業で説明された審判法を確認しておく)	1
第12回	技能レベルに分けたゲーム	予習 (より高度な技術のポイントについて調べておく) 復習 (スポーツ活動の継続方法をプランする)	1
第13回	体力測定 (屋内種目)	予習 (体力測定項目について調べておく) 復習 (自身の測定値と全国平均の比較をして課題を整理する)	1
第14回	体力測定 (屋外種目)	予習 (体力測定項目について調べておく) 復習 (自身の測定値と全国平均の比較をして課題を整理する)	1
第15回	まとめとレポート課題健康科学講義:ライフステージにおける健康課題 (青年期以降の対策)	予習 (授業の振り返りのための技術、戦術、ルールのポイントについて確認しておく) 復習 (授業全体を通して課題達成に対する総合的な自己評価と振り返りを行う)	1
<b>教科書・参考書等</b>			
適宜配付する。			
<b>成績評価方法・基準</b>			
ゲームでの成績、個人の実践能力、課題レポート等により総合的に評価する。			

41	<b>健康・運動科学実習 I (基礎ゴルフ)</b> AGE-MPH-110		選択	1単位	1年前期
	Practice of Health, Exercise and Physical Sciences I (Basic Golf)				
全学科1年全組 准教授 本田 春彦					
<b>授業形態</b>		単独(1人が全回担当)			
<b>授業の達成目標</b>		ゴルフの基本技術から扱い、はじめて実践する場合もゴルフの種目特性を十分に理解し、実践できるように授業をすすめる。ゴルフ(主にアプローチ)の実技実習を通じて健康の維持増進のための手段として身体活動を捉え、身体リテラシーを向上させることを目的として、ゴルフの理論や技術を習得していくと同時に、学生間のコミュニケーションの促進を図り、ゴルフをきっかけとしてスポーツに親しむ態度を育成する。			
<b>授業の概要</b>		学内の限られた空間(野球場)の中で、ゴルフというスポーツの全てを学ぶことは出来ないが、スウィングとショットの基本を体験し、特に短い距離のショット(アプローチ)の正確性とバリエーションを追求する。工夫とマナーの遵守によって創造的で楽しい運動学習の機会を得る。			
<b>授業計画(各回の学習内容等)</b>					
	<b>学習内容</b>	<b>授業方法及び学習課題(予習・復習)</b>			<b>時間(時)</b>
第1回	ガイダンス(授業概要・成績評価の説明)健康科学講義:ライフスタイルと健康(運動、栄養、休養)	予習(選択する種目等についてシラバスで確認する) 復習(履修登録や実施場所等の授業全体のルールについて確認する)			1
第2回	静止ボールを打ってみる	予習(クラブの握り方やスタンスについて調べておく) 復習(授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)			1
第3回	静止ボールを打つ時の課題	予習(自身の課題を振り返っておく) 復習(授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)			1
第4回	スウィング運動とクラブ軌道の関係を調べ、自己管理する	予習(スウィングとクラブの軌道のポイントについて調べておく) 復習(授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)			1
第5回	飛球弾道と飛距離の調節と方向のコントロール方法	予習(飛距離の調節技術や方向のコントロール技術のポイントについて調べておく) 復習(授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)			1
第6回	スウィングのリズムとインパクト時のクラブフェースの管理	予習(スウィングのリズムやフェースコントロールのポイントについて調べておく) 復習(授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)			1
第7回	コントロールショットの正確性の追求とパターの練習	予習(コントロールショット技術のポイントについて調べておく) 復習(授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)			1
第8回	ゴルフゲームの特性とルール、マナーの重要性	予習(ラウンドする際のルールとマナーについて調べておく) 復習(授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)			1
第9回	ミニコースの設定とラウンドの試み(パー3の仮コース)	予習(スウィング技術の振り返りをしておく) 復習(授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)			1
第10回	ゲームの実際とラウンドマナーの実践(4ホール)	予習(ラウンドマナーやルールについて再確認しておく) 復習(授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)			1
第11回	ゲームの実践とスコアー記録提出(6ホール)	予習(技術・マナー・ルールの振り返りとスコアー記録の手法について調べておく) 復習(授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)			1
第12回	9ホールミニコースのラウンド実践とスコアー記録の提出	予習(第2回~第11回の振り返りと自身の課題を確認しておく) 復習(授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)			1
第13回	体力測定(屋内種目)	予習(体力測定項目について確認しておく) 復習(自身の測定値と全国平均の比較をして課題を整理する)			1
第14回	体力測定(屋外種目)	予習(体力測定項目について確認しておく) 復習(自身の測定値と全国平均の比較をして課題を整理する)			1
第15回	総括とレポートの書き方健康科学講義:ライフステージにおける健康課題(青年期以降の対策)	予習(授業の振り返りのための技術のポイントについて確認しておく) 復習(授業全体を通して課題達成に対する総合的な自己評価と振り返りを行う)			1
<b>教科書・参考書等</b>					
適宜、資料を配付する。					
<b>成績評価方法・基準</b>					
授業中に提示する課題の達成度、実技の技能および課題レポートを総合的に評価する。					

<b>42</b>	<b>健康・運動科学実習Ⅱ（フットサル）</b>	AGE-MPH-211	選択 1単位 1年後期
Practice of Health, Exercise and Physical Sciences II (Futsal)			
SD1年全組 非常勤講師 松原 悟			
<b>授業形態</b>		単独（1人が全回担当）	
<b>授業の達成目標</b>		技術・戦術・ルールの理解と実践。体力の向上や協調性を主体としたコミュニケーション能力を磨くことを学ぶ。	
<b>授業の概要</b>		サッカーの要素である技術・戦術・体力・精神力・ルールを教材に、ゲーム形式で授業を展開する。スポーツを通じて、コミュニケーションを図りながら、スポーツ・健康への理解度を高める。	
<b>授業計画（各回の学習内容等）</b>			
	学習内容	授業方法及び学習課題（予習・復習）	時間(時)
第1回	ガイダンス（授業概要・成績評価の説明）健康科学講義：心身の健康の保持増進のためのポイント（1）（感染症の基礎知識）	予習（選択する種目等についてシラバスで確認する） 復習（履修登録や実施場所等の授業全体のルールについて確認する）	1
第2回	基本技術の習得（キック、トラップの習得）サッカーのゲーム（受講者の理解）	予習（技術のポイントについて調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第3回	応用技術の習得（動きながらの技術の習得）経験者、未経験者に分けたゲーム	予習（技術のポイントについて調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第4回	基本戦術の理解（攻撃）	予習（攻撃の基本戦術のポイントについて調べておく） 復習（攻撃の基本戦術を確認し練習しておく）	1
第5回	基本戦術の理解（守備）	予習（守備の基本戦術のポイントについて調べておく） 復習（攻撃の基本戦術を確認し練習しておく）	1
第6回	ゲーム（コミュニケーションを図る）	予習（コミュニケーションを図る上での伝達方法のポイントについて調べておく） 復習（コミュニケーションの技法のポイントについて整理する）	1
第7回	リーグ戦（1）（ポジションと役割の確認）	予習（ポジションと役割のポイントについて調べておく） 復習（ポジションと役割のポイントを確認する）	1
第8回	リーグ戦（2）（戦術を立ててゲームを進める）	予習（リーグ戦を進める上で、対戦相手を研究し作戦をたてる） 復習（ゲーム後に検証を行う）	1
第9回	リーグ戦（3）（組織力の向上を目指す）	予習（組織力を向上させるためのポイントについて調べておく） 復習（組織力を向上させるためのトレーニングを考える）	1
第10回	トーナメント（自チーム、相手チームの戦力分析に基づく試合運営）	予習（自チーム、他チームのゲーム分析を行う） 復習（ゲーム分析を活かす戦術を調べる）	1
第11回	トーナメント（審判法の確認と実施）	予習（審判技術のポイントについて調べておく） 復習（授業で説明された審判法を確認しておく）	1
第12回	技能レベルに分けたゲーム	予習（より高度な技術のポイントについて調べておく） 復習（スポーツ活動の継続方法をプランする）	1
第13回	生活習慣診断検査と自己分析	予習（自身の生活習慣について見直す） 復習（課題を整理しておく）	1
第14回	運動中の心拍数の変化を知る（測定）	予習（体力測定の実施方法を調べておく） 復習（測定用紙のグラフの作成をする）	1
第15回	まとめとレポート課題健康科学講義：心身の健康の保持増進のためのポイント（2）（メンタルヘルスの諸問題）	予習（授業の振り返りのための技術のポイントについて確認しておく） 復習（授業全体を通して課題達成に対する総合的な自己評価と振り返りを行う）	1
<b>教科書・参考書等</b>			
適時授業時に資料を配付する。			
<b>成績評価方法・基準</b>			
毎回の授業中の課題達成度や役割の遂行状況、課題レポート、技術の習得状況、ミニゲームやリーグ戦の成績等により総合的に評価する。			

<b>42</b>	<b>健康・運動科学実習Ⅱ（フットサル）</b>	AGE-MPH-211	選択 1単位 1年後期
Practice of Health, Exercise and Physical Sciences II (Futsal)			
CD・MC 1年全組 非常勤講師 黒澤 尚			
<b>授業形態</b>		単独（1人が全回担当）	
<b>授業の達成目標</b>		技術・戦術・ルールの理解と実践。体力の向上や協調性を主体としたコミュニケーション能力を磨くことを学ぶ。	
<b>授業の概要</b>		サッカーの要素である技術・戦術・体力・精神力・ルールを教材に、ゲーム形式で授業を展開する。スポーツを通じて、コミュニケーションを図りながら、スポーツ・健康への理解度を高める。	
<b>授業計画（各回の学習内容等）</b>			
	学習内容	授業方法及び学習課題（予習・復習）	時間(時)
第1回	ガイダンス（授業概要・成績評価の説明）健康科学講義：心身の健康の保持増進のためのポイント（1）（感染症の基礎知識）	予習（選択する種目等についてシラバスで確認する） 復習（履修登録や実施場所等の授業全体のルールについて確認する）	1
第2回	基本技術の習得（キック、トラップの習得）サッカーのゲーム（受講者の理解）	予習（技術のポイントについて調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第3回	応用技術の習得（動きながらの技術の習得）経験者、未経験者に分けたゲーム	予習（技術のポイントについて調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第4回	基本戦術の理解（攻撃）	予習（攻撃の基本戦術のポイントについて調べておく） 復習（攻撃の基本戦術を確認し練習しておく）	1
第5回	基本戦術の理解（守備）	予習（守備の基本戦術のポイントについて調べておく） 復習（攻撃の基本戦術を確認し練習しておく）	1
第6回	ゲーム（コミュニケーションを図る）	予習（コミュニケーションを図る上での伝達方法のポイントについて調べておく） 復習（コミュニケーションの技法のポイントについて整理する）	1
第7回	リーグ戦（1）（ポジションと役割の確認）	予習（ポジションと役割のポイントについて調べておく） 復習（ポジションと役割のポイントを確認する）	1
第8回	リーグ戦（2）（戦術を立ててゲームを進める）	予習（リーグ戦を進める上で、対戦相手を研究し作戦をたてる） 復習（ゲーム後に検証を行う）	1
第9回	リーグ戦（3）（組織力の向上を目指す）	予習（組織力を向上させるためのポイントについて調べておく） 復習（組織力を向上させるためのトレーニングを考える）	1
第10回	トーナメント（自チーム、相手チームの戦力分析に基づく試合運営）	予習（自チーム、他チームのゲーム分析を行う） 復習（ゲーム分析を活かす戦術を調べる）	1
第11回	トーナメント（審判法の確認と実施）	予習（審判技術のポイントについて調べておく） 復習（授業で説明された審判法を確認しておく）	1
第12回	技能レベルに分けたゲーム	予習（より高度な技術のポイントについて調べておく） 復習（スポーツ活動の継続方法をプランする）	1
第13回	生活習慣診断検査と自己分析	予習（自身の生活習慣について見直す） 復習（課題を整理しておく）	1
第14回	運動中の心拍数の変化を知る（測定）	予習（体力測定の実施方法を調べておく） 復習（測定用紙のグラフの作成をする）	1
第15回	まとめとレポート課題健康科学講義：心身の健康の保持増進のためのポイント（2）（メンタルヘルスの諸問題）	予習（授業の振り返りのための技術のポイントについて確認しておく） 復習（授業全体を通して課題達成に対する総合的な自己評価と振り返りを行う）	1
<b>教科書・参考書等</b>			
適時授業時に資料を配付する。			
<b>成績評価方法・基準</b>			
毎回の授業中の課題達成度や役割の遂行状況、課題レポート、技術の習得状況、ミニゲームやリーグ戦の成績等により総合的に評価する。			

42	<b>健康・運動科学実習Ⅱ (ソフトボール)</b> AGE-MPH-211		選択	1単位	1年後期
	Practice of Health、Exercise and Physical Sciences Ⅱ (Softball)				
CD・MC 1年全組 非常勤講師 門間 陽樹					
<b>授業形態</b>		単独 (1人が全回担当)			
<b>授業の達成目標</b>		生涯スポーツや健康づくりの一つとしてソフトボールを実践し、本種目の競技特性、チームスポーツの楽しさ、ゲーム運営の方法等を理解・体得する。他者とのコミュニケーション力を養う。			
<b>授業の概要</b>		運動を行う際に必要な心身の準備について解説するとともに、ソフトボールの基本技術やルールを習得し、受講者全体のレベルに応じた特設ルールを設定することでできるだけ個々の運動量を確保出来るよう授業を進めていく。なお各回の授業はゲーム形式主体の授業を中心に、その試合数、勝敗を集計し総合的に評価する。			
<b>授業計画 (各回の学習内容等)</b>					
	<b>学習内容</b>	<b>授業方法及び学習課題 (予習・復習)</b>			<b>時間(時)</b>
第1回	ガイダンス (授業内容と進め方の理解) 健康科学講義:心身の健康の保持増進のためのポイント(1) (感染症の基礎知識)	予習 (選択する種目等についてシラバスで確認する。) 復習 (履修登録や実施場所等の授業全体のルールについて確認する)			1
第2回	ソフトボールのためのトレーニング (受講者の理解)	予習 (基本的なトレーニング技術について調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)			1
第3回	ソフトボールゲーム (練習試合) ルールや基本技術の確認	予習 (ルールや基本技術のポイントについて調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)			1
第4回	ソフトボールゲーム (練習試合) ポジションや打順等の理解	予習 (「ポジション」や「打順」について調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)			1
第5回	ソフトボールゲーム (リーグ戦) チーム内の戦力分析	予習 (チーム内の戦力分析のポイントについて調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)			1
第6回	ソフトボールゲーム (リーグ戦) チーム内の戦力分析	予習 (チーム内の戦力分析のポイントについて調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)			1
第7回	ソフトボールゲーム (リーグ戦) 戦術の理解	予習 (ゲームにおける戦術のポイントについて調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)			1
第8回	チーム再編成、および強化練習	予習 (チーム内の戦力分析とその対応(強化)のポイントについて調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)			1
第9回	ソフトボールゲーム (リーグ戦) 主に打撃に焦点をあてて	予習 (打撃技術のポイントについて調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)			1
第10回	ソフトボールゲーム (リーグ戦) 主に守備に焦点をあてて	予習 (守備技術のポイントについて調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)			1
第11回	正式試合Ⅰ 審判法の理解	予習 (審判技術とルールについて調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)			1
第12回	正式試合Ⅱ ささまざまな戦術を駆使したゲーム	予習 (ゲームにおける戦術について再確認しておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)			1
第13回	生活習慣診断検査と自己分析	予習 (自身の生活習慣について見直す) 復習 (課題を整理しておく)			1
第14回	運動中の心拍数の変化を知る (測定)	予習 (体力測定の実施方法を調べておく) 復習 (測定用紙のグラフの作成をする)			1
第15回	まとめとレポート課題健康科学講義:心身の健康の保持増進のためのポイント(2) (メンタルヘルスの諸問題)	予習 (授業の振り返りのための技術のポイントについて確認しておく) 復習 (授業全体を通して課題達成に対する総合的な自己評価と振り返りを行う)			1
<b>教科書・参考書等</b>					
特になし (必要な場合は適時授業時に資料を配付する。)					
<b>成績評価方法・基準</b>					
ソフトボールゲームでの成績、個人の能力評価、及び毎回の授業運営上の協力や役割遂行状況、課題レポートを総合的に評価する。					

<b>42</b>	<b>健康・運動科学実習Ⅱ（ソフトボール）</b>	AGE-MPH-211	選択	1単位	1年後期
Practice of Health, Exercise and Physical Sciences II (Soft Ball)					
SD1年全組 非常勤講師 高野 淳司					
<b>授業形態</b>		単独（1人が全回担当）			
<b>授業の達成目標</b>		生涯スポーツや健康づくりの一つとしてソフトボールを実践し、本種目の競技特性、チームスポーツの楽しさ、ゲーム運営の方法等を理解・体得する。他者とのコミュニケーション力を養う。			
<b>授業の概要</b>		運動を行う際に必要な心身の準備について解説するとともに、ソフトボールの基本技術やルールを習得し、受講者全体のレベルに応じた特設ルールを設定することでできるだけ個々の運動量を確保出来るよう授業を進めていく。なお各回の授業はゲーム形式主体の授業を中心に、その試合数、勝敗を集計し総合的に評価する。			
<b>授業計画（各回の学習内容等）</b>					
	学習内容	授業方法及び学習課題（予習・復習）			時間(時)
第1回	ガイダンス（授業内容と進め方の理解）健康科学講義：心身の健康の保持増進のためのポイント(1)（感染症の基礎知識）	予習（選択する種目等についてシラバスで確認する。） 復習（履修登録や実施場所等の授業全体のルールについて確認する）			1
第2回	ソフトボールのためのトレーニング（受講者の理解）	予習（基本的なトレーニング技術について調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）			1
第3回	ソフトボールゲーム（練習試合）ルールや基本技術の確認	予習（ルールや基本技術のポイントについて調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）			1
第4回	ソフトボールゲーム（練習試合）ポジションや打順等の理解	予習（「ポジション」や「打順」について調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）			1
第5回	ソフトボールゲーム（リーグ戦）チーム内の戦力分析	予習（チーム内の戦力分析のポイントについて調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）			1
第6回	ソフトボールゲーム（リーグ戦）チーム内の戦力分析	予習（チーム内の戦力分析のポイントについて調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）			1
第7回	ソフトボールゲーム（リーグ戦）戦術の理解	予習（ゲームにおける戦術のポイントについて調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）			1
第8回	チーム再編成、および強化練習	予習（チーム内の戦力分析とその対応（強化）のポイントについて調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）			1
第9回	ソフトボールゲーム（リーグ戦）主に打撃に焦点をあてて	予習（打撃技術のポイントについて調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）			1
第10回	ソフトボールゲーム（リーグ戦）主に守備に焦点をあてて	予習（守備技術のポイントについて調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）			1
第11回	正式試合Ⅰ 審判法の理解	予習（審判技術とルールについて調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）			1
第12回	正式試合Ⅱ さまざまな戦術を駆使したゲーム	予習（ゲームにおける戦術について再確認しておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）			1
第13回	生活習慣診断検査と自己分析	予習（自身の生活習慣について見直す） 復習（課題を整理しておく）			1
第14回	運動中の心拍数の変化を知る（測定）	予習（体力測定の実施方法を調べておく） 復習（測定用紙のグラフの作成をする）			1
第15回	まとめとレポート課題健康科学講義：心身の健康の保持増進のためのポイント(2)（メンタルヘルスの諸問題）	予習（授業の振り返りのための技術のポイントについて確認しておく） 復習（授業全体を通して課題達成に対する総合的な自己評価と振り返りを行う）			1
<b>教科書・参考書等</b>					
特になし（必要な場合は適時授業時に資料を配付する。）					
<b>成績評価方法・基準</b>					
ソフトボールゲームでの成績、個人の能力評価、及び毎回の授業運営上の協力や役割遂行状況、課題レポートを総合的に評価する。					

42	<b>健康・運動科学実習Ⅱ (テニス)</b> AGE-MPH-211		選択 1単位 1年後期
	Practice of Health, Exercise and Physical Sciences II (Tennis)		
CD・MC 1年全組 准教授 本田 春彦			
<b>授業形態</b>		単独 (1人が全回担当)	
<b>授業の達成目標</b>		硬式テニスの特性を理解し、硬式テニスの楽しさ、試合の運営方法等を理解できるようにする。	
<b>授業の概要</b>		ダブルスによるゲームを中心に進めて行く。そのなかで、経験の有無や、技術レベルに関わらず、コンビネーションの重要性を理解しながらゲームを楽しめるように進めて行く。	
<b>授業計画 (各回の学習内容等)</b>			
	学習内容	授業方法及び学習課題 (予習・復習)	時間(時)
第1回	ガイダンス (授業の進め方等) 健康科学講義: 心身の健康の保持増進のためのポイント (1) (感染症の基礎知識)	予習 (選択する種目等についてシラバスで確認する。) 復習 (履修登録や実施場所等の授業全体のルールについて確認する)	1
第2回	基礎練習 (主にラケット操作に慣れる) とミニゲーム (3人制)	予習 (ラケット操作技術のポイントについて調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1
第3回	基礎練習 (主にボールに慣れる) とミニゲーム (3人制)	予習 (ボレー技術のポイントについて調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1
第4回	基礎練習 (主にサービスエリア内でのストロークおよびボレー練習) とミニゲーム (3人制)	予習 (サービスエリア内でのストローク技術のポイントについて調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1
第5回	応用練習 (ベースラインでのストローク) とミニゲーム (3人制)	予習 (ベースラインでのストローク技術のポイントについて調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1
第6回	応用練習 (ストローク&ボレー、サーブ&ボレー) とダブルスのルールの確認	予習 (ストローク・ボレーでのラリー技術のポイントについて調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1
第7回	チーム練習とチーム内紅白戦 (1) ダブルスの実践	予習 (サーブやサーブ&ボレーの技術のポイントについて調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1
第8回	チーム練習とリーグ戦 (1) 試合の進め方の理解	予習 (第3回~第7回の振り返りとルールの確認をしておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1
第9回	チーム練習とリーグ戦 (2) 審判のやり方の理解	予習 (ダブルスの試合におけるゲームの進行について調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1
第10回	チーム練習とリーグ戦 (3) 戦術の立て方の理解	予習 (ダブルスの試合における審判技術のポイントについて調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1
第11回	プレーオフ (1) 戦術を磨く	予習 (ダブルスの試合における戦術について調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1
第12回	プレーオフ (2) 自主的な試合の運営	予習 (ダブルスの試合におけるゲームの進行について確認しておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1
第13回	生活習慣診断検査と自己分析	予習 (自身の生活習慣について見直す) 復習 (課題を整理しておく)	1
第14回	運動中の心拍数の変化を知る (測定)	予習 (体力測定の実施方法を調べておく) 復習 (測定用紙のグラフの作成をする)	1
第15回	まとめ健康科学講義: 心身の健康の保持増進のためのポイント (2) (メンタルヘルスの諸問題)	予習 (授業の振り返りのための技術のポイントについて確認しておく) 復習 (授業全体を通して課題達成に対する総合的な自己評価と振り返りを行う)	1
<b>教科書・参考書等</b>			
必要に応じて資料を配付する。			
<b>成績評価方法・基準</b>			
毎回の授業中の課題達成度や役割の遂行状況、ゲームの成績および課題レポート等で総合評価する。			



42	<b>健康・運動科学実習Ⅱ (テニス)</b> AGE-MPH-211		選択 1単位 1年後期
	Practice of Health、Exercise and Physical Sciences Ⅱ (Tennis)		
SD1年全組 非常勤講師 池田 晃一			
<b>授業形態</b>		単独 (1人が全回担当)	
<b>授業の達成目標</b>		生涯スポーツや健康づくりの一つとしてテニスを実践し、本種目の競技特性、楽しさ、ゲーム運営の方法等を理解・体得する。また、他者とのコミュニケーション力を養う。	
<b>授業の概要</b>		ダブルスによるゲームを中心に進めて行く。そのなかで、経験の有無や、技術レベルに関わらず、コンビネーションの重要性を理解しながらゲームを楽しめるように進めて行く。	
<b>授業計画 (各回の学習内容等)</b>			
	学習内容	授業方法及び学習課題 (予習・復習)	時間(時)
第1回	ガイダンス (授業の進め方等) 健康科学講義: 心身の健康の保持増進のためのポイント (1) (感染症の基礎知識)	予習 (選択する種目等についてシラバスで確認する。) 復習 (履修登録や実施場所等の授業全体のルールについて確認する)	1
第2回	基礎練習 (主にラケット操作に慣れる)	予習 (ラケット操作技術のポイントについて調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1
第3回	基礎練習 (主にサービスエリア内でのボレー練習)	予習 (ボレー技術のポイントについて調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1
第4回	基礎練習 (主にサービスエリア内でのストローク練習)	予習 (サービスエリア内でのストローク技術のポイントについて調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1
第5回	応用練習 (ベースラインでのストローク)	予習 (ベースラインでのストローク技術のポイントについて調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1
第6回	応用練習 (ストローク&ボレー)	予習 (ストローク・ボレーでのラリー技術のポイントについて調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1
第7回	応用練習 (サーブ サーブ&ボレー)	予習 (サーブやサーブ&ボレーの技術のポイントについて調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1
第8回	実践練習 (試合形式での練習)	予習 (第3回~第7回の振り返りとルールの確認をしておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1
第9回	ダブルスの試合 (試合の進め方の理解)	予習 (ダブルスの試合におけるゲームの進行について調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1
第10回	ダブルスの試合 (審判のやり方の理解)	予習 (ダブルスの試合における審判技術のポイントについて調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1
第11回	ダブルスの試合 (戦術の立て方の理解)	予習 (ダブルスの試合における戦術について調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1
第12回	ダブルスの試合 (自主的な試合の運営)	予習 (ダブルスの試合におけるゲームの進行について確認しておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1
第13回	生活習慣診断検査と自己分析	予習 (自身の生活習慣について見直す) 復習 (課題を整理しておく)	1
第14回	運動中の心拍数の変化を知る (測定)	予習 (体力測定の実施方法を調べておく) 復習 (測定用紙のグラフの作成をする)	1
第15回	まとめとレポート課題健康科学講義: 心身の健康の保持増進のためのポイント (2) (メンタルヘルスの諸問題)	予習 (授業の振り返りのための技術のポイントについて確認しておく) 復習 (授業全体を通して課題達成に対する総合的な自己評価と振り返りを行う)	1
<b>教科書・参考書等</b>			
適時授業時に資料を配付する。			
<b>成績評価方法・基準</b>			
毎回の授業中の課題達成度や役割の遂行状況、ダブルスの成績および課題レポート等で総合評価する。			

<b>42</b>	<b>健康・運動科学実習Ⅱ (バスケットボール)</b>	AGE-MPH-211	選択	1単位	1年後期
Practice of Health, Exercise and Physical Sciences II (Basketball)					
CD・MC 1年全組 非常勤講師 犬塚 剛					
<b>授業形態</b>		単独 (1人が全回担当)			
<b>授業の達成目標</b>		バスケットボールの基本技術から扱い、はじめて実践する場合もゴルフの種目特性を十分に理解し、実践できるように授業をすすめる。バスケットボールの実技実習を通じて健康の維持増進のための手段として身体活動を捉え、身体リテラシーを向上させることを目的として、バスケットボールの理論や技術を習得していくと同時に、学生間のコミュニケーションの促進を図り、バスケットボールをきっかけとしてスポーツに親しむ態度を育成する。			
<b>授業の概要</b>		バスケットボールは、走・跳・投の基本的な運動要素および敏捷性、巧緻性、判断力などが要求されるスポーツである。バスケットボールに必要な身体能力・スキルを身につけるとともに、ゲームを通じて攻防におけるチームワークの大切さを身につける。			
<b>授業計画 (各回の学習内容等)</b>					
	学習内容	授業方法及び学習課題 (予習・復習)	時間(時)		
第1回	授業の進め方、評価について (ガイダンス) 健康科学講義: 心身の健康の保持増進のためのポイント (1) (感染症の基礎知識)	予習 (選択する種目等についてシラバスで確認する。) 復習 (履修登録や実施場所等の授業全体のルールについて確認する)	1		
第2回	基礎技術 (セットシュート、ドリブル、パス) の習得、ミニゲーム	予習 (セットシュート、ドリブル、パスにおける技術のポイントについて調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1		
第3回	基礎技術 (レイアップシュート、1on1) の習得、ミニゲーム	予習 (レイアップシュート技術や1on1のポイントについて調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1		
第4回	基礎戦術 (スクリーンプレイ) の習得、ハーフコート 3on3、ミニゲーム	予習 (スクリーンプレイ技術や3on3のポイントについて調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1		
第5回	リーグ戦の準備 (チームの発表)、チームごとの紅白戦 (ルールの理解、オールコート 5on5 に挑戦)	予習 (試合におけるルールについて調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1		
第6回	リーグ戦 1 (試合の流れを把握する)	予習 (試合の流れやルールについて再確認しておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1		
第7回	リーグ戦 2 (審判、個人スタッツの記録について理解する)	予習 (審判や個人スタッツの記録方法について調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1		
第8回	リーグ戦 3 (チーム内における自身の役割を理解する (基本戦術の理解))	予習 (ポジションやその役割について調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1		
第9回	リーグ戦 4 (戦術を磨く: ディフェンスの戦術に挑戦・ゾーンディフェンス)	予習 (ゾーンディフェンスのポイントについて調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1		
第10回	リーグ戦 5 (チーム戦術を磨く: ファーストブレイクの意識)	予習 (ファーストブレイクのポイントについて調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1		
第11回	プレーオフ 1 (チームで戦術を磨く: セットプレーの意識)	予習 (セットプレーのポイントについて調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1		
第12回	プレーオフ 2 (自主的な試合運営)	予習 (ゲーム進行におけるポイントについて調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1		
第13回	生活習慣診断検査と自己分析	予習 (自身の生活習慣について見直す) 復習 (課題を整理しておく)	1		
第14回	運動中の心拍数の変化を知る (測定)	予習 (体力測定の実施方法を調べておく) 復習 (測定用紙のグラフの作成をする)	1		
第15回	総括とレポートの書き方健康科学講義: 心身の健康の保持増進のためのポイント (2) (メンタルヘルスの諸問題)	予習 (授業の振り返りのための技術のポイントについて確認しておく) 復習 (授業全体を通して課題達成に対する総合的な自己評価と振り返りを行う)	1		
<b>教科書・参考書等</b>					
適宜、資料を配付する。					
<b>成績評価方法・基準</b>					
授業中に提示する課題の達成度、実技の技能および課題レポートを総合的に評価する。					

42	<b>健康・運動科学実習Ⅱ (バスケットボール)</b> AGE-MPH-211	選択	1単位	1年後期
	Practice of Health, Exercise and Physical Sciences II (Basketball)			
SD1年全組 准教授 本田 春彦				
<b>授業形態</b>		単独 (1人が全回担当)		
<b>授業の達成目標</b>		バスケットボールの基本技術から扱い、はじめて実践する場合もゴルフの種目特性を十分に理解し、実践できるように授業をすすめる。バスケットボールの実技実習を通じて健康の維持増進のための手段として身体活動を捉え、身体リテラシーを向上させることを目的とし、バスケットボールの理論や技術を習得していくと同時に、学生間のコミュニケーションの促進を図り、バスケットボールをきっかけとしてスポーツに親しむ態度を育成する。		
<b>授業の概要</b>		バスケットボールは、走・跳・投の基本的な運動要素および敏捷性、巧緻性、判断力などが要求されるスポーツです。バスケットボールに必要な身体能力・スキルを身につけるとともに、ゲームを通じて攻防におけるチームワークの大切さを身につけます。		
<b>授業計画 (各回の学習内容等)</b>				
	学習内容	授業方法及び学習課題 (予習・復習)	時間(時)	
第1回	授業の進め方、評価について (ガイダンス) 健康科学講義: 心身の健康の保持増進のためのポイント (1) (感染症の基礎知識)	予習 (選択する種目等についてシラバスで確認する。) 復習 (履修登録や実施場所等の授業全体のルールについて確認する)	1	
第2回	基礎技術 (セットシュート、ドリブル、パス) の習得、ミニゲーム	予習 (セットシュート、ドリブル、パスにおける技術のポイントについて調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1	
第3回	基礎技術 (レイアップシュート、1on1) の習得、ミニゲーム	予習 (レイアップシュート技術や1on1のポイントについて調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1	
第4回	基礎戦術 (スクリーンプレイ) の習得、ハーフコート3on3、ミニゲーム	予習 (スクリーンプレイ技術や3on3のポイントについて調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1	
第5回	リーグ戦の準備 (チームの発表)、チームごとの紅白戦 (ルールの理解、オールコート5on5に挑戦)	予習 (試合におけるルールについて調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1	
第6回	リーグ戦1 (試合の流れを把握する)	予習 (試合の流れやルールについて再確認しておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1	
第7回	リーグ戦2 (審判、個人スタッツの記録について理解する)	予習 (審判や個人スタッツの記録方法について調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1	
第8回	リーグ戦3 (チーム内における自身の役割を理解する (基本戦術の理解))	予習 (ポジションやその役割について調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1	
第9回	リーグ戦4 (戦術を磨く: ディフェンスの戦術に挑戦・ゾーンディフェンス)	予習 (ゾーンディフェンスのポイントについて調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1	
第10回	リーグ戦5 (チーム戦術を磨く: ファーストブレイクの意識)	予習 (ファーストブレイクのポイントについて調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1	
第11回	プレーオフ1 (チームで戦術を磨く: セットプレーの意識)	予習 (セットプレーのポイントについて調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1	
第12回	プレーオフ2 (自主的な試合運営)	予習 (ゲーム進行におけるポイントについて調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1	
第13回	生活習慣診断検査と自己分析	予習 (自身の生活習慣について見直す) 復習 (課題を整理しておく)	1	
第14回	運動中の心拍数の変化を知る (測定)	予習 (体力測定の実施方法を調べておく) 復習 (測定用紙のグラフの作成をする)	1	
第15回	総括とレポートの書き方健康科学講義: 心身の健康の保持増進のためのポイント (2) (メンタルヘルスの諸問題)	予習 (授業の振り返りのための技術のポイントについて確認しておく) 復習 (授業全体を通して課題達成に対する総合的な自己評価と振り返りを行う)	1	
<b>教科書・参考書等</b>				
適宜、資料を配付する。				
<b>成績評価方法・基準</b>				
授業中に提示する課題の達成度、実技の技能および課題レポートを総合的に評価する。				

<b>42</b>	<b>健康・運動科学実習Ⅱ (卓球)</b> AGE-MPH-211	選択 1単位 1年後期	
Practice of Health, Exercise and Physical Sciences II (Table Tennis)			
CD・MC 1年全組 非常勤講師 土井 豊			
<b>授業形態</b>	単独 (1人が全回担当)		
<b>授業の達成目標</b>	生涯スポーツとして卓球の楽しみ方や運営方法等を理解するため、運動の特性、基本技術、およびゲームの進め方について学習する。卓球の理論・技術を習得していくと同時に、他者とのコミュニケーションの活性化を図り、卓球をきっかけとしてスポーツに親しむ態度を育成する。		
<b>授業の概要</b>	運動を行う際に必要な心身の準備について解説するとともに、卓球の基本技術やルールを習得し、受講者全体のレベルに応じた特設ルールを設定することでできるだけ個々の運動量を確保出来るよう授業を進めていく。なお各回の授業はシングルスおよびダブルスのリーグ戦によるゲームを中心に行い、その試合数、勝敗を集計し総合的に評価する。		
<b>授業計画 (各回の学習内容等)</b>			
	<b>学習内容</b>	<b>授業方法及び学習課題 (予習・復習)</b>	<b>時間(時)</b>
第1回	ガイダンス (授業内容と進め方の理解) 健康科学講義:心身の健康の保持増進のためのポイント(1) (感染症の基礎知識)	予習 (選択する種目等についてシラバスで確認する。) 復習 (履修登録や実施場所等の授業全体のルールについて確認する)	1
第2回	基礎技術 (ラケットの選択やボールの扱いに慣れる)	予習 (ラケットやボールの特徴について調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1
第3回	基礎技術 (フォアハンド、サーブ) の習得およびミニ・ゲーム	予習 (フォアハンドやサーブの技術やポイントについて調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1
第4回	基礎技術 (バックハンド) の習得およびミニ・ゲーム	予習 (バックハンドの技術やポイントについて調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1
第5回	基礎戦術 (カット・スマッシュ) の習得およびミニ・ゲーム	予習 (カット・スマッシュの技術やポイントについて調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1
第6回	基礎戦術 (サービス) の習得およびミニ・ゲーム	予習 (サービスの技術やポイントについて調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1
第7回	基礎戦術 (ボレー) の習得およびミニ・ゲーム	予習 (ボレーの技術やポイントについて調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1
第8回	ゲーム1 (シングルスとダブルスのルールを覚え、自分たちでジャッジできるようになる)	予習 (シングルスとダブルスのルールについて調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1
第9回	ゲーム2 (リーグ戦 (団体戦): ゲームに慣れる)	予習 (第2回~第8回の再確認をしておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1
第10回	ゲーム3 (リーグ戦 (団体戦): 戦術を立てる)	予習 (ゲームにおける戦術について調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1
第11回	ゲーム4 (リーグ戦 (団体戦): 戦術を磨く)	予習 (ゲームにおける戦術を振り返り、課題について検討しておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1
第12回	ゲーム5 (プレーオフ (団体戦): 自主的な試合運営)	予習 (ゲーム進行におけるポイントについて調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1
第13回	生活習慣診断検査と自己分析	予習 (自身の生活習慣について見直す) 復習 (課題を整理しておく)	1
第14回	運動中の心拍数の変化を知る (測定)	予習 (体力測定の実施方法を調べておく) 復習 (測定用紙のグラフの作成をする)	1
第15回	まとめとレポート課題健康科学講義:心身の健康の保持増進のためのポイント(2) (メンタルヘルスの諸問題)	予習 (授業の振り返りのための技術のポイントについて確認しておく) 復習 (授業全体を通して課題達成に対する総合的な自己評価と振り返りを行う)	1
<b>教科書・参考書等</b>			
適時授業時に資料を配付する。			
<b>成績評価方法・基準</b>			
毎回の授業中の課題達成度や役割の遂行状況、課題レポート、技術の習得状況、ミニゲームやリーグ戦の成績等により総合的に評価する。			

<b>42</b>	<b>健康・運動科学実習Ⅱ（卓球）</b> AGE-MPH-211	選択 1単位 1年後期	
Practice of Health, Exercise and Physical Sciences II (Table Tennis)			
SD1年全組 非常勤講師 伊勢 只義			
<b>授業形態</b>	単独（1人が全回担当）		
<b>授業の達成目標</b>	生涯スポーツとして卓球の楽しみ方や運営方法等を理解するため、運動の特性、基本技術、およびゲームの進め方について学習する。卓球の理論・技術を習得していくと同時に、他者とのコミュニケーションの活性化を図り、卓球をきっかけとしてスポーツに親しむ態度を育成する。		
<b>授業の概要</b>	運動を行う際に必要な心身の準備について解説するとともに、卓球の基本技術やルールを習得し、受講者全体のレベルに応じた特設ルールを設定することでできるだけ個々の運動量を確保出来るよう授業を進めていく。なお各回の授業はシングルスおよびダブルスのリーグ戦によるゲームを中心に行い、その試合数、勝敗を集計し総合的に評価する。		
<b>授業計画（各回の学習内容等）</b>			
	学習内容	授業方法及び学習課題（予習・復習）	時間(時)
第1回	ガイダンス（授業内容と進め方の理解）健康科学講義：心身の健康の保持増進のためのポイント（1）（感染症の基礎知識）	予習（選択する種目等についてシラバスで確認する。） 復習（履修登録や実施場所等の授業全体のルールについて確認する）	1
第2回	基礎技術（ラケットの選択やボールの扱いに慣れる）	予習（ラケットやボールの特徴について調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第3回	基礎技術（フォアハンド、サーブ）の習得およびミニ・ゲーム	予習（フォアハンドやサーブの技術やポイントについて調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第4回	基礎技術（バックハンド）の習得およびミニ・ゲーム	予習（バックハンドの技術やポイントについて調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第5回	基礎戦術（カット・スマッシュ）の習得およびミニ・ゲーム	予習（カット・スマッシュの技術やポイントについて調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第6回	基礎戦術（サービス）の習得およびミニ・ゲーム	予習（サービスの技術やポイントについて調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第7回	基礎戦術（ボレー）の習得およびミニ・ゲーム	予習（ボレーの技術やポイントについて調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第8回	ゲーム1（シングルスとダブルスのルールを覚え、自分たちでジャッジできるようになる）	予習（シングルスとダブルスのルールについて調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第9回	ゲーム2（リーグ戦（団体戦）：ゲームに慣れる）	予習（第2回～第8回の再確認をしておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第10回	ゲーム3（リーグ戦（団体戦）：戦術を立てる）	予習（ゲームにおける戦術について調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第11回	ゲーム4（リーグ戦（団体戦）：戦術を磨く）	予習（ゲームにおける戦術を振り返り、課題について検討しておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第12回	ゲーム5（プレーオフ（団体戦）：自主的な試合運営）	予習（ゲーム進行におけるポイントについて調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第13回	生活習慣診断検査と自己分析	予習（自身の生活習慣について見直す） 復習（課題を整理しておく）	1
第14回	運動中の心拍数の変化を知る（測定）	予習（体力測定の実施方法を調べておく） 復習（測定用紙のグラフの作成をする）	1
第15回	まとめとレポート課題健康科学講義：心身の健康の保持増進のためのポイント（2）（メンタルヘルスの諸問題）	予習（授業の振り返りのための技術のポイントについて確認しておく） 復習（授業全体を通して課題達成に対する総合的な自己評価と振り返りを行う）	1
<b>教科書・参考書等</b>			
適時授業時に資料を配付する。			
<b>成績評価方法・基準</b>			
毎回の授業中の課題達成度や役割の遂行状況、課題レポート、技術の習得状況、ミニゲームやリーグ戦の成績等により総合的に評価する。			

43	<b>スポーツ科学実習（ネットスポーツ）</b> AGE-MPH-320		選択 1単位 2年前期
	Practice of Sports Science (Net Sports)		
CD・MC 2年全組 准教授 本田 春彦			
<b>授業形態</b>		単独（1人が全回担当）	
<b>授業の達成目標</b>		生涯スポーツとしてさまざまなネット形式のスポーツの楽しみ方を理解する。各競技の特性を理解し必要な技術を習得していくと同時に、他者とのコミュニケーションの活性化を図り、本授業をきっかけとしてスポーツに親しむ態度を育成する。	
<b>授業の概要</b>		運動を行う際に必要な心身の準備について解説するとともに、授業でとりあげる屋外種目についての基本技術やルールを習得する。受講者全体のレベルに応じた特設ルールを設定することでできるだけ個々の運動量を確保出来るよう授業を進めていく。	
<b>授業計画（各回の学習内容等）</b>			
	学習内容	授業方法及び学習課題（予習・復習）	時間(時)
第1回	ガイダンス（授業内容と進め方の理解）	予習（選択する種目等についてシラバスで確認する。） 復習（履修登録や実施場所等の授業全体のルールについて確認する）	1
第2回	インディアカ（1）（基本技術の習得とミニゲーム）	予習（インディアカの打ち方など基本技術のポイントについて調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第3回	インディアカ（2）（連携プレーの実践とミニゲーム）	予習（レシーブ・トス・アタックの技術やポイントについて調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第4回	インディアカ（3）（リーグ戦の準備・試合の流れを把握する）	予習（ルールやゲームの進行について調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第5回	インディアカ（4）（リーグ戦第1節・チームの戦術をたてる）	予習（ゲームにおける戦術について調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第6回	インディアカ（5）（リーグ戦第2節・チームの戦術を磨く）	予習（戦術の確認や課題について検討しておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第7回	インディアカ（6）（リーグ戦第3節・自主的な試合運営を行う）	予習（ゲーム進行におけるポイントについて調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第8回	バウンドテニス（1）（基本技術の習得とミニゲーム）	予習（ボールの打ち方や技術のポイントについて調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第9回	バウンドテニス（2）（ルールの把握とミニゲーム）	予習（バウンドテニスのルールについて調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第10回	バウンドテニス（3）（リーグ戦の準備、チーム分け）	予習（基本動作やルールについて再確認しておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第11回	バウンドテニス（3）（リーグ戦第1節、試合の流れを把握する）	予習（ゲームの進行について調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第12回	バウンドテニス（4）（リーグ戦第2節、戦術をたてる）	予習（ゲームにおける戦術について調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第13回	バウンドテニス（4）（リーグ戦第3節、戦術をみがく）	予習（戦術の確認や課題について検討しておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第14回	バウンドテニス（5）（リーグ戦第4節、自主的な試合運営を行う）	予習（ゲーム進行におけるポイントについて調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第15回	まとめ	予習（授業の振り返りのための技術のポイントについて確認しておく） 復習（授業全体を通して課題達成に対する総合的な自己評価と振り返りを行う）	1
<b>教科書・参考書等</b>			
適時授業時に資料を配付する。			
<b>成績評価方法・基準</b>			
毎回の授業中の課題達成度や役割の遂行状況、課題レポート、技術の習得状況、ミニゲームやリーグ戦の成績等により総合的に評価する。			

<b>43</b>	<b>スポーツ科学実習（ネットスポーツ）</b>	AGE-MPH-320	選択 1単位 2年前期
Practice of Sports Science (Net Sports)			
CD・MC 2年全組 非常勤講師 土井 豊			
<b>授業形態</b>		単独（1人が全回担当）	
<b>授業の達成目標</b>		生涯スポーツとしてさまざまなネット形式のスポーツの楽しみ方を理解する。各競技の特性を理解し必要な技術を習得していくと同時に、他者とのコミュニケーションの活性化を図り、本授業をきっかけとしてスポーツに親しむ態度を育成する。	
<b>授業の概要</b>		運動を行う際に必要な心身の準備について解説するとともに、授業でとりあげる屋外種目についての基本技術やルールを習得する。受講者全体のレベルに応じた特設ルールを設定することでできるだけ個々の運動量を確保出来るよう授業を進めていく。	
<b>授業計画（各回の学習内容等）</b>			
	学習内容	授業方法及び学習課題（予習・復習）	時間(時)
第1回	ガイダンス（授業内容と進め方の理解）	予習（選択する種目等についてシラバスで確認する。） 復習（履修登録や実施場所等の授業全体のルールについて確認する）	1
第2回	インディアカ(1)（基本技術の習得とミニゲーム）	予習（インディアカの打ち方など基本技術のポイントについて調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第3回	インディアカ(2)（連携プレーの実践とミニゲーム）	予習（レシーブ・トス・アタックの技術やポイントについて調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第4回	インディアカ(3)（リーグ戦の準備・試合の流れを把握する）	予習（ルールやゲームの進行について調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第5回	インディアカ(4)（リーグ戦第1節・チームの戦術をたてる）	予習（ゲームにおける戦術について調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第6回	インディアカ(5)（リーグ戦第2節・チームの戦術を磨く）	予習（戦術の確認や課題について検討しておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第7回	インディアカ(6)（リーグ戦第3節・自主的な試合運営を行う）	予習（ゲーム進行におけるポイントについて調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第8回	バウンドテニス(1)（基本技術の習得とミニゲーム）	予習（ボールの打ち方や技術のポイントについて調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第9回	バウンドテニス(2)（ルールの把握とミニゲーム）	予習（バウンドテニスのルールについて調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第10回	バウンドテニス(3)（リーグ戦の準備、チーム分け）	予習（基本動作やルールについて再確認しておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第11回	バウンドテニス(3)（リーグ戦第1節、試合の流れを把握する）	予習（ゲームの進行について調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第12回	バウンドテニス(4)（リーグ戦第2節、戦術をたてる）	予習（ゲームにおける戦術について調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第13回	バウンドテニス(4)（リーグ戦第3節、戦術をみがく）	予習（戦術の確認や課題について検討しておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第14回	バウンドテニス(5)（リーグ戦第4節、自主的な試合運営を行う）	予習（ゲーム進行におけるポイントについて調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第15回	まとめ	予習（授業の振り返りのための技術のポイントについて確認しておく） 復習（授業全体を通して課題達成に対する総合的な自己評価と振り返りを行う）	1
<b>教科書・参考書等</b>			
適時授業時に資料を配付する。			
<b>成績評価方法・基準</b>			
毎回の授業中の課題達成度や役割の遂行状況、課題レポート、技術の習得状況、ミニゲームやリーグ戦の成績等により総合的に評価する。			

43	<b>スポーツ科学実習（フィールドゲーム）</b> AGE-MPH-320		選択 1単位 2年前期
	Practice of Sports Science (Field games)		
CD・MC 2年全組 非常勤講師 門間 陽樹			
<b>授業形態</b>		単独（1人が全回担当）	
<b>授業の達成目標</b>		生涯スポーツとしてさまざまな屋外競技の楽しみ方を理解する。各競技の特性を理解し必要な技術を習得していくと同時に、他者とのコミュニケーションの活性化を図り、本授業をきっかけとしてスポーツに親しむ態度を育成する。	
<b>授業の概要</b>		運動を行う際に必要な心身の準備について解説するとともに、授業でとりあげる屋外種目についての基本技術やルールを習得する。受講者全体のレベルに応じた特設ルールを設定することでできるだけ個々の運動量を確保出来るよう授業を進めていく。	
<b>授業計画（各回の学習内容等）</b>			
	学習内容	授業方法及び学習課題（予習・復習）	時間(時)
第1回	ガイダンス（授業内容と進め方の理解）	予習（選択する種目等についてシラバスで確認する。） 復習（履修登録や実施場所等の授業全体のルールについて確認する）	1
第2回	キックベースボール(1)（基本技術の習得とルールの理解）	予習（キックベースボールの基本動作について技術やポイントについて調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第3回	キックベースボール(2)（戦術をたてて試合運営を行う）	予習（ルールやゲームにおける戦術について調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第4回	ラケットベースボール(1)（基本技術の習得とルールの理解）	予習（ラケットベースボールの基本動作について技術やポイントについて調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第5回	ラケットベースボール(2)（戦術をたてて試合運営を行う）	予習（ルールやゲームにおける戦術について調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第6回	ティーボール(1)（基本技術の習得とルールの理解）	予習（ティーボールの基本動作について技術やポイントについて調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第7回	ティーボール(2)（戦術をたてて試合運営を行う）	予習（ルールやゲームにおける戦術について調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第8回	ソフトボール(1)（基本技術の習得とルールの理解）	予習（ソフトボールの基本動作について技術やポイントについて調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第9回	ソフトボール(2)（戦術をたてて試合運営を行う）	予習（ルールやゲームにおける戦術について調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第10回	野球(1)（基本技術の習得とルールの理解）	予習（野球の基本動作について技術やポイントについて調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第11回	野球(2)（チームの戦術をたてる）	予習（ルールやゲームにおける戦術について調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第12回	野球(3) リーグ戦の運営第1節（個人技術のレベルアップを図る）	予習（課題のある技術について改善ポイントを確認しておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第13回	野球(4) リーグ戦の運営第2節（戦術を磨く）	予習（戦術の確認や課題について検討しておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第14回	野球(5) リーグ戦の運営第3節（自主的な試合の運営を行う）	予習（ゲーム進行におけるポイントについて調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第15回	まとめ	予習（授業の振り返りのための技術のポイントについて確認しておく） 復習（授業全体を通して課題達成に対する総合的な自己評価と振り返りを行う）	1
<b>教科書・参考書等</b>			
適時授業時に資料を配付する。			
<b>成績評価方法・基準</b>			
毎回の授業中の課題達成度や役割の遂行状況、課題レポート、技術の習得状況、ミニゲームやリーグ戦の成績等により総合的に評価する。			



<b>43</b>	<b>スポーツ科学実習 (フィットネス・トレーニング)</b>	AGE-MPH-320	選択 1単位 2年前期
Practice of Sports Science (Fitness・Training)			
MC・CD 2年全組 非常勤講師 犬塚 剛			
<b>授業形態</b>		単独 (1人が全回担当)	
<b>授業の達成目標</b>		健康づくりのための運動の意義と目的を充分理解し、自分の目標に向けた運動・トレーニングを実践すること。また、自身で目標達成の度合いを把握し、評価できるようになること。	
<b>授業の概要</b>		生活習慣に運動を取り入れながら健康を維持するためのトレーニング方法や、トレーニングの目標を決め、達成までトレーニングスケジュールを立て、実践していく方法を学ぶ。	
<b>授業計画 (各回の学習内容等)</b>			
	学習内容	授業方法及び学習課題 (予習・復習)	時間(時)
第1回	ガイダンス (授業概要・授業の進め方・成績評価の説明)	予習 (選択する種目等についてシラバスで確認する) 復習 (履修登録や実施場所等の授業全体のルールについて確認する)	1
第2回	体力測定、身体測定 (体脂肪、BMI、肥満度など) 安静時心拍数、脈拍などのデータ測定	予習 (測定項目の内容について調べておく) 復習 (測定用紙のチェックとグラフの作成をする)	1
第3回	測定データの説明、運動の設定 (強度、頻度、時間、種目) についての解説	予習 (測定項目の内容について調べておく) 復習 (自身の運動プログラム案の作成をする)	1
第4回	ストレッチング、ウォーミングアップ、クーリングダウン	予習 (動作のポイントについて調べ、練習しておく) 復習 (動作のポイントを整理して反復練習をする)	1
第5回	課題を基にしたエクササイズの実践	予習 (動作のポイントについて調べ、練習しておく) 復習 (エクササイズ動作を整理して反復練習をする)	1
第6回	ウェイトトレーニング	予習 (動作のポイントについて調べ、練習しておく) 復習 (自重負荷トレーニングの実践をする)	1
第7回	サーキットトレーニングとリラクゼーション	予習 (動作のポイントについて調べ、練習しておく) 復習 (疲労回復のためのリラクゼーションの実践をする)	1
第8回	ヨガ	予習 (動作のポイントについて調べ、練習しておく) 復習 (ヨガの実践をする)	1
第9回	ポールウォーキング	予習 (動作のポイントについて調べ、練習しておく) 復習 (ポールウォーキングの動作ポイントの確認とポールワークの練習をする)	1
第10回	レクリエーションスポーツの実践	予習 (技術のポイントについて調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1
第11回	レクリエーションスポーツ (バウンドテニスなど)	予習 (技術のポイントについて調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1
第12回	生活習慣病と運動・トレーニング処方	予習 (生活習慣病とその原因について調べておく) 復習 (授業で説明された生活習慣病とその予防方法について調べておく)	1
第13回	再測定 (体力測定、身体測定 (体脂肪、BMI、肥満度など))	予習 (測定のポイントについて調べておく) 復習 (測定用紙のチェックとグラフの作成をする)	1
第14回	再測定の結果を基にした運動強度の設定	予習 (運動強度の設定のポイントについて調べておく) 復習 (再測定の結果をふまえ、自身の運動プログラム案を作成する)	1
第15回	総評、測定データの振り返り、レポート提出	予習 (授業の振り返りのための技術のポイントについて確認しておく) 復習 (授業全体を通して課題達成に対する総合的な自己評価と振り返りを行う)	1
<b>教科書・参考書等</b>			
随時、資料・ビデオを用意し、提供する。			
<b>成績評価方法・基準</b>			
毎回の個人記録、授業中の課題の習得度、活動内容、レポート提出等について総合的に評価する。			

43	<b>スポーツ科学実習（フィールドゲーム）</b> AGE-MPH-320		選択 1単位 2年前期
	Practice of Sports Science (Field Games)		
SD 2年全組 非常勤講師 河西 敏幸			
<b>授業形態</b>		単独（1人が全回担当）	
<b>授業の達成目標</b>		生涯スポーツとしてさまざまな屋外競技の楽しみ方を理解する。各競技の特性を理解し必要な技術を習得していくと同時に、他者とのコミュニケーションの活性化を図り、本授業をきっかけとしてスポーツに親しむ態度を育成する。	
<b>授業の概要</b>		運動を行う際に必要な心身の準備について解説するとともに、授業でとりあげる屋外種目についての基本技術やルールを習得する。受講者全体のレベルに応じた特設ルールを設定することでできるだけ個々の運動量を確保出来るよう授業を進めていく。	
<b>授業計画（各回の学習内容等）</b>			
	学習内容	授業方法及び学習課題（予習・復習）	時間(時)
第1回	ガイダンス（授業内容と進め方の理解）	予習（選択する種目等についてシラバスで確認する。） 復習（履修登録や実施場所等の授業全体のルールについて確認する）	1
第2回	キックベースボール(1)（基本技術の習得とルールの理解）	予習（キックベースボールの基本動作について技術やポイントについて調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第3回	キックベースボール(2)（戦術をたてて試合運営を行う）	予習（ルールやゲームにおける戦術について調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第4回	ラケットベースボール(1)（基本技術の習得とルールの理解）	予習（ラケットベースボールの基本動作について技術やポイントについて調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第5回	ラケットベースボール(2)（戦術をたてて試合運営を行う）	予習（ルールやゲームにおける戦術について調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第6回	ティーボール(1)（基本技術の習得とルールの理解）	予習（ティーボールの基本動作について技術やポイントについて調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第7回	ティーボール(2)（戦術をたてて試合運営を行う）	予習（ルールやゲームにおける戦術について調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第8回	ソフトボール(1)（基本技術の習得とルールの理解）	予習（ソフトボールの基本動作について技術やポイントについて調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第9回	ソフトボール(2)（戦術をたてて試合運営を行う）	予習（ルールやゲームにおける戦術について調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第10回	野球(1)（基本技術の習得とルールの理解）	予習（野球の基本動作について技術やポイントについて調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第11回	野球(2)（チームの戦術をたてる）	予習（ルールやゲームにおける戦術について調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第12回	野球(3) リーグ戦の運営第1節（個人技術のレベルアップを図る）	予習（課題のある技術について改善ポイントを確認しておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第13回	野球(4) リーグ戦の運営第2節（戦術を磨く）	予習（戦術の確認や課題について検討しておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第14回	野球(5) リーグ戦の運営第3節（自主的な試合の運営を行う）	予習（ゲーム進行におけるポイントについて調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第15回	まとめ	予習（授業の振り返りのための技術のポイントについて確認しておく） 復習（授業全体を通して課題達成に対する総合的な自己評価と振り返りを行う）	1
<b>教科書・参考書等</b>			
適時授業時に資料を配付する。			
<b>成績評価方法・基準</b>			
毎回の授業中の課題達成度や役割の遂行状況、課題レポート、技術の習得状況、ミニゲームやリーグ戦の成績等により総合的に評価する。			

<b>43</b>	<b>スポーツ科学実習（フィットネス・トレーニング）</b> AGE-MPH-320		選択 1単位 2年前期
Practice of Sports Science (Fitness・Training)			
SD 2年全組 非常勤講師 森田 清美			
<b>授業形態</b>		単独（1人が全回担当）	
<b>授業の達成目標</b>		健康づくりのための運動の意義と目的を充分理解し、自分の目標に向けた運動・トレーニングを実践すること。また、自身で目標達成の度合いを把握し、評価できるようになること。	
<b>授業の概要</b>		生活習慣に運動を取り入れながら健康を維持するためのトレーニング方法や、トレーニングの目標を決め、達成までトレーニングスケジュールを立て、実践していく方法を学ぶ。	
<b>授業計画（各回の学習内容等）</b>			
	学習内容	授業方法及び学習課題（予習・復習）	時間(時)
第1回	ガイダンス（授業概要・授業の進め方・成績評価の説明）	予習（選択する種目等についてシラバスで確認する） 復習（履修登録や実施場所等の授業全体のルールについて確認する）	1
第2回	体力測定、身体測定（体脂肪、BMI、肥満度など）安静時心拍数、脈拍などのデータ測定	予習（測定項目の内容について調べておく） 復習（測定用紙のチェックとグラフの作成をする）	1
第3回	測定データの説明、運動の設定（強度、頻度、時間、種目）についての解説	予習（測定項目の内容について調べておく） 復習（自身の運動プログラム案の作成をする）	1
第4回	ストレッチング、ウォーミングアップ、クーリングダウン	予習（動作のポイントについて調べ、練習しておく） 復習（動作のポイントを整理して反復練習をする）	1
第5回	課題を基にしたエクササイズの実践	予習（動作のポイントについて調べ、練習しておく） 復習（エクササイズ動作を整理して反復練習をする）	1
第6回	ウエイトトレーニング	予習（動作のポイントについて調べ、練習しておく） 復習（自重負荷トレーニングの実践をする）	1
第7回	サーキットトレーニングとリラクゼーション	予習（動作のポイントについて調べ、練習しておく） 復習（疲労回復のためのリラクゼーションの実践をする）	1
第8回	ヨガ	予習（動作のポイントについて調べ、練習しておく） 復習（ヨガの実践をする）	1
第9回	ポールウォーキング	予習（動作のポイントについて調べ、練習しておく） 復習（ポールウォーキングの動作ポイントの確認とポールワークの練習をする）	1
第10回	レクリエーションスポーツの実践	予習（技術のポイントについて調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第11回	レクリエーションスポーツ（バウンドテニスなど）	予習（技術のポイントについて調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第12回	生活習慣病と運動・トレーニング処方	予習（生活習慣病とその原因について調べておく） 復習（授業で説明された生活習慣病とその予防方法について調べておく）	1
第13回	再測定（体力測定、身体測定（体脂肪、BMI、肥満度など）	予習（測定のポイントについて調べておく） 復習（測定用紙のチェックとグラフの作成をする）	1
第14回	再測定の結果を基にした運動強度の設定	予習（運動強度の設定のポイントについて調べておく） 復習（再測定の結果をふまえ、自身の運動プログラム案を作成する）	1
第15回	総評、測定データの振り返り、レポート提出	予習（授業の振り返りのための技術のポイントについて確認しておく） 復習（授業全体を通して課題達成に対する総合的な自己評価と振り返りを行う）	1
<b>教科書・参考書等</b>			
随時、資料・ビデオを用意し、提供する。			
<b>成績評価方法・基準</b>			
毎回の個人記録、授業中の課題の習得度、活動内容、レポート提出等について総合的に評価する。			

43	<b>スポーツ科学実習（ゴルフ）</b> AGE-MPH-320		選択 1単位 2年前期
	Practice of Sports Science (Golf)		
全学科2年全組 准教授 本田 春彦 非常勤講師 池田 晃一 非常勤講師 高野 淳司			
<b>授業形態</b>		複数（1回の授業を2人以上が一緒に担当）	
<b>授業の達成目標</b>		生涯スポーツや健康づくりの一つとしてゴルフを実践し、本種目の競技特性や楽しさ、コンペラウンド等の運営方法等を理解・体得する。他者とのコミュニケーション力を養います。授業前半で基本的なゴルフスイング（ショット・アプローチ・パット）の基本技術を理解・習得し、それをもとに授業後半でラウンドするミニコースで実際に実践することが出来るようになることを目標とする。	
<b>授業の概要</b>		この集中コースは、夏期休業中に学外のゴルフ専用施設を利用して実施する。授業前半はゴルフ打球練習場でのスイングの基本技術の習得と応用、授業後半はミニゴルフ場でのショートコースの実践ラウンドを行い受講者の技術習得度を受講者自身で確認する。なおこの集中コースは、実習に要する経費の一部は受講生の自己負担となる。	
<b>授業計画（各回の学習内容等）</b>			
	学習内容	授業方法及び学習課題（予習・復習）	時間(時)
第1回	ガイダンス ゴルフの基礎理論：「用具の活用、スイング動作、ボールヒッティング」についての説明	予習（用具や基本動作について調べておく） 復習（履修登録や実施場所等の授業全体のルールについて確認する）	1
第2回	打球場での学習と練習「アプローチ基礎」	予習（アプローチ技術のポイントについて調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第3回	打球場での学習と練習「アプローチ応用」	予習（状況に応じたアプローチ技術のポイントについて調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第4回	打球場での学習と練習「ショートアイアン基礎」	予習（ショートアイアンのスイング技術のポイントについて調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第5回	打球場での学習と練習「ショートアイアン応用」	予習（状況に応じたショートアイアン技術のポイントについて調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第6回	打球場での学習と練習「ミドルアイアン基礎」	予習（ミドルアイアンのスイング技術のポイントについて調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第7回	打球場での学習と練習「ミドルアイアン応用」	予習（状況に応じたミドルアイアン技術のポイントについて調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第8回	打球場での学習と練習「ドライバー、パター」	予習（ドライバーのスイングやパターの基本について調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第9回	打球場での学習と練習「模擬ラウンド」	予習（ラウンドを想定した練習における自身の課題について確認しておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第10回	ショートコースでのマナー学習と練習（バンカー、グリーン周り）	予習（バンカーやグリーン周りにおけるマナーについて調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第11回	ショートコース（9ホール、パー27）を練習ラウンド	予習（第1回～第10回の振り返りと、自身の課題を再確認しておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第12回	打球場での学習と練習「ラウンド実践に向けての調整」	予習（練習ラウンドを通じて発見した課題を再確認し、練習しておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第13回	ショートコースローカルルール、マナー確認	予習（「ローカルルール」やマナーについて再確認しておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第14回	ショートコース（9ホール、パー27）をラウンド実践	予習（第11回～第13回の振り返りと、自身の課題を再確認しておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第15回	到達度チェック、最終実技試験	予習（授業の振り返りのための技術のポイントについて確認しておく） 復習（授業全体を通して課題達成に対する総合的な自己評価と振り返りを行う）	1
<b>教科書・参考書等</b>			
適時資料を配付する。また、視聴覚映像を使用する。			
<b>成績評価方法・基準</b>			
基礎実技、応用実技の達成度、コースラウンド結果及び課題レポートを総合的に評価する。			

43	<b>スポーツ科学実習（スキー）</b> AGE-MPH-320		選択	1単位	2年前期（集中講義）
	Practice of Sports Science (Ski)				
全学科2年全組		准教授 本田 春彦 非常勤講師 池田 晃一 非常勤講師 河西 敏幸	非常勤講師 草野 修治 非常勤講師 森田 清美 非常勤講師 未定		
<b>授業形態</b>		複数（1回の授業を2人以上が一緒に担当）			
<b>授業の達成目標</b>		スキーの基礎技術や応用技術を習得し、自分の技量に応じたスキースポーツの楽しみ方を見つける。スキーヤーとして必要な安全配慮やスキー場でのルールやマナーを身につける。			
<b>授業の概要</b>		この集中コースは前期開講科目であるが冬季スポーツであるため後期に実施される3泊4日の実技実習を経て1単位が認定される。実習は技能に応じた班別指導が行われ、班別集団演技等によって技能の向上が図られるだけでなく、人間交流も含めた共同生活を通じてルールやマナーも学び、総合学習の機会として意義深い。ただしこの集中コースは、実習に要する経費は学生の自己負担となる。			
<b>授業計画（各回の学習内容等）</b>					
	<b>学習内容</b>	<b>授業方法及び学習課題（予習・復習）</b>			<b>時間(時)</b>
第1回	ガイダンス（クラス分け）スキースポーツの特性とスキー技術論、スキーと安全、用具の知識とその活用についての説明	予習（用具や基本技術、安全上の留意点などについて調べておく） 復習（履修登録や実施場所等の授業全体のルールについて確認する）			1
第2回	技能テスト1「班分け」	予習（技術のポイントについて調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）			1
第3回	基礎技術「緩斜面での安全滑走」	予習（滑走と止まり方の技術やポイントについて調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）			1
第4回	基礎技術「緩斜面での制動・回転技術」	予習（緩斜面での回転技術のポイントについて調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）			1
第5回	応用技術「緩斜面での大回り」	予習（パラレルターンの大回りについて技術やポイントについて調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）			1
第6回	応用技術「緩斜面での小回り」	予習（パラレルターンの小回りについて技術やポイントについて調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）			1
第7回	応用技術「中斜面滑走」	予習（中斜面での滑走における技術やポイントについて調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）			1
第8回	技能テスト2「到達レベルチェック、班再編」	予習（第3回～第7回の授業の振り返りをしておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）			1
第9回	発展技術「中斜面での大回り」	予習（中斜面での大回りにおける技術やポイントについて調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）			1
第10回	発展技術「中斜面での小回り」	予習（中斜面での小回りにおける技術やポイントについて調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）			1
第11回	発展技術「中・急斜面での大回り」	予習（急斜面での大回りにおける技術やポイントについて調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）			1
第12回	発展技術「中・急斜面での小回り」	予習（急斜面での小回りにおける技術やポイントについて調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）			1
第13回	基礎実技練習「制動・回転技術」	予習（制動や回転技術について振り返りをしておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）			1
第14回	応用実技練習「班別団体演技」	予習（自身にとって課題となる動作について確認しておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）			1
第15回	技能テスト3「基礎実技、応用実技」まとめ	予習（授業の振り返りのための技術のポイントについて確認しておく） 復習（授業全体を通して課題達成に対する総合的な自己評価と振り返りを行う）			1
<b>教科書・参考書等</b>					
適時、資料を配付する 参考書 SAJ 編 日本スキー教程 理論編 指導実技編検定編					
<b>成績評価方法・基準</b>					
学内・学外授業の全日程参加を必須条件とし、受講中の課題達成状況や役割遂行状況、および実習日誌（レポート）等について総合的に評価する。					

43	<b>スポーツ科学実習（ニュースポーツ）</b>	AGE-MPH-320	選択	1単位	2年前期
	Practice of Sports Science (New Sports)				
SD2年全組 准教授 本田 春彦					
<b>授業形態</b>		単独（1人が全回担当）			
<b>授業の達成目標</b>		生涯スポーツとしてさまざまなニュースポーツの楽しみ方を理解する。その競技の特性を理解し必要な技術を習得していくと同時に、他者とのコミュニケーションの活性化を図り、本授業をきっかけとしてスポーツに親しむ態度を育成する。			
<b>授業の概要</b>		運動を行う際に必要な心身の準備について解説するとともに、いくつかのニュースポーツの基本技術やルールを習得し、受講者全体のレベルに応じた特設ルールを設定することでできるだけ個々の運動量を確保出来るよう授業を進めていく。			
<b>授業計画（各回の学習内容等）</b>					
	<b>学習内容</b>	<b>授業方法及び学習課題（予習・復習）</b>			<b>時間(時)</b>
第1回	ガイダンス（授業内容と進め方の理解）	予習（選択する種目等についてシラバスで確認する） 復習（履修登録や実施場所等の授業全体のルールについて確認する）			1
第2回	フライングディスクを使ったスポーツ1（フライングディスクの扱いに慣れる）	予習（フライングディスクのスローイング技術について調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）			1
第3回	フライングディスクを使ったスポーツ2（ディスクゴルフのルールを覚える）	予習（ディスクゴルフのルールについて調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）			1
第4回	フライングディスクを使ったスポーツ3（ディスクゴルフのゲーム）	予習（ディスクゴルフのゲーム進行について調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）			1
第5回	フライングディスクを使ったスポーツ4（アルティメットのルールを覚える）	予習（アルティメットのルールについて調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）			1
第6回	フライングディスクを使ったスポーツ5（アルティメットの戦術をたてる）	予習（アルティメットのゲーム戦略について調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）			1
第7回	フライングディスクを使ったスポーツ6（アルティメットのトーナメント戦-試合の流れを把握する-）	予習（アルティメットのゲーム進行について調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）			1
第8回	フライングディスクを使ったスポーツ7（アルティメットのリーグ戦-運営を行う-）	予習（アルティメットのゲーム進行について再確認しておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）			1
第9回	ボウリング1（ルールの理解、基本動作の練習）	予習（ボウリングの基本動作について調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）			1
第10回	ボウリング2（ボウリングの個人戦-ゲームに慣れる-）	予習（ボウリングのルールを理解し、ゲーム進行について調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）			1
第11回	ボウリング3（ボウリングのリーグ戦-団体戦の試合運営を行う-）	予習（ボウリングのゲーム進行について再確認しておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）			1
第12回	ターゲットバードゴルフ1（ルールの理解、スイングの基本動作の習得）	予習（ターゲットバードゴルフのルールや基本動作について調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）			1
第13回	ターゲットバードゴルフ2（さまざまな距離に応じたスイングを身につける）	予習（距離に応じたスイング技術のポイントについて調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）			1
第14回	ターゲットバードゴルフ3（ターゲットバードゴルフのためのゲーム）	予習（ターゲットバードゴルフのゲーム進行について調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）			1
第15回	まとめ	予習（授業の振り返りのための技術のポイントについて確認しておく） 復習（授業全体を通して課題達成に対する総合的な自己評価と振り返りを行う）			1
<b>教科書・参考書等</b>					
適時授業時に資料を配付する。					
<b>成績評価方法・基準</b>					
毎回の授業中の課題達成度や役割の遂行状況、課題レポート、技術の習得状況、ミニゲームやリーグ戦の成績等により総合的に評価する。					

43	<b>スポーツ科学実習（ニュースポーツ）</b> AGE-MPH-320		選択 1単位 2年前期
	Practice of Sports Science (New Sports)		
CD・MC 2年全組 非常勤講師 黒澤 尚			
<b>授業形態</b>		単独（1人が全回担当）	
<b>授業の達成目標</b>		生涯スポーツとしてさまざまなニュースポーツの楽しみ方を理解する。その競技の特性を理解し必要な技術を習得していくと同時に、他者とのコミュニケーションの活性化を図り、本授業を間かけとしてスポーツに親しむ態度を育成する。	
<b>授業の概要</b>		運動を行う際に必要な心身の準備について解説するとともに、いくつかのニュースポーツの基本技術やルールを習得し、受講者全体のレベルに応じた特設ルールを設定することで、できるだけ個々の運動量を確保できるよう授業をすすめていく。	
<b>授業計画（各回の学習内容等）</b>			
	学習内容	授業方法及び学習課題（予習・復習）	時間(時)
第1回	ガイダンス（授業内容と進め方の理解）	予習（選択する種目等についてシラバスで確認する） 復習（履修登録や実施場所等の授業全体のルールについて確認する）	1
第2回	フライングディスクを使ったスポーツ1（フライングディスクの扱いに慣れる）	予習（フライングディスクのスローイン技術について調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第3回	フライングディスクを使ったスポーツ2（ディスクゴルフのルールを覚える）	予習（ディスクゴルフのルールについて調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第4回	フライングディスクを使ったスポーツ3（ディスクゴルフのゲーム）	予習（ディスクゴルフのゲーム進行について調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第5回	フライングディスクを使ったスポーツ4（アルティメットのルールを覚える）	予習（アルティメットのルールについて調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第6回	フライングディスクを使ったスポーツ5（アルティメットの戦術をたてる）	予習（アルティメットのゲーム戦略について調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第7回	フライングディスクを使ったスポーツ6（アルティメットのトーナメント戦-試合の流れを把握する-）	予習（アルティメットのゲーム進行について調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第8回	フライングディスクを使ったスポーツ7（アルティメットのリーグ戦-運営を行う-）	予習（アルティメットのゲーム進行について再確認しておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第9回	サッカーテニス1（ルールの理解、基本動作の練習）	予習（サッカーテニスの基本動作について調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第10回	サッカーテニス2（サッカーテニスの個人戦-ゲームに慣れる-）	予習（サッカーテニスのルールを理解し、ゲーム進行について調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第11回	サッカーテニス3（サッカーテニスのリーグ戦-運営を行う-）	予習（サッカーテニスのゲーム進行について再確認しておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第12回	フットゴルフ1（ルールの理解、基本的なキックの習得）	予習（フットゴルフのルールや基本動作について調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第13回	フットゴルフ2（さまざまな距離に応じたキックを身につける）	予習（距離に応じたキックの種類とそのポイントについて調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第14回	フットゴルフ3（サッカーゴルフのためのゲーム）	予習（フットゴルフのゲーム進行について調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第15回	まとめ	予習（授業の振り返りのための技術のポイントについて確認しておく） 復習（授業全体を通して課題達成に対する総合的な自己評価と振り返りを行う）	1
<b>教科書・参考書等</b>			
適時授業時に資料を配付する。			
<b>成績評価方法・基準</b>			
毎回の授業中の課題達成度や役割の遂行状況、課題レポート、技術の習得状況、ミニゲームやリーグ戦の成績等により総合的に評価する。			

44

**特別課外活動 I** AGE-IDP-010

選択 1 単位 1 年前期～4 年後期

Off-class Practice I

詳細については、シラバスの『特別課外活動』についてのページを参照のこと。



45

**特別課外活動Ⅱ** AGE-IDP-020

選択 1単位 1年前期～4年後期

Off-class Practice Ⅱ

詳細については、シラバスの『特別課外活動』についてのページを参照のこと。

46	<b>特別課外活動Ⅲ</b> AGE-IDP-030	選択 2単位 1年前期～4年後期
----	----------------------------	------------------

Off-class Practice Ⅲ

詳細については、シラバスの『特別課外活動』についてのページを参照のこと。

47	<b>他大学等教養科目群</b> AGE-IDP-040	選択 4単位 1年後期～4年前期
Subjects offerd other universities		
<p>詳細については、シラバスの「他大学開講科目」、CAMPUS LIFE の「学都仙台単位互換ネットワーク協定および国内外の大学等との単位互換に関する協定に基づく東北工業大学特別聴講学生取扱要項」を参照のこと。</p>		